

MC573dnw

ユーザーズマニュアル



目次

1	はじめにお読みください	5
	安全上の注意	6
	一般的な注意	7
	諸注意	9
	エネルギースターについて	9
	紙幣、有価証券などの印刷について	10
	電波障害防止について	10
	高調波規制について	11
	本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意	11
	マニュアルについて	12
	記載について	12
	商標	14
	ライセンス	15
2	装置のセットアップ	17
	設置について	18
	設置環境	18
	設置スペース	19
	付属品の確認	20
	開梱と設置	23
	オプションを取り付ける	26
	増設トレイユニットを取り付ける	26
	プリンタードライバーの設定をする	28
	電話線ケーブルを接続する	30
	公衆回線に接続する（ファクス専用として使用する場合）	30
	公衆回線に接続する（電話機を本機に接続する場合）	31
	ひかり電話（IP電話）に接続する	32
	ADSL環境に接続する	33
	構内交換機（PBX）／ホームテレホン／ビジネスホンを接続する	34
	内線電話として接続する	34
	CSチューナーやデジタルテレビを接続する	35
	電源コードを接続する	36
	電源について	36
	LANケーブル／USBケーブルを接続する	38
	LANケーブルを接続する	38
	USBケーブルを接続する	40
	トレイに用紙をセットする	42

	設定情報を確認する	44
	本機に情報を設定する	46
	言語の設定	46
	時刻と日付の設定	48
	管理者パスワードの設定	50
	ファクスの設定	51
	ネットワークの設定	54
	Eメールの設定	55
	COREFIDO クラウドの設定	58
	テスト印刷	60
	無線LANで接続するとき	62
	無線LANで接続するための準備	62
	無線LANを有効にする	64
	アクセスポイントを経由して接続する（インフラストラクチャー）	66
	本機と直接接続する	77
	パソコンにソフトウェアをインストールする	81
	Windowsの場合	81
	Mac OS Xの場合	84
3	基本的な操作	88
	各部の名称	89
	本体前面	89
	本体背面	90
	本体内部	91
	操作パネルの基本操作	92
	名称とはたらき	92
	タッチパネルの見かた	93
	操作パネルの向きを調整する	95
	文字を入力する	95
	電源を入れる／切る	98
	電源を入れる	98
	電源を切る	99
	用紙をセットする	101
	使用できる用紙	101
	トレイ1／2／3にセットする	106
	MPトレイにセットする	107
	用紙の保管	109
	原稿をセットする	110
	セットできる原稿について	110
	自動原稿送り装置（ADF）にセットする	111
	原稿ガラスにセットする	113

4 コピー	114
コピーする	115
コピーを中止する	116
コピー部数を指定する	117
コピー画面の説明	118
コピー画面に表示される項目と機能	118
5 スキャン	121
スキャンしたデータをメールで送る	122
スキャン To メール準備	122
Eメールアドレスを入力して送る	123
スキャンしたデータを共有フォルダーに保存する	125
パソコンに共有フォルダーを作成する	125
宛先（プロファイル）を登録する	126
共有フォルダーに保存する	127
スキャンを中止する	128
スキャン画面の説明	129
スキャン To メール画面	129
スキャン To 共有フォルダー画面	132
6 プリント	136
パソコンから印刷する（Windows）	137
Windows用PCLプリンタードライバーをお使いの方	137
Windows用PSプリンタードライバーをお使いの方	138
パソコンから印刷する（Mac OS X）	140
Mac OS Xをお使いの方	140
印刷を中止する	142
プリンタードライバーの画面と機能	143
Windows用PCLプリンタードライバー	143
Windows用PSプリンタードライバー	145
Mac OS X用PSプリンタードライバー	147
プリント画面に表示される項目と機能	152
7 ファクス	153
ファクスの基本操作	154
ファクス番号を入力して送る	154
ファクス送信を中止する	155
受信の設定	156
受信モードを設定する	156
着信から受信開始までの待ち時間を設定する（応答待ち時間）	158

ファクス画面に表示される項目と機能	160
8 メンテナンス	163
消耗品の交換	164
消耗品を交換するときの注意事項	164
トナーカートリッジを交換する	165
イメージドラムのみを交換する	169
イメージドラムとトナーカートリッジを同時に交換する	173
本体や部品の清掃	177
原稿ガラスを清掃する	177
LEDヘッドを清掃する	178
9 困ったときには	180
用紙が詰まったとき	181
エラーコードが「370」、「371」、「372」の場合	181
エラーコードが「380」、「381」、「382」、「385」、「389」の場合	186
エラーコードが「390」の場合	190
エラーコードが「391」、「392」、「393」の場合	193
エラーコードが「409」の場合	195
原稿が詰まったとき	200
原稿が見えているとき	200
原稿が見えていないとき	201
コピーのときのトラブル	203
コピーできない	203
プリントのときのトラブル	205
プリントできない	205
スキャンのときのトラブル	207
スキャンできない	207
ファクスのときのトラブル	208
ファクスを送信できない	208
ファクスを受信できない	209
操作パネルにエラーメッセージが表示されているとき	211
エラーメッセージ一覧	211
10 本機の管理／仕様一覧	222
管理者パスワードの変更	223
節電機能の設定	224
パワーセーブモードに移行する時間を設定する	224
スリープモードに移行する時間を設定する	225
節電機能の制限事項	225
自動的に電源を切る（オートパワーオフ）	226

オートパワーオフまでの時間を設定する	227
仕様	228
一般仕様	228
コピー部仕様	229
ファクス部仕様	229
スキャナー部仕様	230
印刷部仕様	230
ネットワーク仕様	231
無線LAN仕様	232
消耗品・メンテナンス品・オプション・用紙一覧	233

1

はじめにお読みください

安全上の注意

一般的な注意

諸注意

マニュアルについて

商標

ライセンス

安全上の注意

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

 警告	
	本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギアが回転するのでケガのおそれがあります。
	本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターまたは販売店へ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターまたは販売店へ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターまたは販売店へ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

 警告	
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた雑巾などで静かに拭き取ってください。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどを装置の上に乗せないでください。感電、火災のおそれがあります。
	本機の上ののったペットの尿などが本機に入ったり、ぬれたりしないようにしてください。感電、火災のおそれがあります。
	装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムを火の中に投げないでください。 粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	UPS（無停電電源）およびインバーターを使用した場合は動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

 注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

⚠注意

	壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。ケガをするおそれがあります。液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
	イメージドラムやトナーカートリッジを分解したり、無理に開けたりしないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

⚠危険

本装置には、CR2032 リチウム電池が使用されています。
装置寿命期間内に、本装置内部のリチウム電池をお客様が交換する必要はありません。
なお、何らかの理由でリチウム電池を廃棄する場合は、+極と-極をセロハンテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
他の金属や電池と混ざると発煙、破裂の原因となります。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

諸注意

- エネルギースターについて
 - 紙幣、有価証券などの印刷について
 - 電波障害防止について
 - 高調波規制について
 - 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意
-

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

紙幣、有価証券などの印刷について

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくとも犯罪となり罰せられます。
- 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
 - ・ 株券・手形・小切手などの有価証券
 - ・ 公務員又は役所が作成した証明書などの文書
 - ・ 契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
 - ・ 役所または公務員の印影、署名、記号
 - ・ 私人の印影または署名
- 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。
 - ・ 関係法律
刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルについて

本マニュアルに関するさまざまな情報を記載しています。本マニュアルをご利用になる前にお読みください。

● マニュアルについて

- マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- マニュアルの内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- マニュアルの内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
- マニュアルの内容に関して、運用上の影響につきましては上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

● マニュアルの著作権

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行うてはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2016 Oki Data Corporation

● マニュアルの構成

- セットアップガイド（冊子）…本機に付属しています。
- ユーザーズマニュアル（PDF）…本機に付属しているソフトウェアDVD-ROMに格納されています。
- 活用マニュアル（PDF）…沖データホームページよりダウンロードしてご覧ください。
- オンラインマニュアル…沖データホームページ上でご覧になれます。

● 記載について

記載について

本マニュアルで使用しているマークや記号、略称やイラストについて説明します。

- マークについて
- 記号について
- イラストについて



本マニュアルでは、特に記載のない限り、以下の画面を例にしています。

- Windowsの場合：Windows 7
- Mac OS Xの場合：Mac OS X 10.9

機種名を [OKI MFP] と書く場合があります。

お使いのOSやモデル、バージョンによって、本マニュアルの記載と異なることがあります。

マークについて

本マニュアルでは、以下のマークを使用しています。

記号	意味
	本機を正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。
	本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをおすすめします。
	参照項目です。詳しい情報を知りたいときにお読みください。
	関連項目です。関連する情報を知りたいときにお読みください。

記号について

本マニュアルで使用する記号とその意味を説明します。

記号	意味
イラスト（ボタン名）	本機の操作パネル上のボタン形状（ボタン名）を示します。

記号	意味
[]	操作パネルの表示画面に表示されるメニュー名、項目名、選択肢などを示します。 パソコンの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。 説明文や手順内のイラストで両者は明確に区別できます。
[]	表示画面のメッセージや入力テキストを示します。 パソコン上でのファイル名を示します。 リンク先の項目タイトルを示します。
< >	パソコンのキーボード上のキーを示します。
>	本機やパソコンのメニューの遷移を示します。

イラストについて

本マニュアルで使用されている装置のイラストは、MC573を例にしています。

本マニュアルで使用されている操作パネルの表示画面は、工場出荷時の設定です。



お使いのモデルによって、本マニュアルの記載と異なることがあります。

商標

OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。

Energy Starは米国環境保護庁の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、Mac、Mac OS、iPad、iPhone、iPod、iPod TouchおよびSafariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



AirPrintとAirPrintロゴはApple Inc.の商標です。

Google、Google ドキュメント、Android、Gmail は、Google Inc. の商標です。

Googleクラウドプリントは、Google Inc. の商標です。

Adobe、Illustrator、Photoshop PostScript およびReader は、米国およびその他の国々で登録されたAdobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

MIFAREはNXP Semiconductors社の登録商標です。

その他記載されている製品名またはブランド名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

• お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に、本契約書を必ずお読み下さい。お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。

もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1 使用範囲

お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンターを所有する場合に限り、当該製品に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピューターにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2 財産権および義務

- (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、著作権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
- (2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
- (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
- (4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
- (5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3 期間

- (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。

- (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
- (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4 保証

- (1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
第三者の権利を侵害していないこと。
特定の目的に適合していること。
- (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5 責任の限定

沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為（過失を含むがこれに限定されない）に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6 準拠法

本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7 契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8 輸出管理

本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている状態で使用されないものとします。お客様は、適切な米国及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9 完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて冲データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と冲データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10 Notice to U.S. Government End Users (米国政府機関のエンドユーザへの注意)

All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.

本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

• オープンソースライセンス公開

本機には、以下のオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する記述は以下の通りです。

json-c

Copyright (c) 2009-2012 Eric Haszlkiewicz

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR

PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

2

装置のセットアップ

- 設置について
- 付属品の確認
- 開梱と設置
- オプションを取り付ける
- 電話線ケーブルを接続する
- 電源コードを接続する
- LANケーブル／USBケーブルを接続する
- トレイに用紙をセットする
- 設定情報を確認する
- 本機に情報を設定する
- 無線LANで接続するとき
- パソコンにソフトウェアをインストールする

設置について

- 設置環境
- 設置スペース

設置環境

本機は、以下の環境に設置してください。

周囲温度：10℃～32℃

周囲湿度：20%～80% RH（相対湿度）

最大湿球温度：25℃



- 結露しないように注意してください。故障の原因になります。
- 周囲湿度が30% RH以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットを使用してください。
- 本機は、設置環境により動作音が気になる場合があります。動作音が気になる場合は、機器を離れた場所や別室に設置することをお勧めします。

警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さな子供の手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

注意

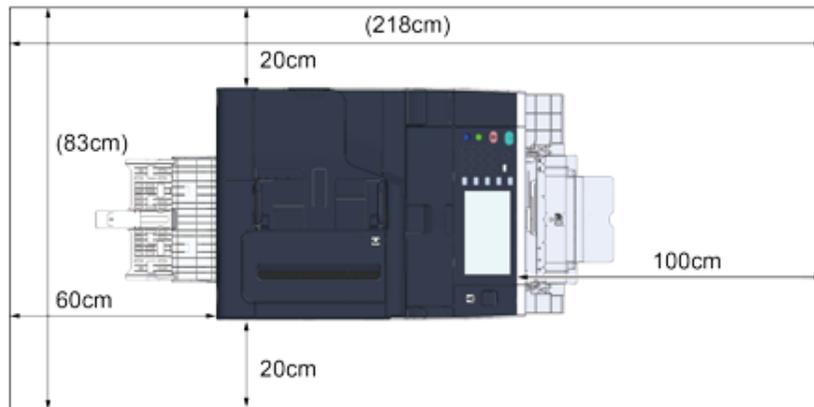
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ち、本機を後ろ側に倒し気味にして運んでください。

設置スペース

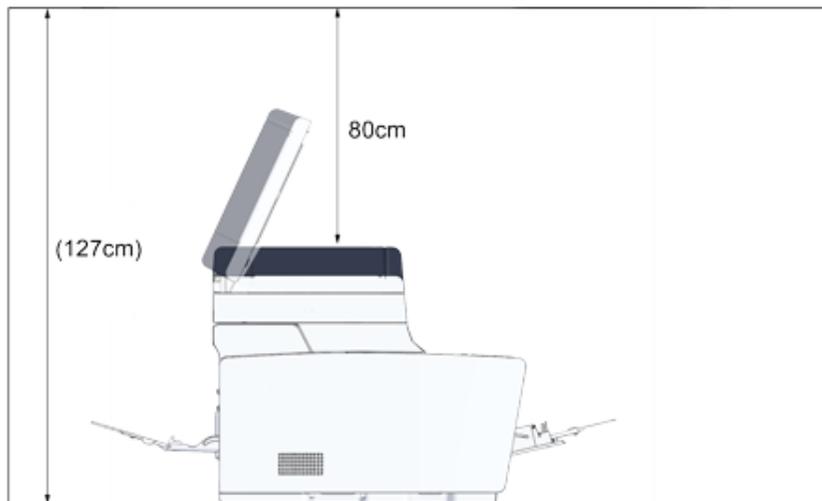
本機の足が乗る大きさの平らな机の上に設置してください。

以下の図に示すとおり、本機の周りに十分なスペースを取ってください。

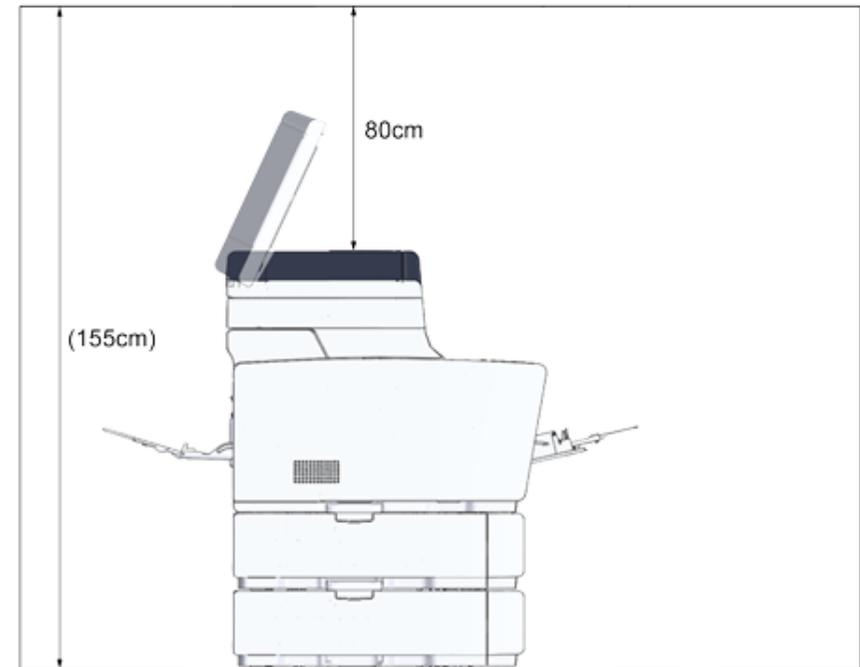
● 平面図



● 側面図



● 側面図（増設トレイユニット（オプション）取り付け時）



付属品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
本機は、重量が約31 kgありますので、2人以上で持ち上げてください。		

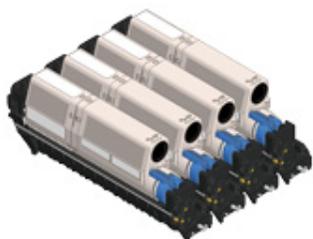


必ず、本機に添付されている消耗品を先にご使用ください。添付品以外の消耗品を先に取り付けると、寿命が正しく表示されなくなったり、後から添付品が使えなくなることがあります。

● 本体



- イメージドラム4本（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
- スタートナーカートリッジ4本（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）



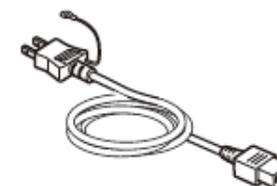
スタートナーカートリッジはイメージドラムに取り付けられた状態で、本体内にセットされています。

スタートナーカートリッジの印刷可能枚数は約2,000枚です（A4片面印刷、弊社社内試験による参考値）。

● ソフトウェアDVD-ROM



● 電源コード



● 電話線ケーブル



● 封筒用レバー

封筒用レバーはMPトレイに収納されています。封筒に印刷するとしわがよるときに使用してください。

使用方法は活用マニュアルをご覧ください。



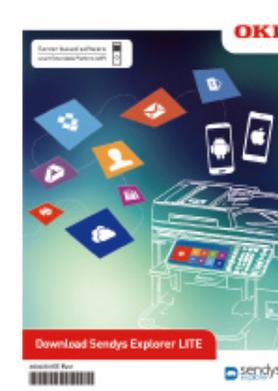
- セットアップガイド
- COREFIDO 3ガイド



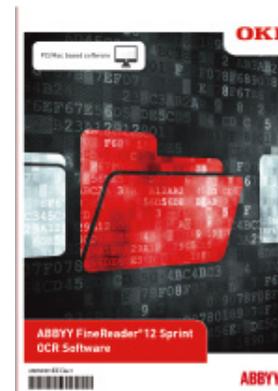
- お客様相談センターラベル



- Sendys Explore LITE のダウンロードについて



- ABBYY Fine Reader 12 Sprint のダウンロードについて



- ファクスドライバー送付状の設定について



- LANケーブル、USBケーブルは付属していません。接続環境に合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材は本機を輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

開梱と設置

本機の開梱と設置のしかたについて説明します。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
本機は、重量が約31 kgありますので、2人以上で持ち上げてください。		



- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や、約1500ルクスを超える強い光に当てないでください。室内の照明の下でも、5分以上は放置しないでください。
- 梱包箱や緩衝材は本機を輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

1 梱包箱から本機を取り出し、添付品、緩衝材、ビニール袋を取り外します。

2 本機を持ち上げ、設置場所に置きます。

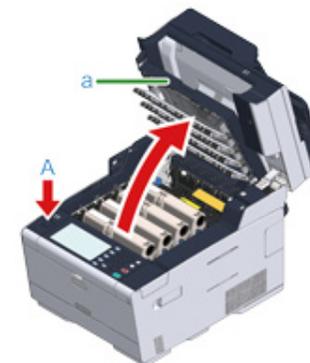


スキャナーユニットは、手順4まで開かないでください。

3 全ての緩衝材と保護テープ、保護シート、乾燥剤を取り外します。

4 取っ手部（B）を持ちスキャナーユニットを開きます。

5 ボタン（A）を押して、本体排紙トレイ（a）を止まるまで開きます。



6 トナーカートリッジの青色のレバーの先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで奥側に回します。

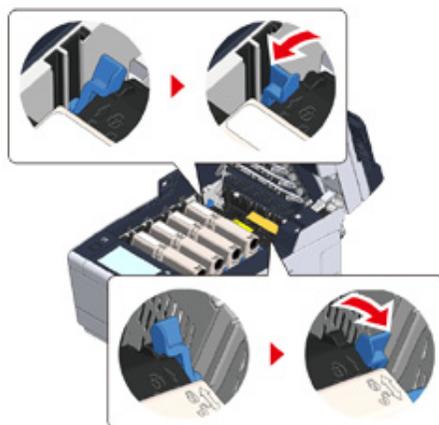
4本のトナーカートリッジのレバーをすべて回します。





青色のレバーを回さずに本体排紙トレイを閉めると故障の原因になります。必ず、青色のレバーの先端がトナーカートリッジの奥側の突起に合うまで回してください。

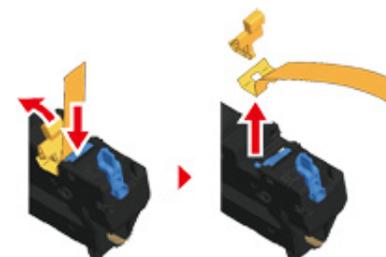
- 7** 定着器ユニットの左右のレバーを手前に引いて、定着器ユニットのロックを解除します。



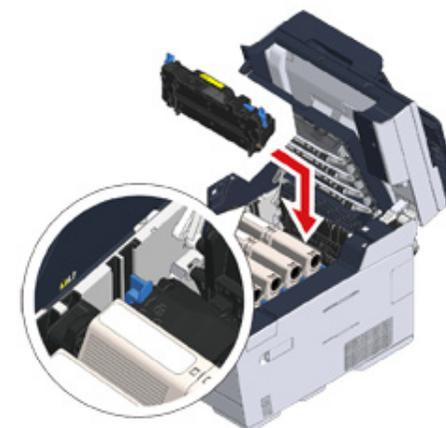
- 8** 定着器ユニットのハンドルを持って持ち上げ、本機から取り外します。



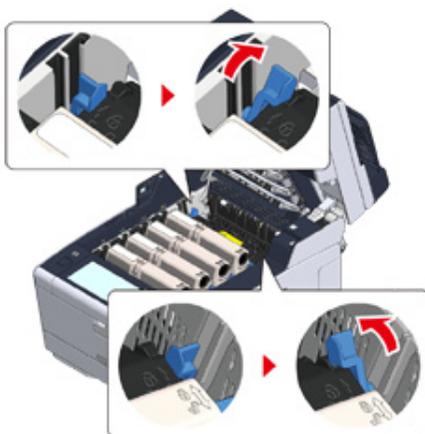
- 9** 定着器ユニットの青いレバーを押しながら、オレンジ色のストッパーリリースとフィルムを取り外します。



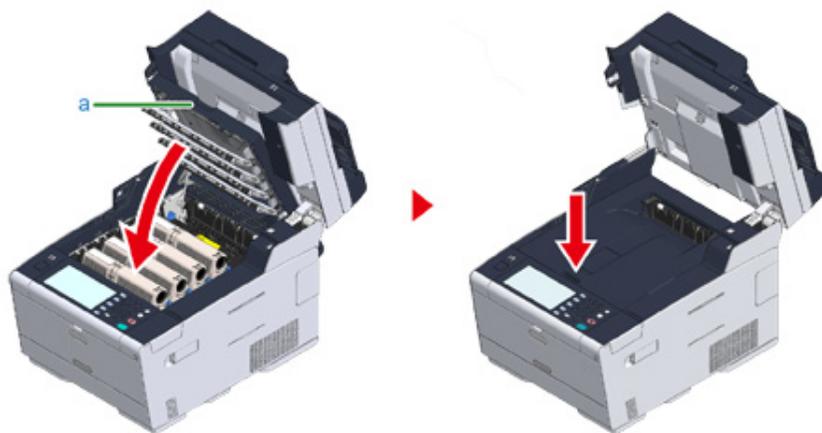
- 10** 定着器ユニットのハンドルを持って、定着器ユニットをトナーカートリッジ奥の溝に合わせて本機にセットします。



- 11 定着器ユニットの左右のレバーを奥に押し、定着器ユニットをロックします。



- 12 本体排紙トレイ (a) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



本体排紙トレイが開いているというエラーメッセージが消えない場合は、本体排紙トレイがしっかり閉じているか確認してください。

- 13 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニットを閉じます。



オプションを取り付ける

ここでは、本機のオプション品の取り付けかたについて説明します。

- 増設トレイユニットを取り付ける
- プリンタードライバーの設定をする

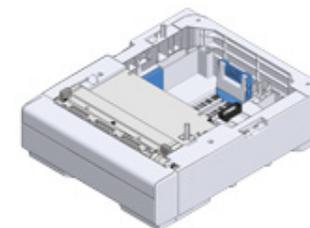
増設トレイユニットを取り付ける

セットする用紙を増やしたい時に取り付けます。

最大2段まで取り付けることができます。

取り付けたあと、プリンタードライバーでトレイの数を設定します。

型名：TRY-C4J1



注意

ケガをするおそれがあります。



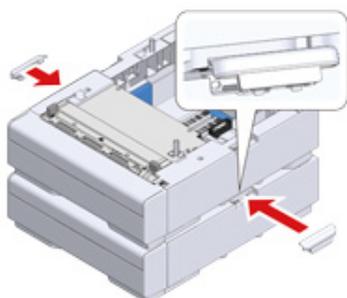
本機は、重量が約31 kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

1 本機の電源が切れていること、本機に接続している電源コードやケーブル類がないことを確認します。



電源を入れた状態で増設トレイユニットを取り付けると、本体と増設トレイユニットが故障するおそれがあります。

- 2 増設トレイユニットを2段取り付ける場合は、あらかじめ重ねてロックピースで固定しておきます。



- 3 本機と増設トレイユニットの背面と右側面をそろえて、本機を増設トレイユニットの上に静かに載せます。



- 4 本機と増設トレイユニットをロックピースで固定します。



プリンタードライバーの設定をする

増設トレイユニットを取り付けたときは、プリンタードライバーをインストールした後に、トレイの設定を変更します。

プリンタードライバーのインストールについては、「パソコンにソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

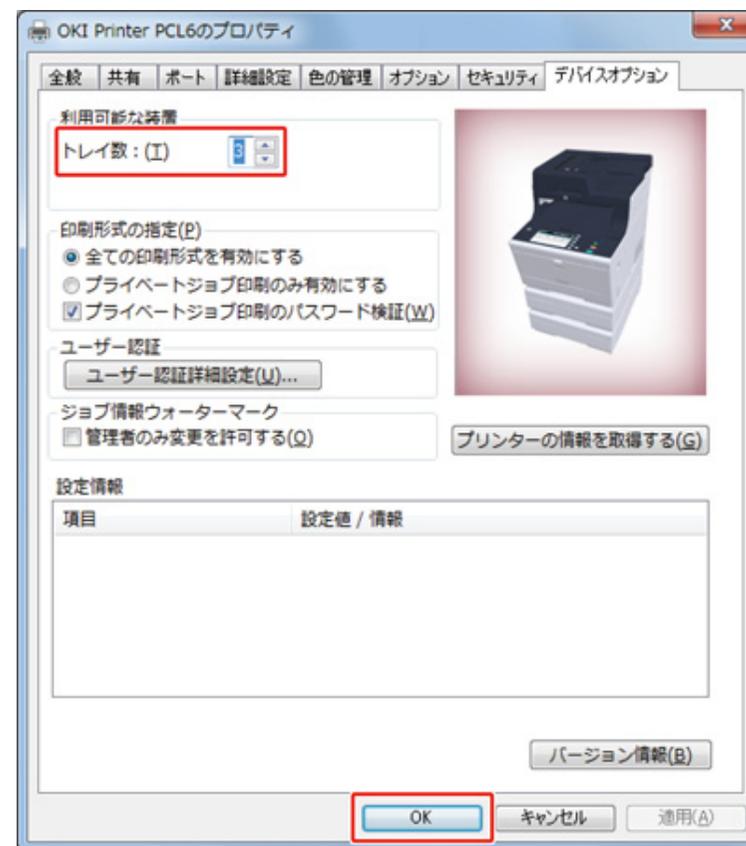


- この手順を実行する場合は、パソコンに管理者権限でログインする必要があります。
- Mac OSを以下の状況でお使いの場合、プリンタードライバーは自動で情報を取得するため、新たに設定する必要はありません。
 - プリンタードライバーをインストールする前にオプションを取り付けた場合
 - Bonjourを使ってネットワーク接続している場合
 - USB接続している場合

• Windows用PCLプリンタードライバーをお使いの方

- 1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 [OKI MC573] のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から [OKI MC573 PCL6] を選択します。
- 3 [デバイスオプション] タブを選択します。

4 トレイの総数を入力し、[OK] をクリックします。

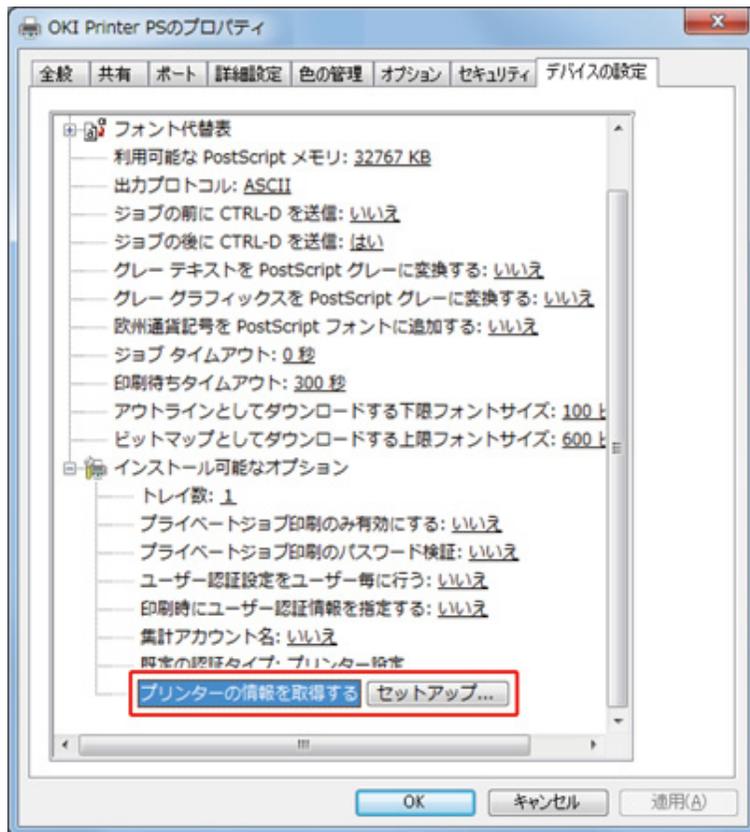


TCP/IPでネットワーク接続している場合、[プリンターの情報を取得する] をクリックすると、トレイの総数が自動的に設定されます。

• Windows用PSプリンタードライバーをお使いの方

- 1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 [OKI MC573] のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から [OKI MC573 PS] を選択します。

- 3 [デバイスの設定] タブを選択します。
- 4 [インストール可能なオプション] で [プリンターの情報を取得する] を選択し、[セットアップ] をクリックします。



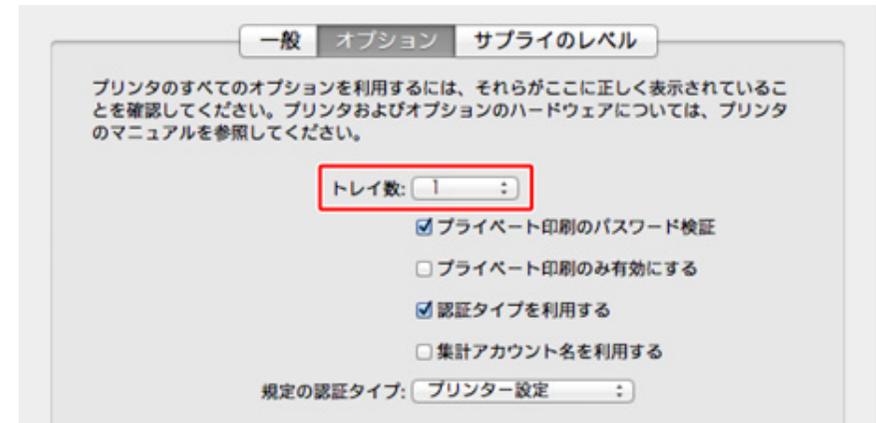
USB接続の場合は [インストール可能なオプション] の [トレイ数] でトレイの総数を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。

● Mac OS X用プリンタードライバーをお使いの方

- 1 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。

- 2 [プリンタとスキャナ] をクリックします。
- 3 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックします。
- 4 [オプション] タブを選択します。
- 5 [トレイ数] からトレイの総数を選択し、[OK] をクリックします。



電話線ケーブルを接続する

ファクス送受信用に電話線ケーブルを接続する方法について説明します。

お使いの環境によって、電話線ケーブルを接続する方法が異なります。本マニュアルのイラストを参考に、お使いの環境に合わせて接続してください。

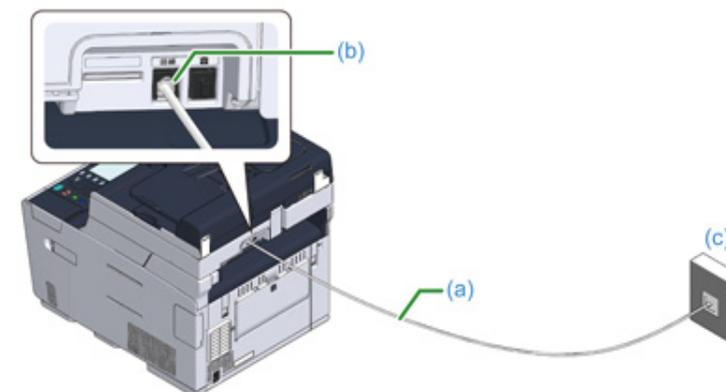
電話線ケーブルは、たるまないように装置のくぼみにセットしてください。



- 必ず、本機に付属の電話線ケーブルを使用してください。付属品以外の電話線ケーブルを使用すると誤動作することがあります。
- ファクスの送受信ができない場合は、本機の「スーパー G3」の設定を [オフ] にしてください。
- ISDN回線には直接接続できません。接続するためには、ターミナルアダプター (TA) を使用し、本機の回線コネクタに接続してください。

- 公衆回線に接続する (ファクス専用として使用する場合)
- 公衆回線に接続する (電話機を本機に接続する場合)
- ひかり電話 (IP電話) に接続する
- ADSL環境に接続する
- 構内交換機 (PBX) / ホームテレホン / ビジネスホンに接続する
- 内線電話として接続する
- CSチューナーやデジタルテレビを接続する

公衆回線に接続する (ファクス専用として使用する場合)

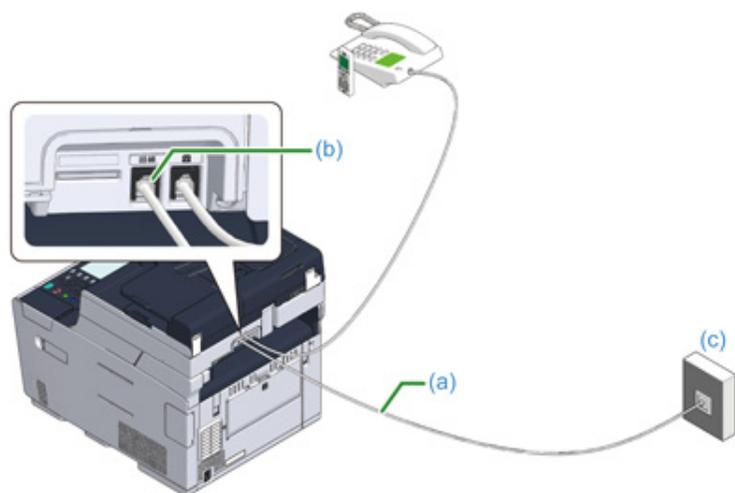


- 1 付属の電話線ケーブル (a) の一端を本機の回線コネクタ (b) に差し込み、他端を公衆回線 (アナログ) (c) に差し込みます。



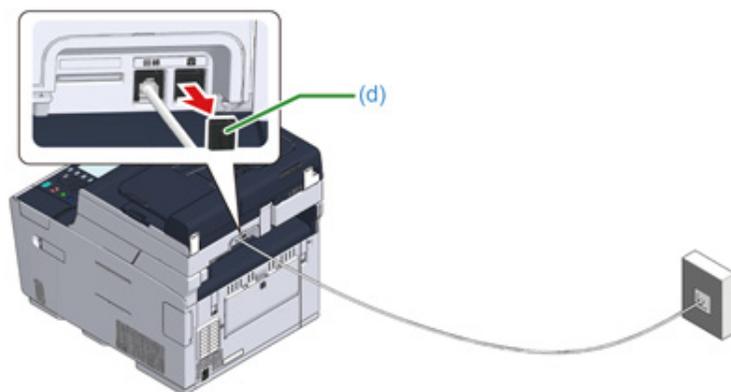
「TELコネクタ」のカバーは差し込んだままにします。

公衆回線に接続する（電話機を本機に接続する場合）



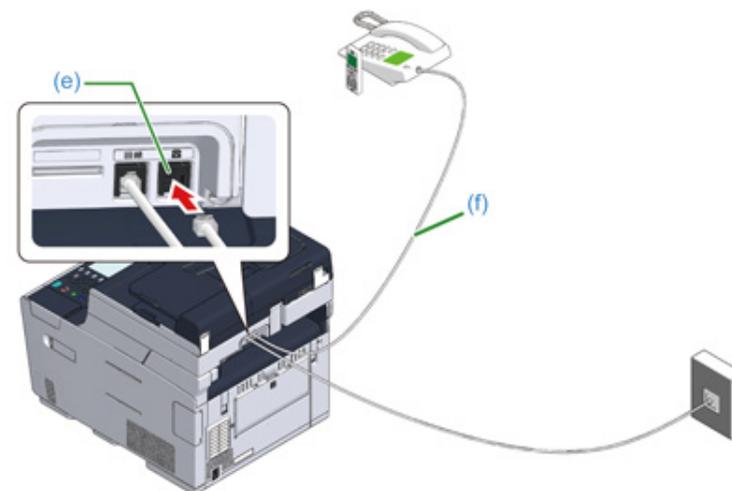
1 付属の電話線ケーブル (a) の一端を本機の回線コネクター (b) に差し込み、他端を公衆回線 (アナログ) (c) に差し込みます。

2 TELコネクターカバー (d) を外します。



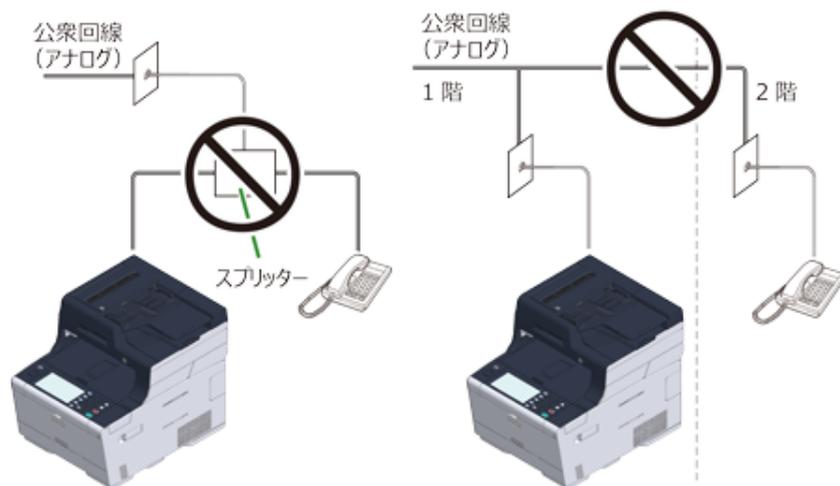
3 外付け電話機の電話線ケーブル (f) を本機のTELコネクター (e) に差し込みます。

本機に接続した電話機を、外付け電話機と呼びます。





- 本機のTELコネクタに接続できる電話機は1台のみです。
- 本機と電話機は、ブランチ接続（並列接続）しないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
 - ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の手話器を上げると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
 - 電話がかかってきた場合はベルの鳴り遅れや途中で止まったり、ファクスが送信された場合はファクスを受信できないことがあります。

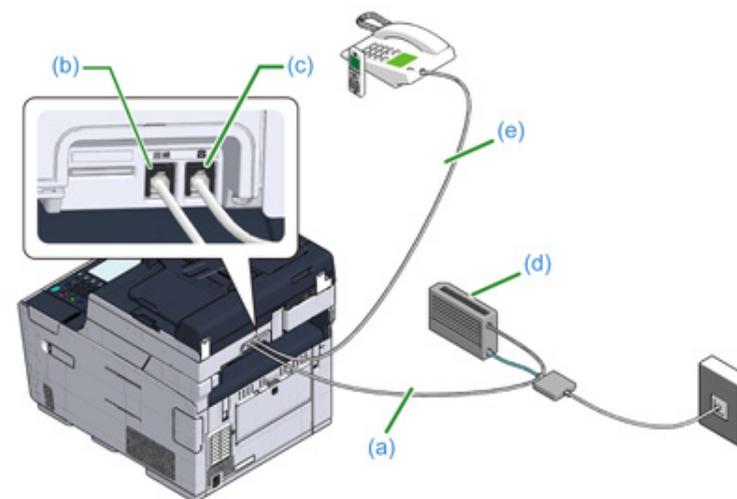


- ファクス機能を持つ電話機を接続する場合は、電話機のファクス機能を無効（ファクス受信を無効）に設定し、ご利用ください。



直接配線の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

ひかり電話（IP電話）に接続する



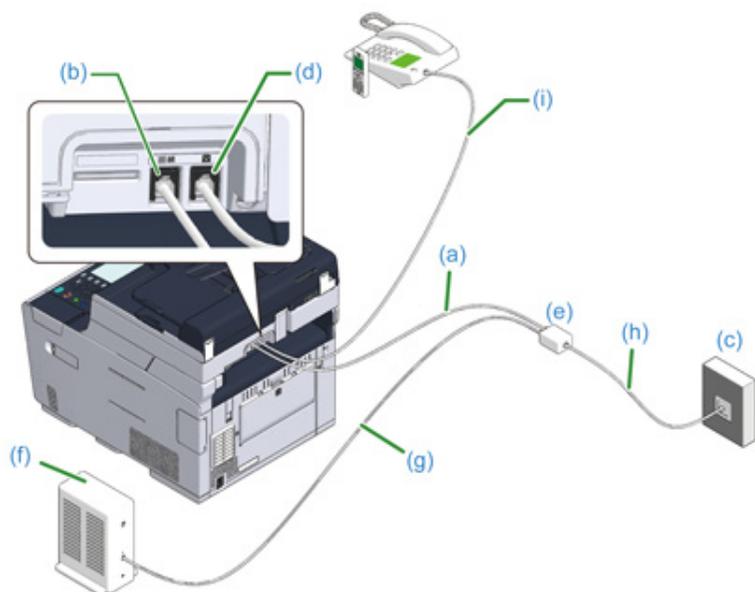
- 1 ひかり電話（IP電話）対応機器（d）につないだ付属の電話線ケーブル（a）を本機の回線コネクタ（b）に差し込みます。
- 2 TELコネクタカバーを外します。
- 3 外付け電話機の電話線ケーブル（e）を本機のTELコネクタ（c）に差し込みます。



- ダイヤルできない（発信しない）場合は、[PBXライン] を [オン] にしてください。
 - 🔗 運用初期設定（活用マニュアル）
- ファクスミリの送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。
 - 🔗 運用初期設定（活用マニュアル）

ADSL環境に接続する

付属の電話線の他に、同等の電話線（2芯）を1本準備してください。



- 1 付属の電話線ケーブル（a）の一端を本機の回線コネクタ（b）に差し込み、他端をスプリッター（e）に差し込みます。

スプリッターとADSLモデムが一体型の場合は、ADSLモデム（f）につないだ付属の電話線ケーブル（a）を本機の回線コネクタ（b）に差し込みます。

- 2 スプリッター（e）に電話回線（g）でADSLモデム（f）をつなぎ、もう1本の電話線ケーブル（h）を公衆回線（アナログ）（c）に差し込みます。

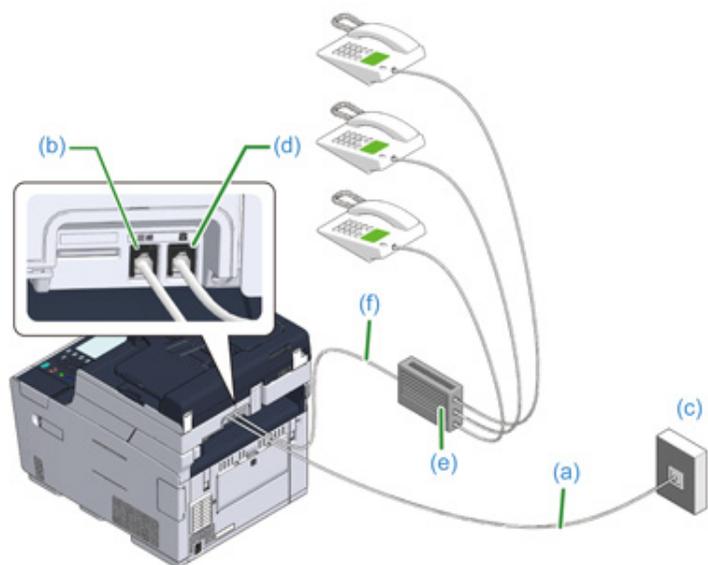
- 3 TELコネクタカバーを外します。

- 4 外付け電話機の電話線ケーブル（i）を本機のTELコネクタ（d）に差し込みます。



- ダイヤルできない（発信しない）場合は、[PBXライン] を [オン] にしてください。
 運用初期設定（活用マニュアル）
- ファクシミリを送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。
 運用初期設定（活用マニュアル）

構内交換機 (PBX) / ホームテレホン / ビジネスホンを接続する

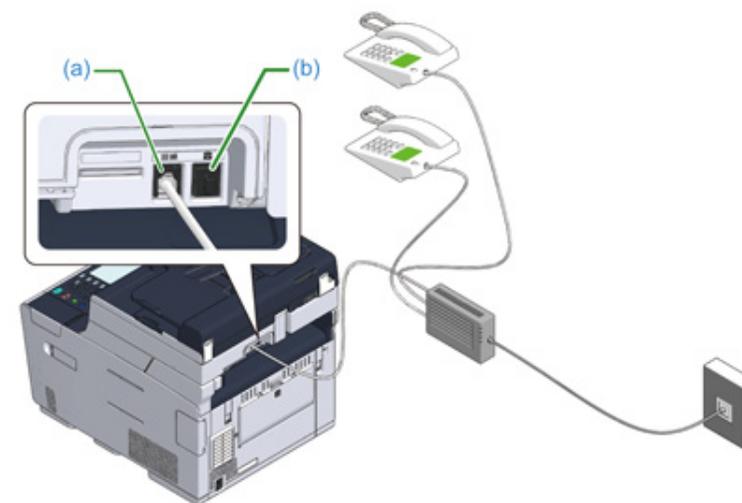


- 1 公衆回線 (アナログ) (c) につないだ付属の電話線ケーブル (a) を本機の回線コネクタ (b) に差し込みます。
- 2 PBX 等の制御装置 (e) につないだ電話線ケーブル (f) を本機の TEL コネクタ (d) に差し込みます。



- ホームテレホンとは、電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- ビジネスホンとは、電話回線 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

内線電話として接続する

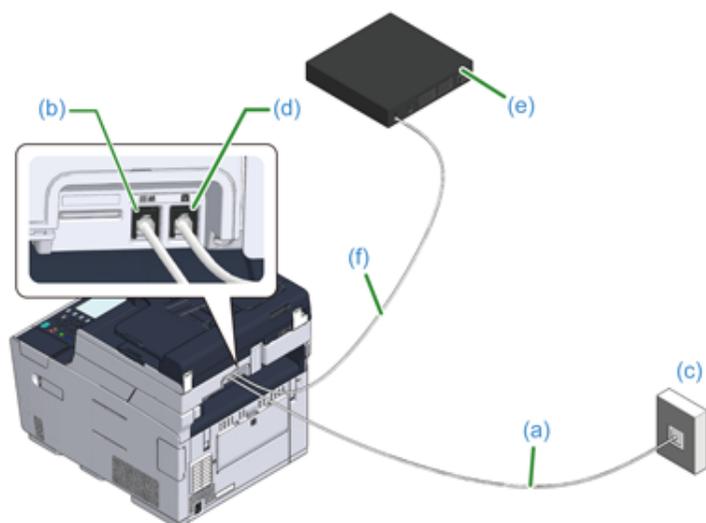


- 1 PBX 等の制御装置につないだ電話線ケーブルを本機の回線コネクタ (a) に差し込みます。
- 2 回線をファクスと電話で共有する場合は、外付け電話機の電話線ケーブルを TEL コネクタ (b) に差し込みます。



- PBX (構内交換機) に接続する場合は、PBXラインの設定を [オン] にしてください。
- 🔗 ファクス機能 (活用マニュアル)

CSチューナーやデジタルテレビを接続する



- 1 公衆回線（アナログ）（c）につないだ付属の電話線ケーブル（a）を本機の回線コネクタ（b）に差し込みます。
- 2 TELコネクタカバーを外します。
- 3 CSチューナーまたはデジタルテレビ（e）につないだ電話線ケーブル（f）を本機のTELコネクタ（d）に差し込みます。

電源コードを接続する

- 電源について

電源について

電源は、以下の条件を守ってください。

交流 (AC) : 100 VAC (範囲 : 90 ~ 110 VAC)

電源周波数 : 50/60 Hz \pm 2%



- 電源が不安定な場合は、電圧調整器を使用してください。
- 本機の最大消費電力は1250 Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- 無停電電源 (UPS) やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターを使用しないでください。

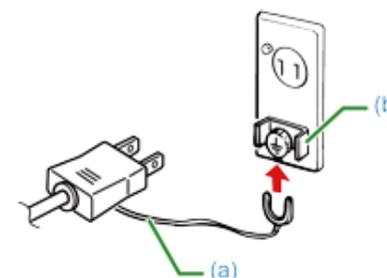
 警告	火災や感電のおそれがあります。	 
<ul style="list-style-type: none"> 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。 アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースがとれない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。 アース線は、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。 アース線の接続は、必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。 破損した電源コードを使用しないでください。 たこ足配線はしないでください。 本機とほかの電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッターなどと同時に接続すると、電氣的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルターかノイズカットトランスを使用してください。 本機に付属の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。ほかの製品用の電源コードを本機に使用しないでください。 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、本機が正常に動作しない場合があります。 印刷中に電源を切ったり電源コードを抜かないでください。 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。 本機に付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。 		

1 電源コードを本機の電源コネクタに差し込みます。

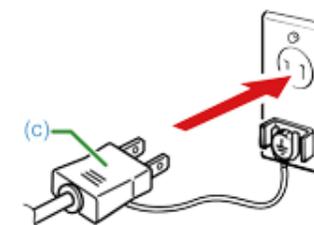


2 電源コードをコンセントに差し込みます。

(1) アース線 (a) をコンセントのアース端子 (b) に接続します。



(2) 電源プラグ (c) をコンセントに差し込みます。



LANケーブル／USBケーブルを接続する

有線でネットワークに接続したり、USBケーブルで本機とパソコンを接続する場合は、次の手順でケーブルを接続します。

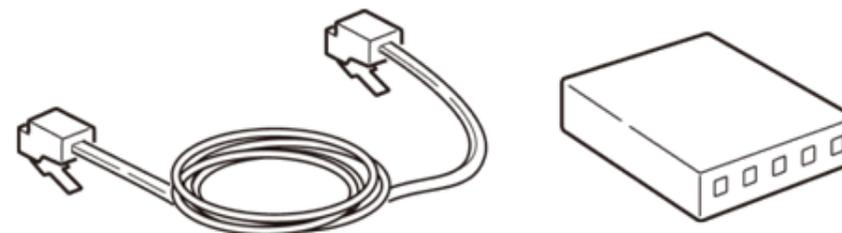
- LANケーブルを接続する
- USBケーブルを接続する

LANケーブルを接続する



LANケーブル（カテゴリ5e以上、ツイストペア、ストレート）は、本機に付属していません。別途、用意してください。

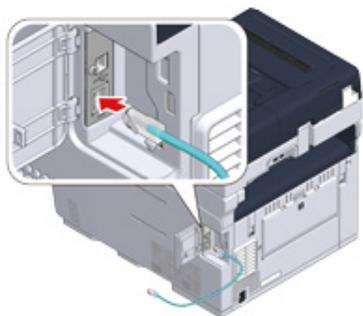
- 1 LANケーブル（カテゴリ5e以上、ツイストペア、ストレート）とハブを用意します。



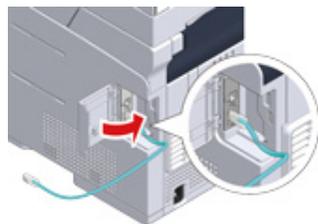
- 2 本機とパソコンの電源が切れていることを確認します。
- 3 本機背面のインターフェースカバーの中央を押しながら、開けます。



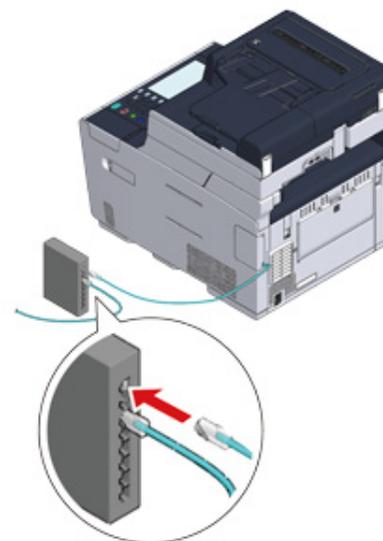
- 4 LANケーブルの一端を、本機のネットワークインターフェースコネクタに差し込みます。



- 5 LANケーブルをツメの下に通し、インターフェースカバーを閉じます。



- 6 LANケーブルの他端をハブに差し込みます。



続いて、「トレイに用紙をセットする」へ進みます。

USBケーブルを接続する

USBケーブル（Hi-Speed USB 2.0仕様）は本機に付属していません。別途、用意してください。

1 USBケーブルを用意します。



USB 2.0のHi-Speedモードで接続を行う場合は、Hi-Speed USB 2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。



2 本機とパソコンの電源が切れていることを確認します。

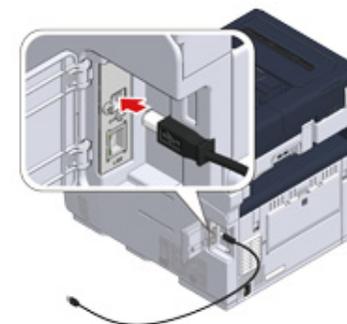
3 本機背面のインターフェースカバーの中央を押しながら、開けます。



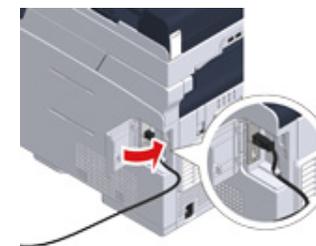
4 USBケーブルの他端をパソコンのUSBインターフェースコネクタに差し込みます。



USBケーブルをネットワークインターフェースコネクタに差し込まないでください。故障の原因になります。



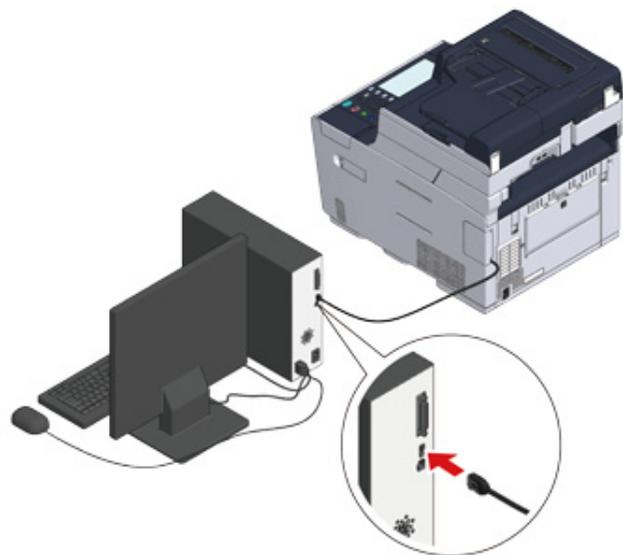
5 USBケーブルをツメの下に通し、インターフェースカバーを閉じます。



6 USBケーブルの他端をパソコンのUSBインターフェースコネクタに差し込みます。



Windowsの場合、ドライバーのインストール中に画面上に指示が表示されるまで、USBケーブルの他端をパソコンに差し込まないでください。



続いて、「トレイに用紙をセットする」へ進みます。

トレイに用紙をセットする

ここでは、トレイ1にセットする場合を例にしています。

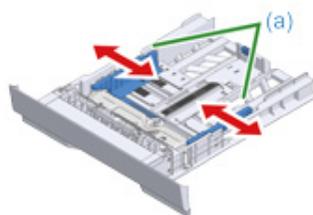
トレイ2/3 (オプション) も同じ手順でセットします。

使用できる用紙については、「使用できる用紙」をご覧ください。

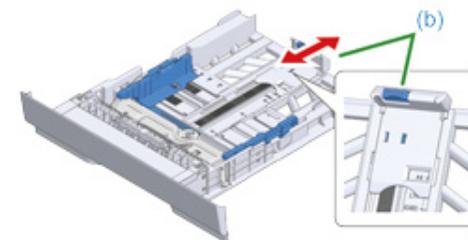
- 1 用紙カセットを引き出します。



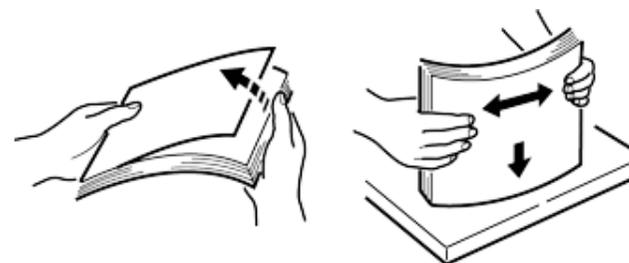
- 2 用紙ガイド (a) を、セットする用紙の幅に合わせてスライドさせます。



- 3 用紙ストッパー (b) を、セットする用紙の長さに合わせてスライドさせます。



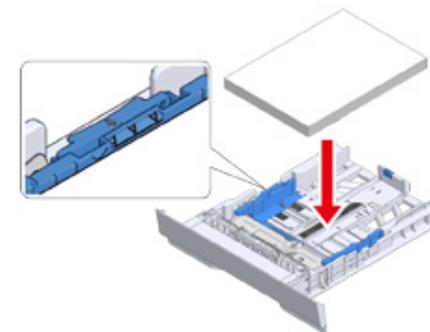
- 4 用紙をよくさばいて、用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



- 5 印刷面を下にして用紙をセットします。



用紙ガイドの「▽」マークを越える用紙をセットしないでください。



- 6 用紙ガイドで、用紙をしっかり固定します。

- 7 用紙カセットを本体に戻します。
用紙カセットが止まるまで押します。



設定情報を確認する

初めて電源を入れると「簡単設定」メニューを表示します。

画面に従って、情報を入力していきますので、その前に、下記の表で必要な情報を確認しておきます。

初めて電源を入れた時に設定しない場合は、あとで、操作パネルやパソコンから設定をすることもできます。

● 管理者パスワード

工場出荷時は、「999999」が設定されています。お客様のセキュリティを守るため、管理者パスワードを変更することをおすすめします。

項目	説明	お客様が設定する値
管理者パスワード	本機の管理者パスワードです。6～12文字で設定します。変更したパスワードは、忘れないようにしてください。	

● ファクス基本設定

ファクス機能をお使いになる場合は、下記の情報が必要です。

項目	説明	お客様が設定する値
ファクス番号	本機のファクス番号を設定します。最大20桁です。	
送信者情報	送信者情報を設定します。半角文字は22文字、全角文字は11文字まで設定できます。	

● ネットワークの基本設定

本機をLANケーブルでネットワークに接続する場合は、下記の情報が必要です。

項目	説明	お客様が設定する値
IPアドレス	本機のIPアドレスを設定します。	
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。	
DNSサーバー（プライマリー）	プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを設定します。	
DNSサーバー（セカンダリー）	セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを設定します。	
WINSサーバー（プライマリー）	プライマリーWINSサーバーの名前（最大15文字）、またはIPアドレスを設定します。	

項目	説明	お客様が設定する値
WINSサーバー（セカンダリー）	セカンダリーWINSサーバーの名前（最大15文字）、またはIPアドレスを設定します。	

● Eメールの基本設定

スキャン To メールやインターネットファクスなど、Eメールの送受信を必要とする機能をお使いになる場合は、下記の情報が必要です。

項目	説明	お客様が設定する値
メールサーバーアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。最大64文字です。	
SMTP ポート	SMTPポート番号を設定します。	
SMTP 送信暗号化方式	[None] / [SMTP] / [STARTTLS] のいずれかを設定します。	
送信者アドレス	Eメールを送る時に表示されます。	
受信用のプロトコル	[POP3] / [SMTP] / [無効] のいずれかを設定します。 [POP3] を選択した場合は、POP3サーバーアドレスを確認しておきます。	
認証方法	[認証しない] / [SMTP Auth] / [POPBefore SMTP] のいずれかを設定します。 [SMTP Auth] または [POPBefore SMTP] を選択した場合は、ユーザー名とパスワードを確認しておきます。	
(SMTP Auth / POPBefore SMTP) 認証方法：ユーザー名	認証のためのユーザー名を設定します。設定できる文字数は、最大64文字です。	
(SMTP Auth / POP Before SMTP) 認証方法：パスワード	認証のためのパスワードを設定します。設定できる文字数は、最大64文字です。	

● COREFIDOクラウド設定

インターネットに接続するときにプロキシサーバーを使用する場合は、下記の情報が必要です。

項目	説明	お客様が設定する値
プロキシサーバーのアドレス	プロキシサーバーを設定します。	
プロキシサーバーのポート番号	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	

項目	説明	お客様が設定する値
プロキシのユーザー ID	プロキシのユーザー ID を設定します。プロキシ認証が必要ない場合は、設定する必要はありません。	
プロキシのパスワード	プロキシのパスワードを入力します。プロキシ認証が必要ない場合は、設定する必要はありません。	

本機に情報を設定する

初めて電源を入れたときや、設定値を初期化したときは、[簡単設定] メニューが表示されます。タッチパネルの内容に従って、必要な情報を設定します。今すぐに設定しない項目は、[次の項目へ>>] を押し、スキップしても構いません。



ここではもっとも簡単に設定する手順を記載しています。

- 言語の設定
- 時刻と日付の設定
- 管理者パスワードの設定
- ファクスの設定
- ネットワークの設定
- Eメールの設定
- COREFIDO クラウドの設定
- テスト印刷

言語の設定

- 1 操作パネルの電源スイッチを約 1 秒間押し、電源を入れます。電源が入ると電源スイッチのLED ランプが点灯します。



- 2 [簡単設定] メニューの言語選択画面が表示されたら、設定したい言語を押します。



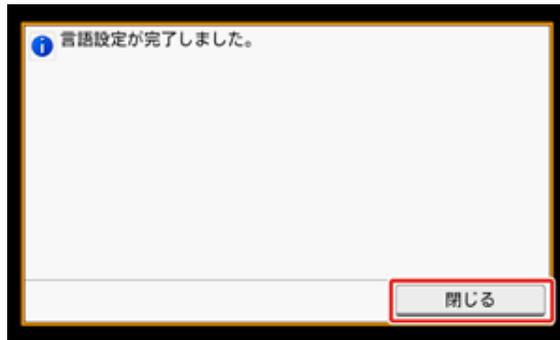
画面を切り替えるには [▲] [▼] を押します。



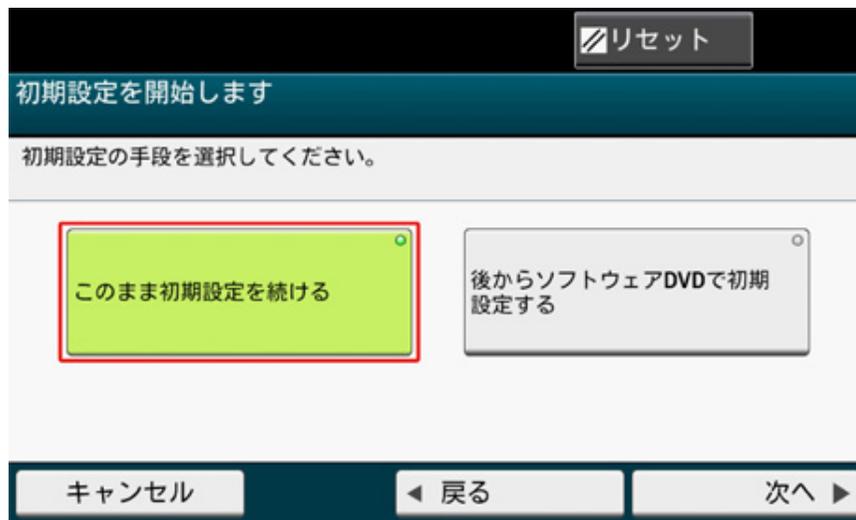
- 3 [閉じる] を押します。



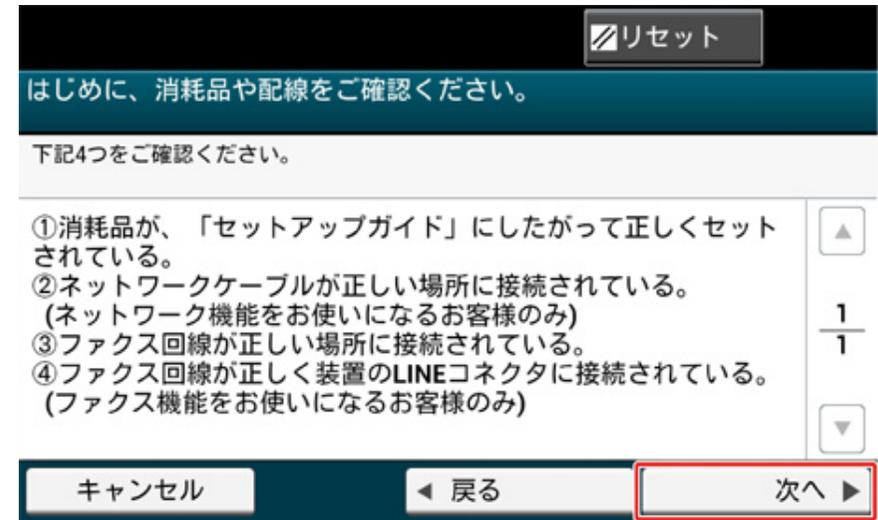
[閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。



4 [このまま初期設定を続ける] を押します。

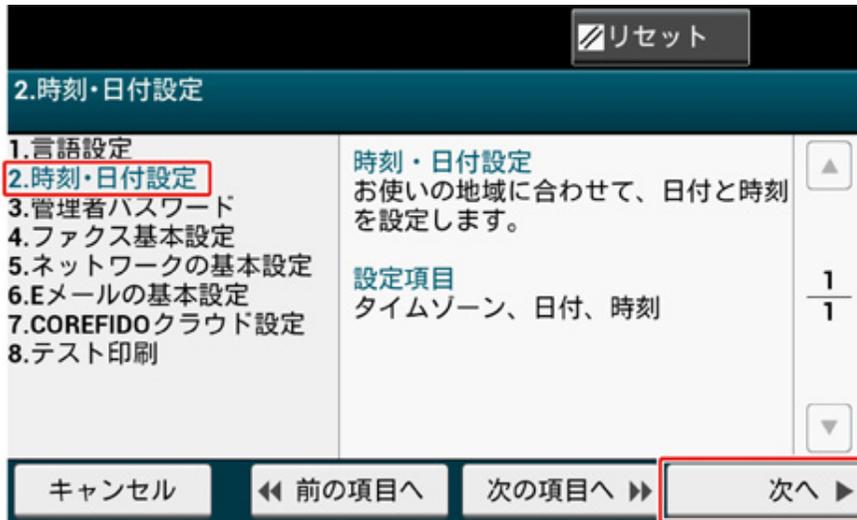


5 消耗品のセットと配線が完了していることを確認し、[次へ] を押します。



時刻と日付の設定

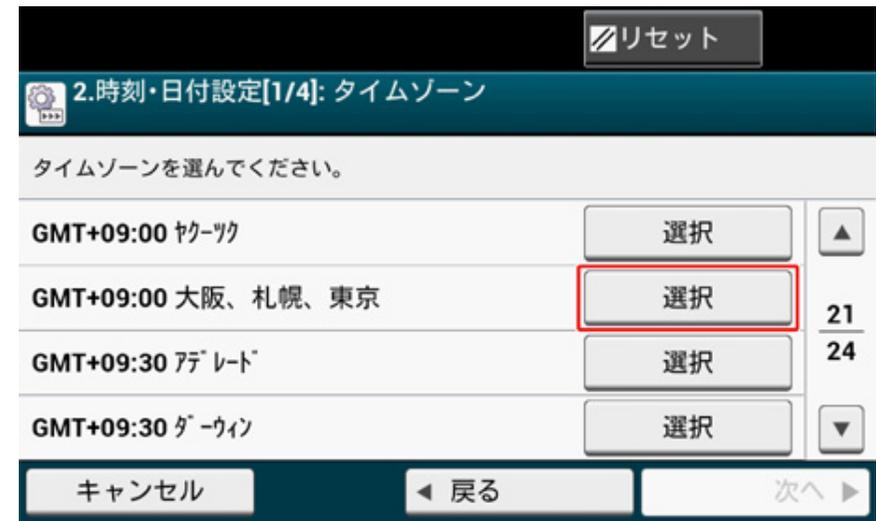
- 1 [2. 時間・日付設定] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。
タイムゾーンを設定する画面が表示されます。



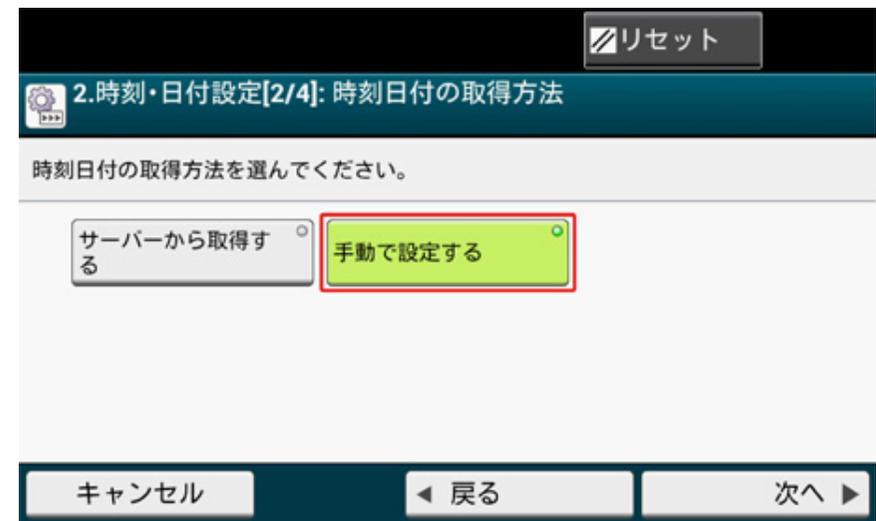
- 2 使用するタイムゾーンの [選択] を押します。



画面を切り替えるには [▲] [▼] を押します。



- 3 [手動で設定する] を押します。



- 4 [▲] [▼] または操作パネルにあるテンキーを使用して月を入力します。



☒ (テンキーマーク) が表示されている欄には操作パネルのテンキーを使って値を入力できます。

- 5 [日] の入力ボックスを一度押して、日を入力します。
- 6 [年] の入力ボックスを一度押して年を入力し、[次へ] を押します。

- 7 日付の設定と同じ要領で、現在の時刻を [▲] [▼] または操作パネルにあるテンキーを使用して入力し、[次へ] を押します。設定内容が更新されま

- 8 [閉じる] を押します。



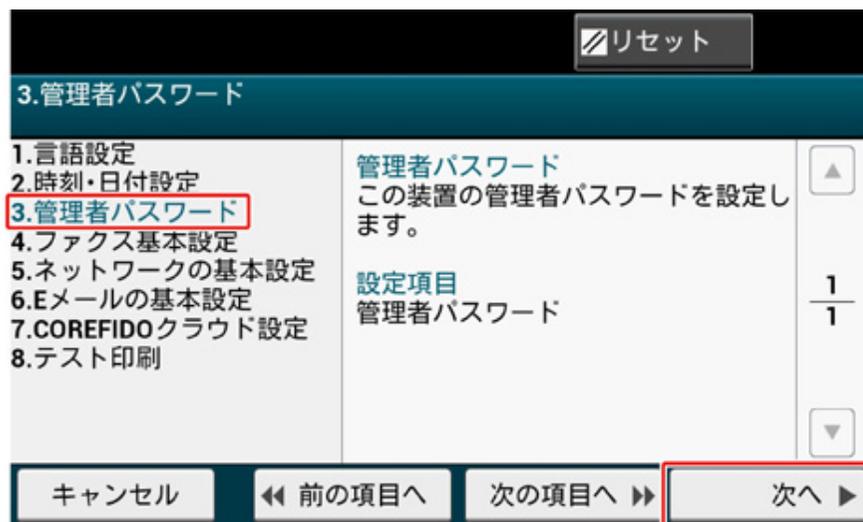
[閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。

管理者パスワードの設定



工場出荷時の設定では「999999」になっていますが、第三者に容易に推測されないように、独自の管理者パスワードに設定し直すことを強くお勧めします。

- 1 [3. 管理者パスワード] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。新しい管理者パスワードを設定する画面が表示されます。



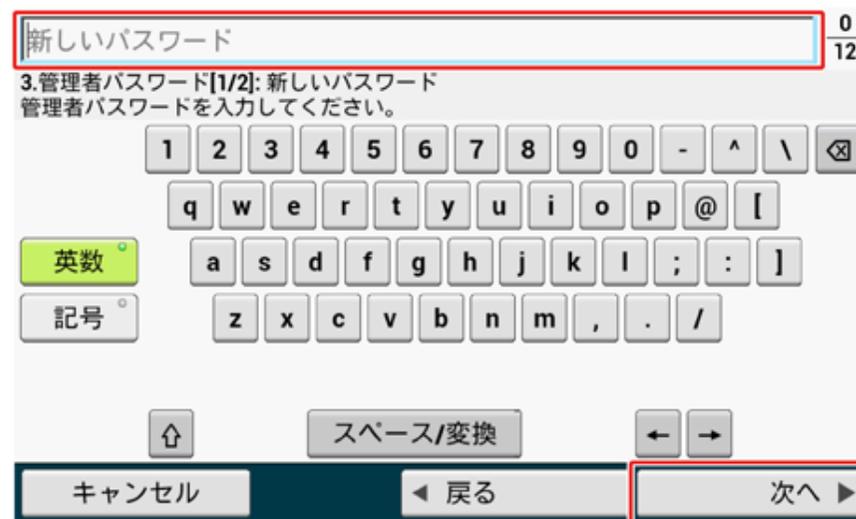
- 2 新しいパスワードを入力し、[次へ] を押します。



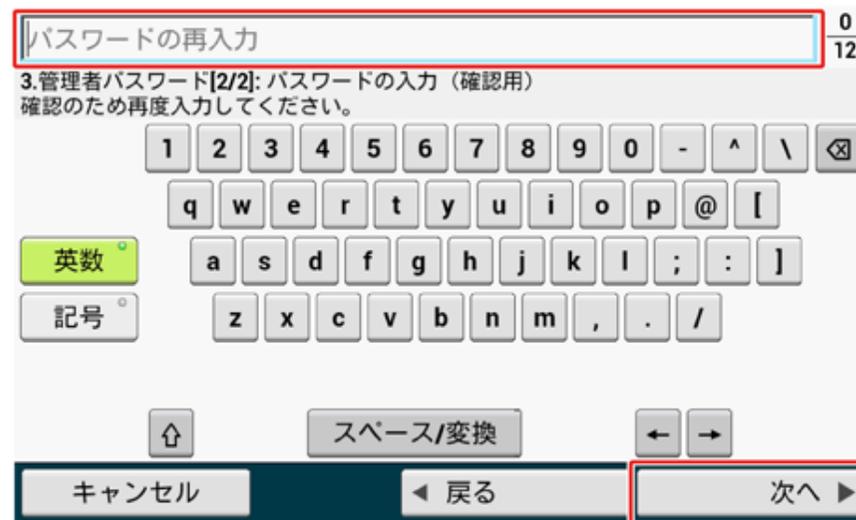
- 設定したパスワードはメモするなどして忘れないようにしてください。
- 管理者パスワードは、設定を変更するときなどに使用します。
- 管理者パスワードを忘れると [管理者設定] や [簡易設定] が変更できなくなります。



- パスワードは 6 文字以上 12文字以下の英数字で設定してください。
- パスワードは大文字/小文字を区別します。



- 3 確認用に再度パスワードを入力します。

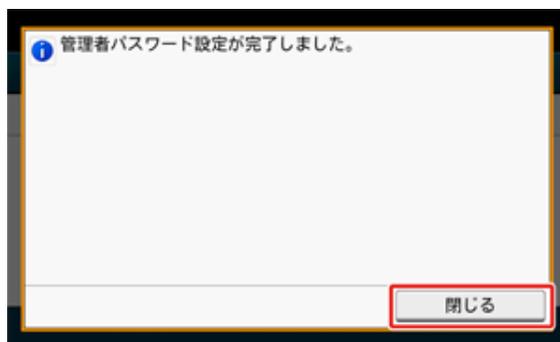


4 [次へ] を押します。設定内容が更新されます。

5 [閉じる] を押します。



[閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。

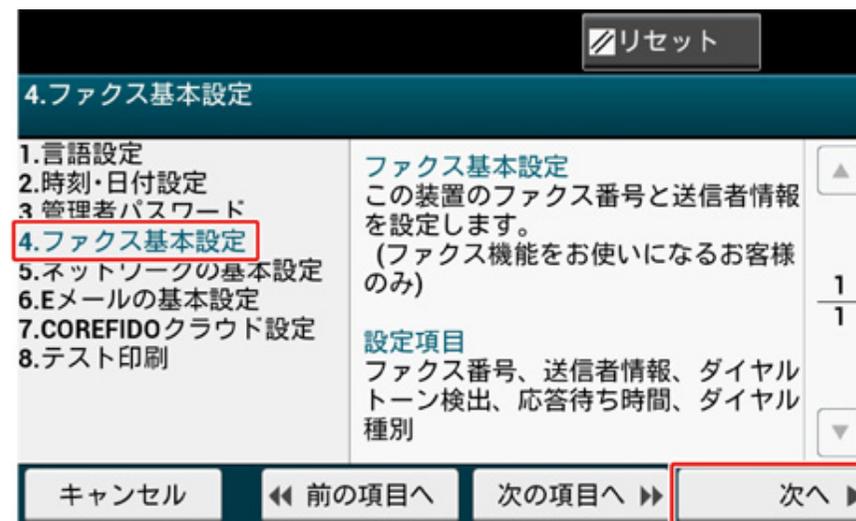


ファクスの設定



ファクスを使用しない場合は、[次の項目へ>>] を押し、ネットワークの設定に進みます。

1 [4. ファクス基本設定] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。ファクス番号を入力する画面が表示されます。



- 2 操作パネルにあるテンキーでファクス番号を入力し、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '4. ファクス基本設定[1/5]: ファクス番号' screen. At the top right is a 'リセット' button. Below the title bar, there is a 'テンキーでファクス番号を入力し、「次へ」を押してください。' instruction. A numeric keypad is visible, with the '次へ' button highlighted in red. At the bottom, there are 'キャンセル', '戻る', and '次へ' buttons, with '次へ' also highlighted in red.

- 3 タッチパネルから送信者情報（送信元名）を入力し、[次へ] を押します。



ここで登録した内容が受信する相手側に通知されます。

The screenshot shows the '4. ファクス基本設定[2/5]: 送信者情報' screen. At the top right is a 'リセット' button. Below the title bar, there is a '送信者情報' input field and the instruction '送信者情報を入力し、「次へ」を押してください。'. Below the input field is a Japanese keyboard with 'ひらがな' selected. At the bottom, there are 'キャンセル', '戻る', and '次へ' buttons, with '次へ' highlighted in red.

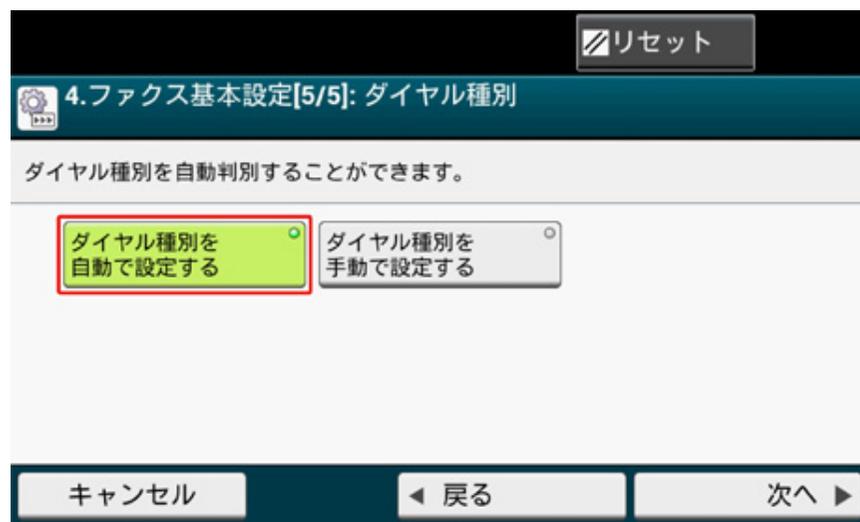
- 4 ダイヤルトーン検出が [オン] に設定されているので、そのままでも問題がない場合は、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '4. ファクス基本設定[3/5]: ダイヤルトーン検出' screen. At the top right is a 'リセット' button. Below the title bar, there is an instruction: 'ダイヤルトーン検出を選択してください。本機をPBX（構内交換機）に接続する場合は[オフ]を選択してください。'. Below this, there are two radio button options: 'オン' (highlighted in red) and 'オフ'. At the bottom, there are 'キャンセル', '戻る', and '次へ' buttons.

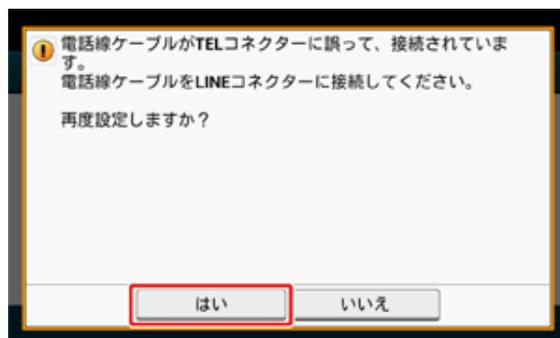
- 5 応答待ち時間が [10秒] に設定されているので、そのままでも問題がない場合は、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '4. ファクス基本設定[4/5]: 応答待ち時間' screen. At the top right is a 'リセット' button. Below the title bar, there is an instruction: '応答待ち時間を設定してください。ナンバーディスプレイ契約回線に接続する場合は、[10秒]を選択してください。'. Below this, there are several radio button options for response waiting times: '1回', '5秒', '10秒' (highlighted in red), '15秒', '20秒', and 'オフ'. At the bottom, there are 'キャンセル', '戻る', and '次へ' buttons.

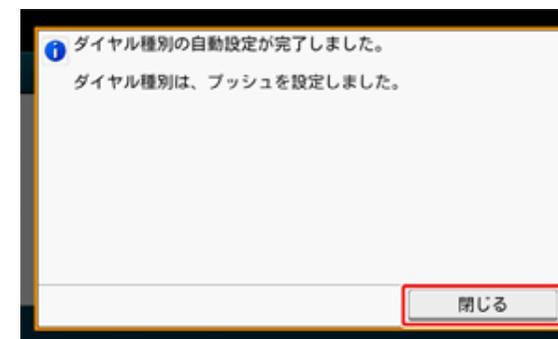
- 6 [ダイヤル種別を自動で設定する] が選択されているので、[次へ] を押し
ます。



- 7 電話線ケーブルが正しく接続されていることを確認し、[はい] を押し
ます。



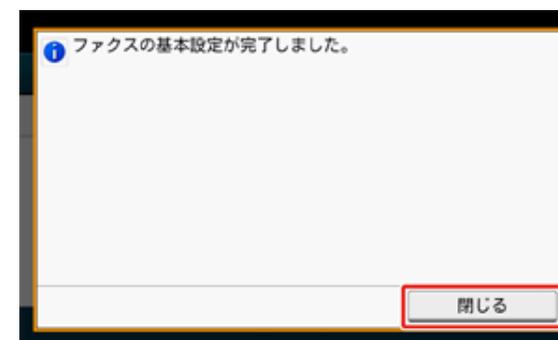
- 8 自動設定に成功した画面を表示したら、[閉じる] を押し
ます。



- 9 [閉じる] を押し
ます。



[閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。

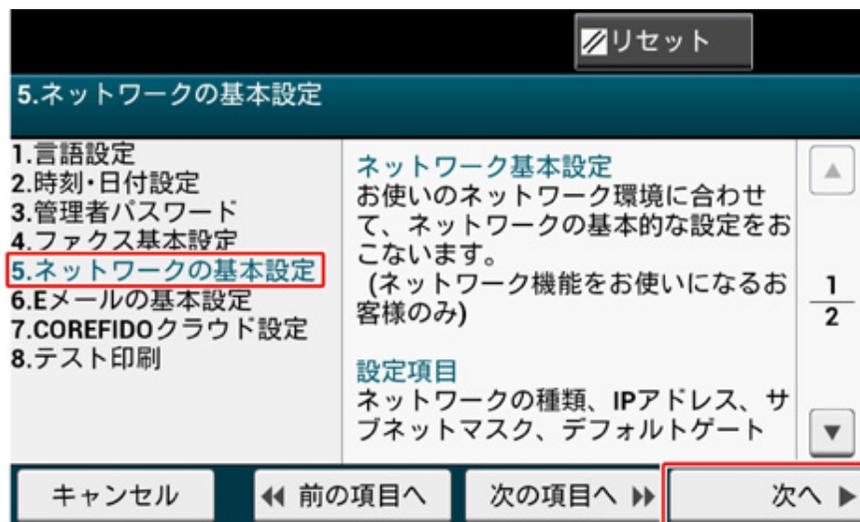


ネットワークの設定



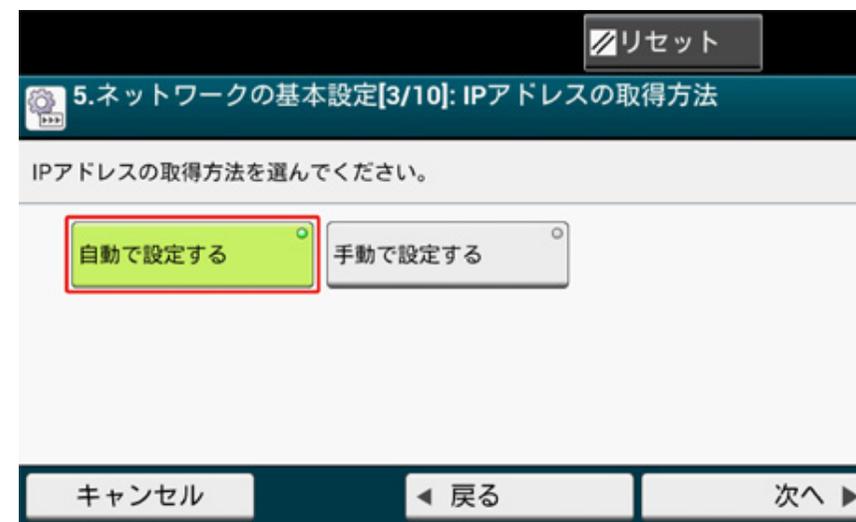
- ネットワークに接続しない場合は、[次の項目へ>>] を押し、E メール設定に進みます。
- ネットワークの設定は、本機のプリント機能、ファクス機能、スキャン機能を使用する際に必要ですので、ここで設定されることをお勧めします。

- 1 [5. ネットワークの基本設定] 画面になっていることを確認し、LAN ケーブルで接続する場合は [次へ] を押します。無線で接続する場合は、ここでネットワークの設定は行わず、[次の項目へ] を押し、Eメールの設定に進みます。無線の設定は、[簡単設定] が終了した後に行います。



- 2 正しく配線が完了していることを確認します。

- 3 IP アドレスを設定します。[自動で設定する] を押します。



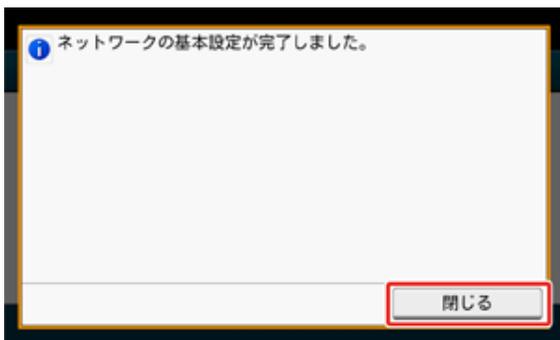
手動で設定するときは、プロバイダーやネットワーク管理者が設定する以下の値を確認してください。

IP アドレス
サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ
DNS サーバー (プライマリ)
DNS サーバー (セカンダリ)
WINS サーバー (プライマリ)
WINS サーバー (セカンダリ)

- 4 設定の更新が完了すると下記の画面が表示されるので、[閉じる] を押しませぬ。



- 設定の更新が完了するまでお待ちください。
- [閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。



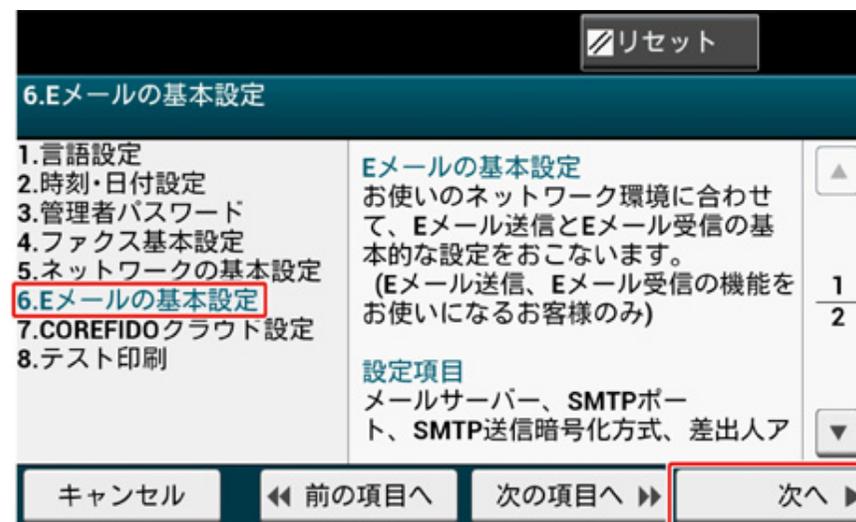
Eメールの設定

「スキャン To メール」「インターネットファクス」「スキャン To ファクスサーバー」を使用するときが必要です。あらかじめ「設定情報を確認する」に必要な情報を記入した上で、設定を行ってください。



- 本機専用の E メールアドレスが必要です。E メールアドレスがない場合はプロバイダーに契約するなどして新たに取得してください。
- 本機能を使用する場合は、あらかじめ「ネットワークの設定」を完了させてください。
- 本機に送られてくるメールの添付ファイルを受信して印刷したい場合は、使用するメールの設定環境に合わせて [POP3] か [SMTP] を選択してください。
- E メール設定が必要な機能を使用しない場合は、[次の項目へ>>] を押し、COREFIDO クラウド設定に進みます。

1 [6. Eメールの基本設定] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。メールサーバーアドレスを入力する画面が表示されます。



- 2 タッチパネルからメールサーバーアドレスを入力し、[次へ] を押します。

- 3 操作パネルのテンキーで SMTP ポートを入力し、[次へ] を押します。

- 4 SMTP 送信暗号化方式を選択します。

- 5 タッチパネルから送信者アドレスを入力し、[次へ] を押します。

- 6 受信用プロトコルを選択します。



[POP3] を選択した場合は、POP3 サーバーのアドレスを入力します。

7 認証方法を選択します。



[SMTP Auth] または [POP Before SMTP] を選択した場合は、それぞれのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] を押します。

8 テストメールを送信するかどうか選択します。



テストメールを送信する場合は、受信可能な送信宛先を入力します。

9 設定の更新完了後、[閉じる] を押します。



[閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。

COREFIDO クラウドの設定

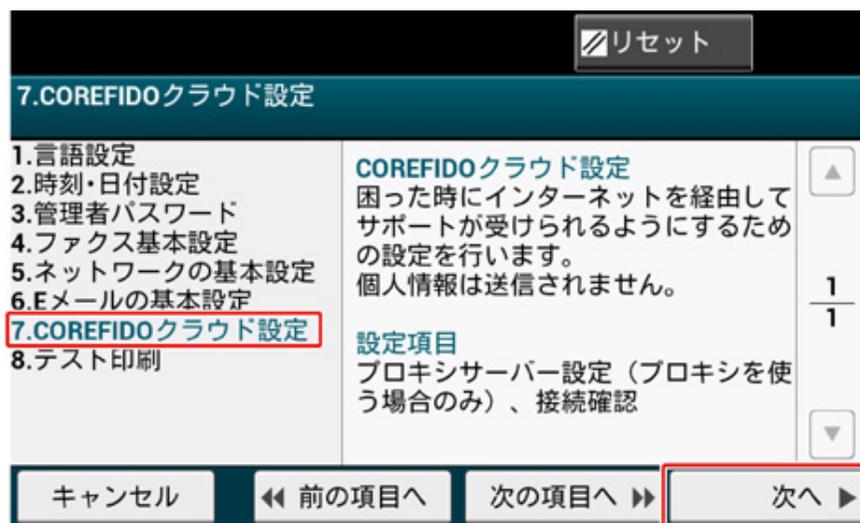
COREFIDO クラウドは、装置にエラーや画質のトラブルなどが発生した場合、タッチパネル・クラウド接続・スマートフォンのアプリなどで問題解決を支援する便利なサービスです。COREFIDO クラウドへの接続確認が実施されていないと、インターネットを経由してサポートを受ける機能の「画質のトラブルが発生したとき」と「その他の問題の対処」のボタンが、ホーム画面の「困ったときには」を選択したときに表示されません。設定して使用いただくことをお勧めします。



- 本機能を使用する場合は、あらかじめ「ネットワークの設定」を完了させてください。
- COREFIDO クラウドを使用しない場合は、[次の項目へ>>] を押し、テスト印刷に進みます。

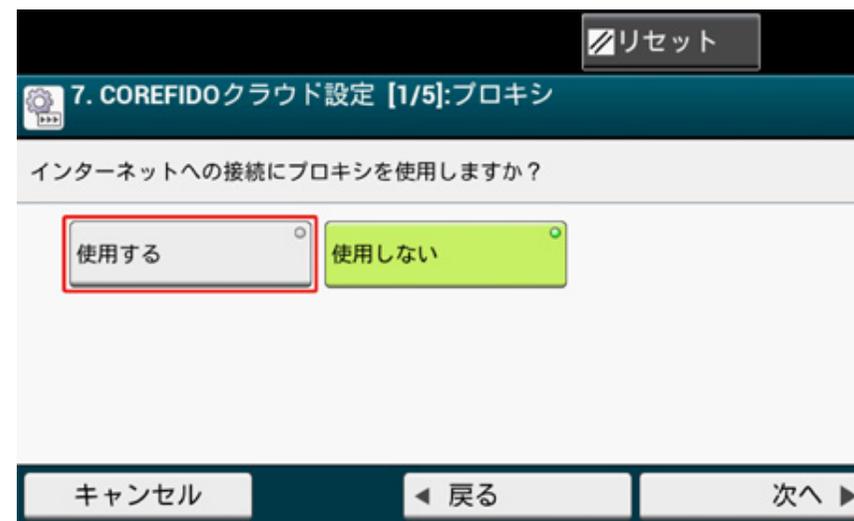
1 [7. COREFIDO クラウド設定] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。プロキシサーバーを使用しているかどうかを確認する画面が表示されます。

- プロキシサーバーを使用する場合：「プロキシサーバーを使用する場合」
- プロキシサーバーを使用しない場合：「プロキシサーバーを使用しない場合」



プロキシサーバーを使用する場合

1 [使用する] を押します。



2 プロキシサーバーのアドレスを入力し、[次へ] を押します。



- 3 プロキシサーバーのポート番号を入力し、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '5. COREFIDOクラウド設定 [3/5]: プロキシサーバーポート番号' screen. At the top right is a 'リセット' button. Below the title bar, the instruction reads 'プロキシサーバーのポート番号を設定します。'. A text input field contains '#(1 - 65535): 8080'. At the bottom, there are three buttons: 'キャンセル', '戻る', and '次へ'.

- 4 プロキシのユーザー IDを入力し、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '5. COREFIDOクラウド設定 [4/5]: プロキシユーザーID' screen. At the top right, it shows '0/64'. Below the title bar, the instruction reads 'プロキシ認証が必要のない場合は空白のままにします。'. A text input field contains the user ID. Below the input field is a virtual keyboard with '英数' and '記号' modes. At the bottom, there are three buttons: 'キャンセル', '戻る', and '次へ'.

- 5 プロキシのパスワードを入力し、[次へ] を押します。

The screenshot shows the '5. COREFIDOクラウド設定 [5/5]: プロキシパスワード' screen. At the top right, it shows '0/64'. Below the title bar, the instruction reads 'プロキシ認証が必要のない場合は空白のままにします。'. A text input field contains the password. Below the input field is a virtual keyboard with '英数' and '記号' modes. At the bottom, there are three buttons: 'キャンセル', '戻る', and '次へ'.

- 6 クラウドへの接続確認画面が表示されるので [はい] を押します。

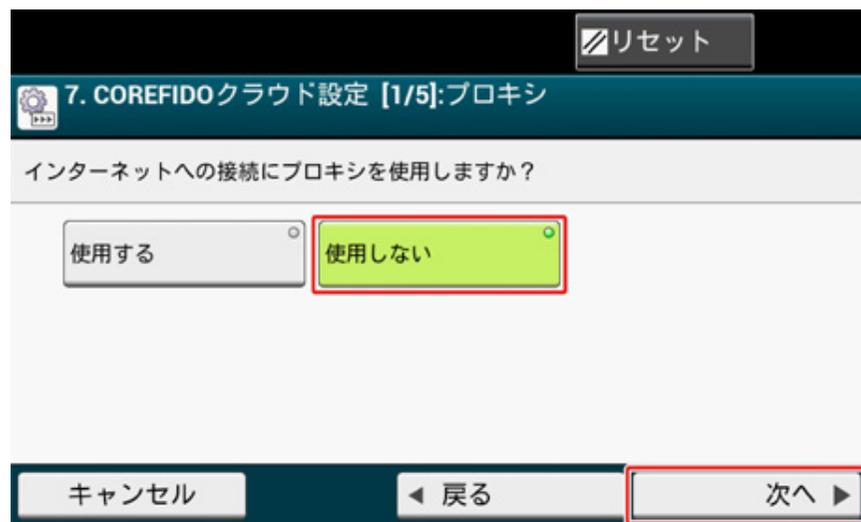
- 7 [クラウド設定が完了しました。] と表示されたら、[閉じる] を押します。



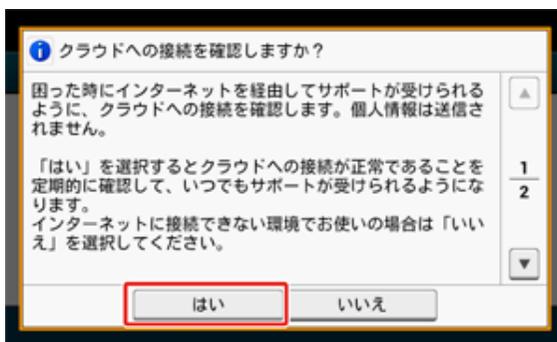
- [COREFIDOクラウドに接続できませんでした。] と表示された場合は、接続に失敗しています。設定をご確認ください。(またはいったん [継続する] を押して次に進みます)
- [閉じる] を押さなくても約7秒後に次の画面に切り替わります。

プロキシサーバーを使用しない場合

- 1 [使用しない] を押します。



- 2 クラウドへの接続確認画面が表示されるので [はい] を押します。



- 3 [クラウド設定が完了しました。] と表示されたら、[閉じる] を押します。



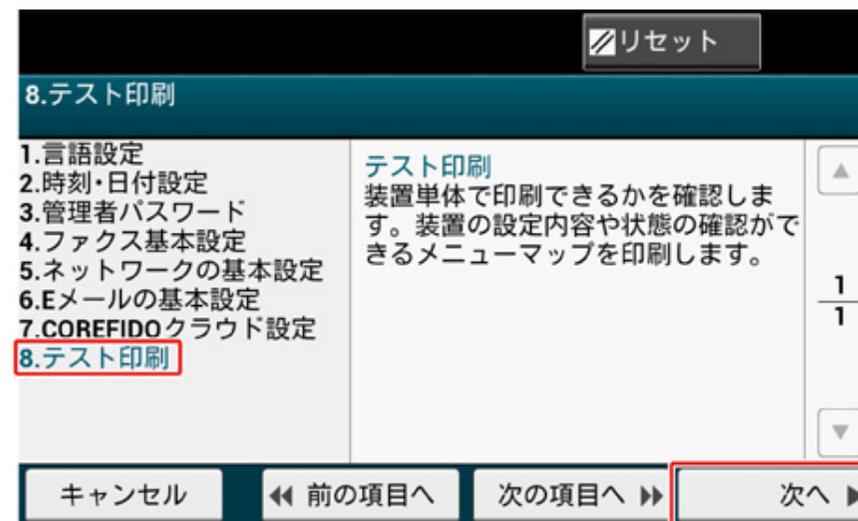
- [COREFIDO クラウドに接続できませんでした。] と表示された場合は、接続に失敗しています。設定をご確認ください。(またはいったん [継続する] を押して次に進みます)
- [閉じる] を押さなくても約 7 秒後に次の画面に切り替わります。

テスト印刷

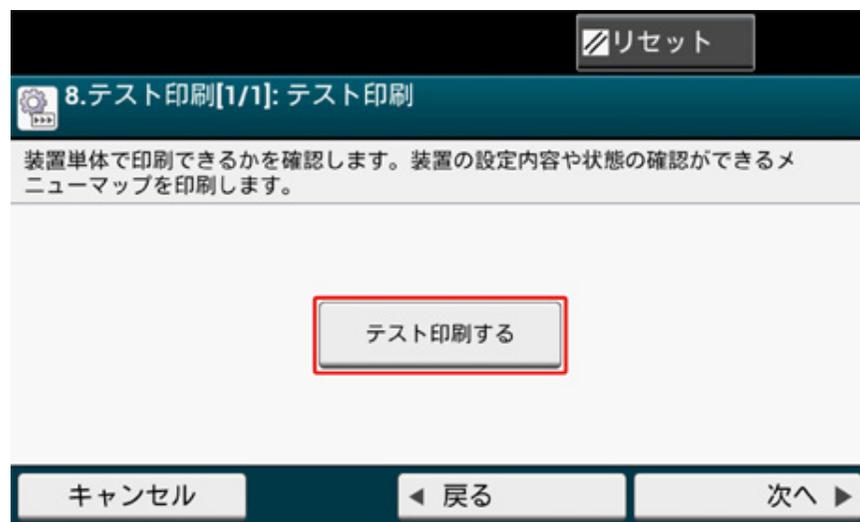


テスト印刷をしない場合は、[次の項目へ>>] を押してください。簡単設定が終了し、ホーム画面が表示されず。

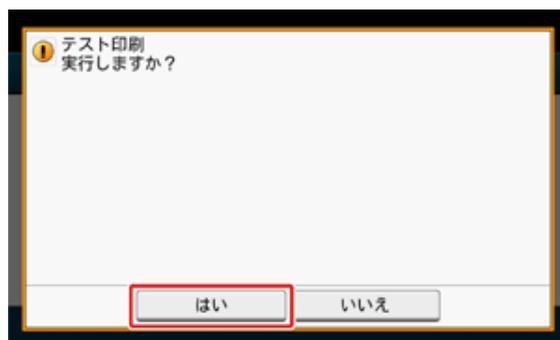
- 1 [8. テスト印刷] 画面になっていることを確認し、[次へ] を押します。テスト印刷する画面が表示されます。



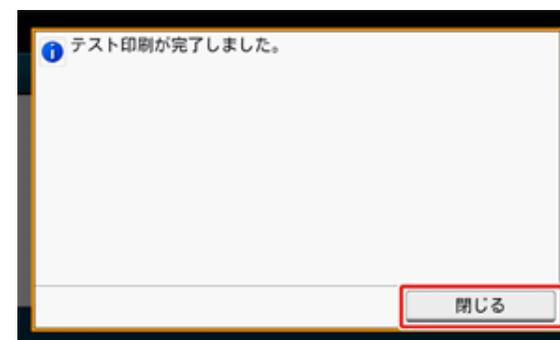
2 [テスト印刷する] を押します。



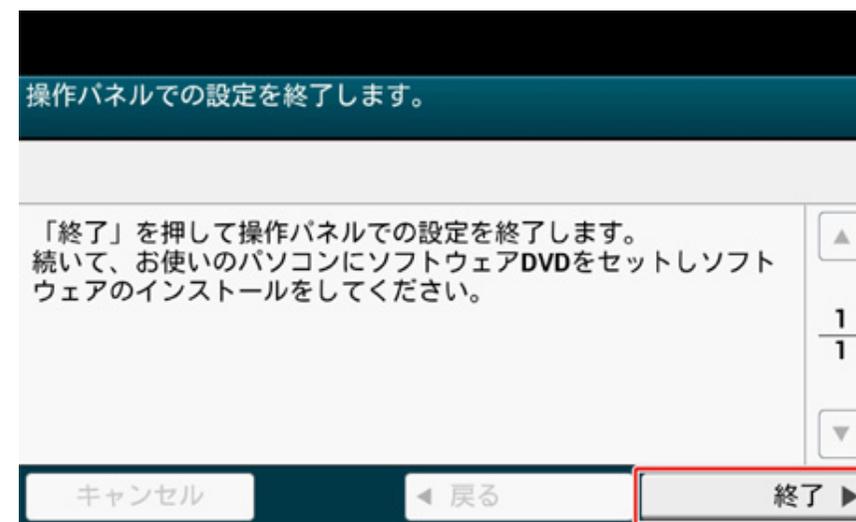
3 [はい] を押します。



4 メニューマップが印刷されたことを確認し、[閉じる] を押します。



5 [終了] を押します。簡単設定が完了し、ホーム画面が表示されます。



設定内容を変更したい場合は、ホーム画面上部の [機器設定] > [簡単設定] からいつでも変更できます。

無線LANで接続するとき

本機は工場出荷時の状態では無線LAN を使用できません。無線LAN を使用するには、管理者メニューで無線LAN を有効にします。

- 無線LANで接続するための準備
- 無線LANを有効にする
- アクセスポイントを経由して接続する（インフラストラクチャー）
- 本機と直接接続する

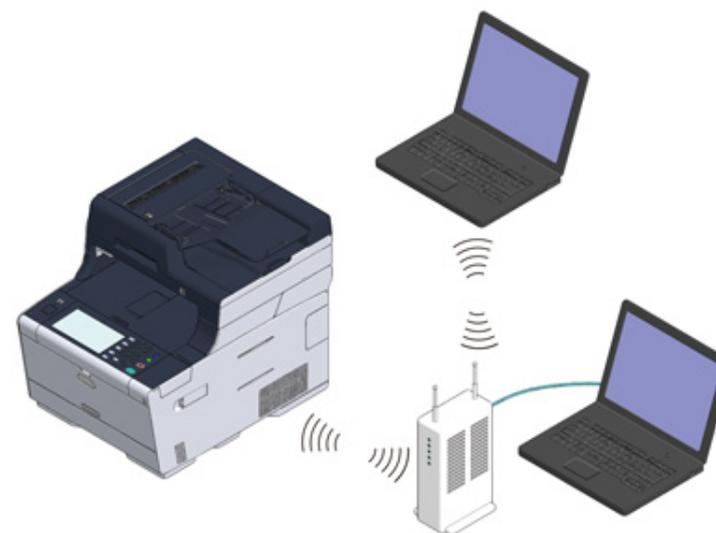
無線LANで接続するための準備



- 無線LAN（インフラストラクチャー）と無線LAN（APモード）を同時に有効にすることはできません。
- 無線LANで接続している場合、本機はスリープモードには入りませんが、ディープスリープモードに移行しません。
- 本機の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 無線LANは、環境によって有線LAN接続やUSB接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

アクセスポイントを経由して接続する場合

無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに接続するときは、下記を確認しておきます。



- 1 お使いの無線LANアクセスポイントが、以下の環境に対応しているか確認します。

標準規格：IEEE 802.11 a/b/g/n

アクセス方式：インフラストラクチャーモード

2 無線LANアクセスポイントが、WPSに対応しているかを確認しておきます。

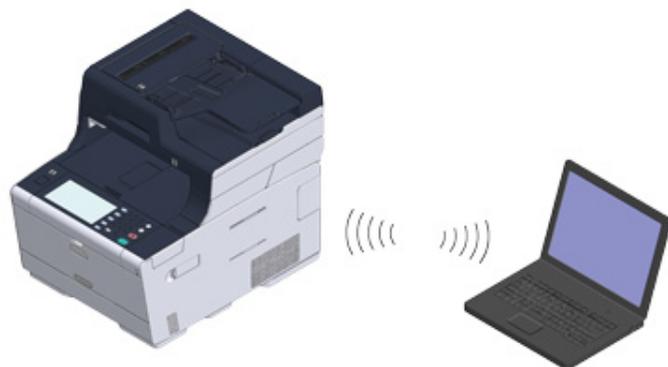
WPSに対応していない場合は、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書などで、SSIDと暗号化キーを確認しておきます。



- SSIDは、ネットワーク名、ESSID、ESS-IDとも呼ばれます。
- 暗号化キーは、ネットワークキー、セキュリティーキー、パスワード、プリシェアードキー（PSK）とも呼ばれます。

本機と直接接続する場合

本機を無線LANアクセスポイントとし、無線端末（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）と直接接続するときは、下記を確認しておきます。



1 お使いの無線端末が、以下の環境に対応しているかを確認します。

標準規格：IEEE 802.11 b/g/n

セキュリティー：WPA2-PSK(AES)

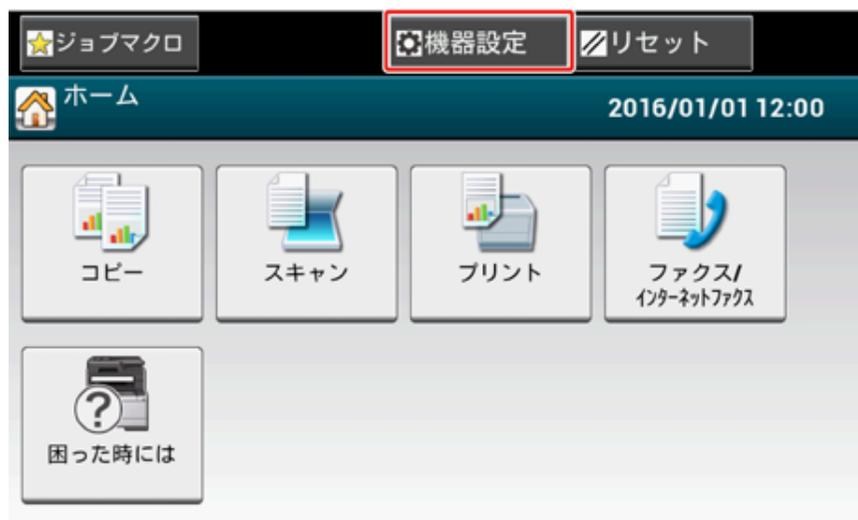
2 お使いの無線端末が、WPS-PBC（プッシュボタン）に対応しているか確認しておきます。



WPS-PBCに対応しているかわからない場合は、本機の電源を入れたあとに、手動で接続します。

無線LANを有効にする

- 1 装置が起動していることを確認します。
- 2 ホーム画面上部の「機器設定」を押します。



- 3 [▲] を 1 回押して、「管理者設定」を押します。



- 4 管理者パスワードを入力し、「OK」を押します。



工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。簡単設定で管理者パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

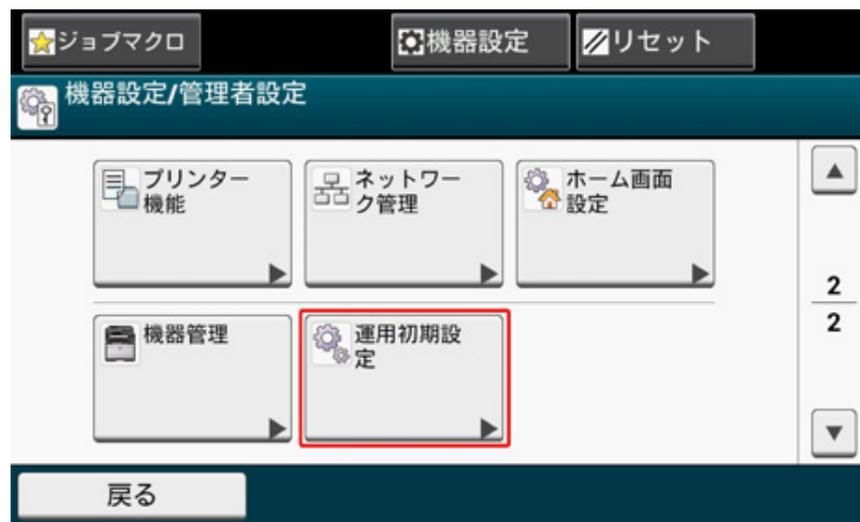
管理者ログイン
管理者名と管理者パスワードを入力し、「OK」を押してください。

<p>管理者名 admin</p> <p>管理者パスワード ---未設定---</p>	<p>認証タイプ: ローカル</p> <p>認証方式の変更</p>
---	---------------------------------------

キャンセル OK

5 管理者ログイン画面に戻るので、[OK] を押します。

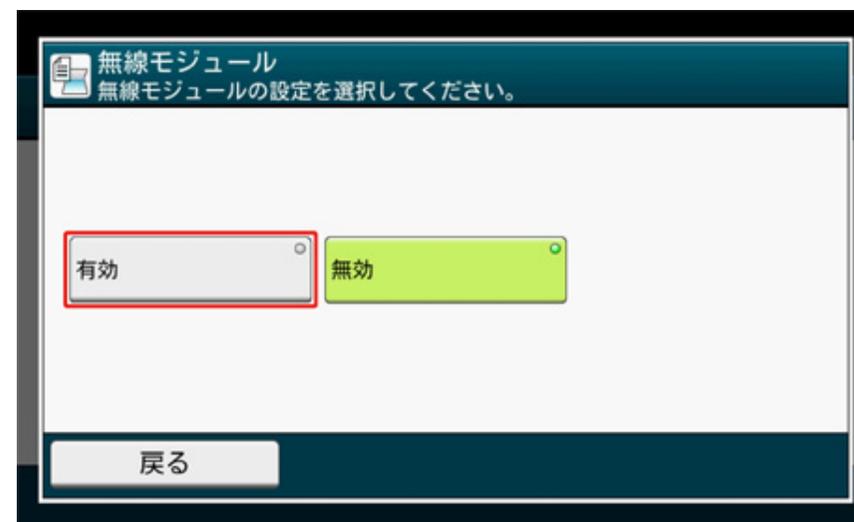
6 [▼] を 1 回押して、[運用初期設定] を押します。



7 [▲] を 1 回押して、[無線モジュール] を押します。



8 [有効] を押します。

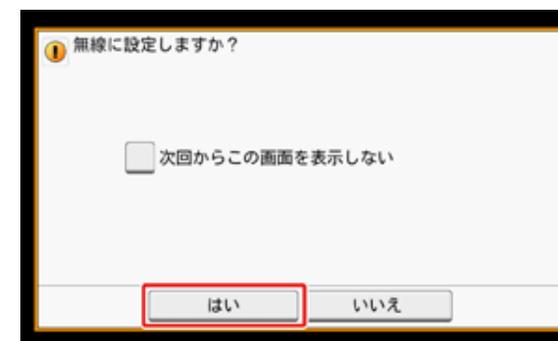


9 [戻る] を数回押し、ホーム画面を表示します。

10 電源ボタンを押し、電源を切ります。

11 本機の電源ボタンを押し、電源を入れます。

12 タッチパネルに「無線に設定しますか？」と表示されるので、「はい」を押します。



続いて、「アクセスポイントを経由して接続する（インフラストラクチャー）」へ進みます。

アクセスポイントを経由して接続する（インフラストラクチャ）



- 本機は無線LANアクセスポイント近くの見通しの良い位置に設置してください。（距離は30 m以内を推奨します。）
- 本機と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- IEEE802.11a (W52/W53)は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
屋内でのみご使用ください。

● WPSで接続する

無線LANアクセスポイントがWPSをサポートしている場合、WPSボタンを使って無線LANに接続できます。

● 操作パネルから無線LANアクセスポイントを選択して接続する

無線LANアクセスポイントがWPSをサポートしていない場合、本機が検出した無線LANアクセスポイントの中から、使用したい無線LANアクセスポイントを指定して接続できます。

● 操作パネルから手動で設定して接続する

無線LANアクセスポイントの情報（SSID、暗号化方式、暗号化キー）を手動で設定して無線LANに接続します。

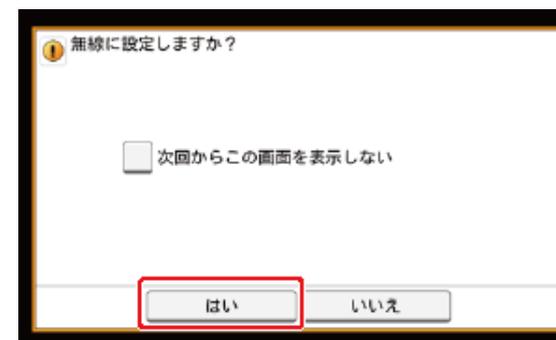
WPSで接続する

無線LANアクセスポイントがWPSをサポートしている場合、簡易設定用のボタン（WPSボタン）を使って簡単に無線LANに接続できます。

- 1 無線LANアクセスポイント付属の取扱説明書などで、WPSボタンの位置を確認します。
- 2 無線LANアクセスポイントが起動され、正常動作していることを確認します。
- 3 本機の電源を入れます。



下の画面が表示されたら、[はい] を押して手順6へ進んでください。



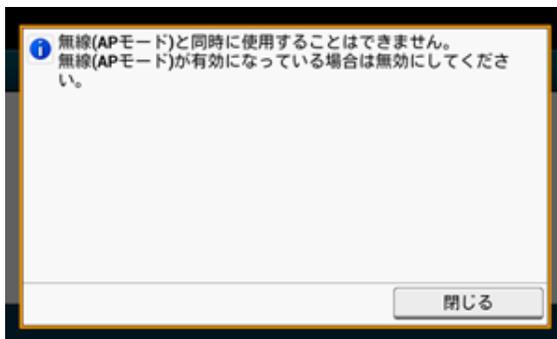
- 4 タッチパネルの [機器設定] を押します。

- 5 [▲] を1回押して、[無線(インフラストラクチャ)設定] を押します。

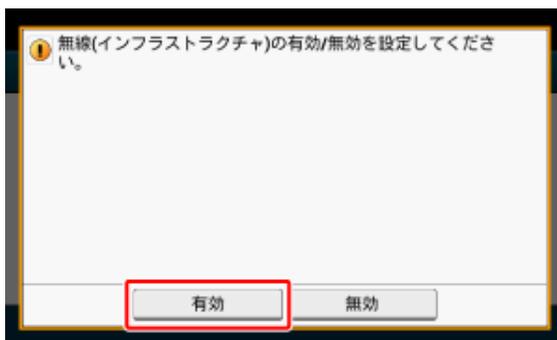


- 6 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。

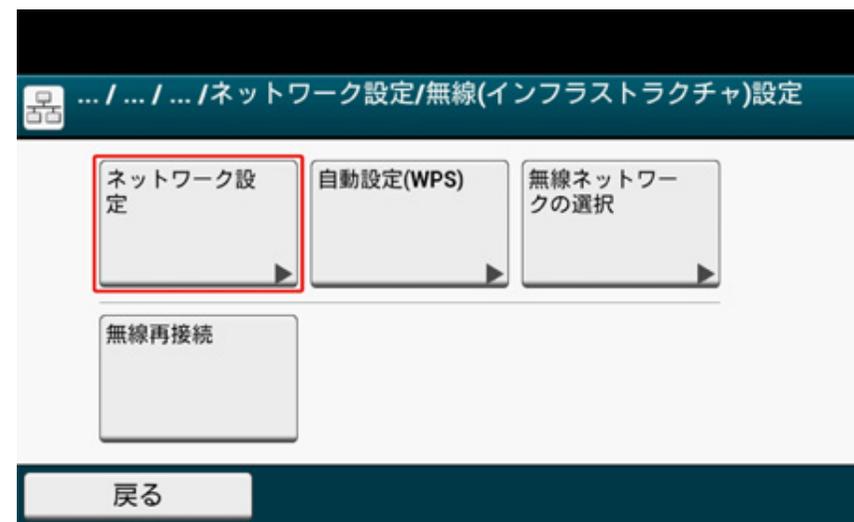
下のメッセージが、約5秒、表示されます。



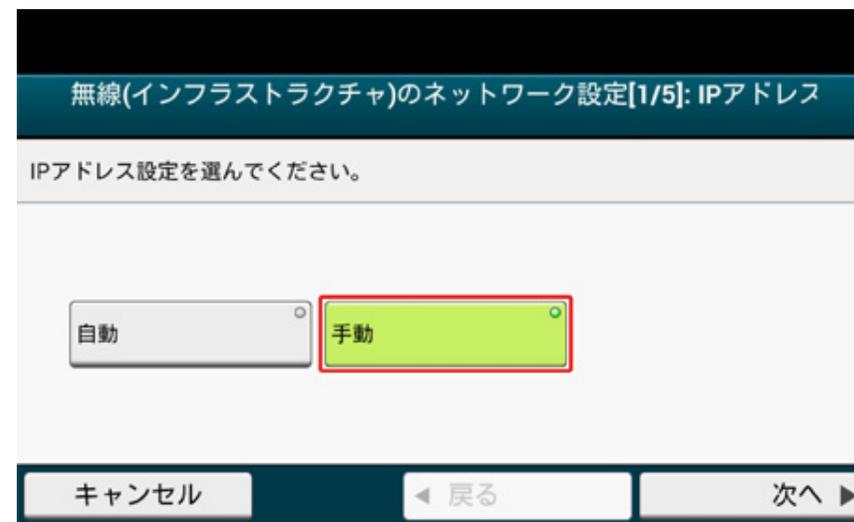
7 [有効] を押します。



8 お使いの環境により、IP アドレスなどを手動で設定する必要がある場合は、[ネットワーク設定] を押します。手動で設定する必要のない場合は、手順12へ進みます。



9 [無線 (インフラストラクチャ) のネットワーク設定] 画面になるので、[手動] を押します。



- 10 画面に従って、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCPv6を設定します。

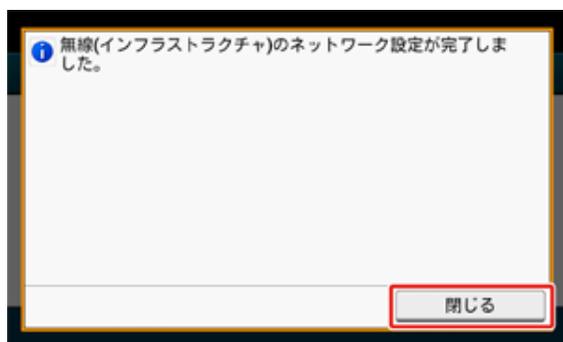


設定する値は、プロバイダーやネットワーク管理者に確認してください。

- 11 無線（インフラストラクチャ）のネットワーク設定が完了したら、[閉じる] を押します。



[閉じる] を押さなくても、時間が経つと次の画面に切り替わります。



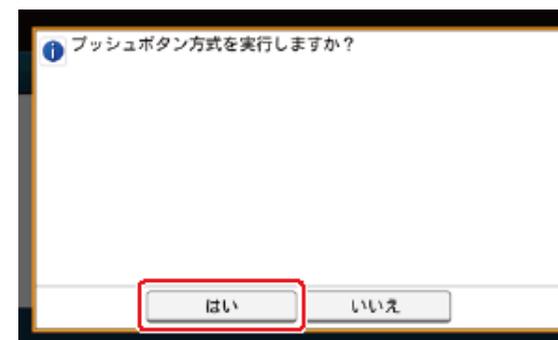
- 12 [自動設定(WPS)] を押します。



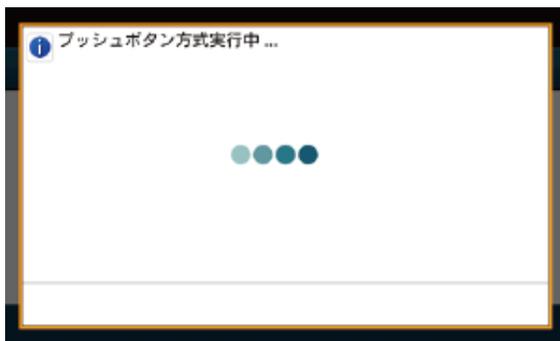
- 13 [WPS-PBC開始] を押します。



- 14 [はい] を押します。



本機が無線LANアクセスポイントの検索を開始します。下の画面が約2分間表示されますので、その間に、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを数秒間押し続けます。



WPSの実行中は、パネル操作を行うことができません。

下の画面が表示されたら、「閉じる」を押します。



- 下の画面が表示された場合、手順13に戻り、操作をやり直してください。



- 「[Overlap]」が表示された場合、WPSプッシュボタンが2つ以上の無線アクセスポイントで実行されています。しばらく待ってから、再度行ってください。

15 ホーム画面の右上にアンテナマークが表示されていれば、正常に接続できています。



コピートップ画面など、アンテナマークが確認できない画面もあります。

操作パネルから無線LANアクセスポイントを選択して接続する

無線LANアクセスポイントがWPSをサポートしていない場合、本機が検出した無線LANアクセスポイントの中から、使用したい無線LANアクセスポイントを指定して接続できません。その際に、暗号化キーの入力が必要です。

- 1 無線LANアクセスポイント付属の取扱説明書などで、SSIDと暗号化キーを確認し、メモしておきます。



WPA-EAP、WPA2-EAPは操作パネルからは設定できません。本機のWebページから設定してください。

- 🔗 Webページを起動する（活用マニュアル）



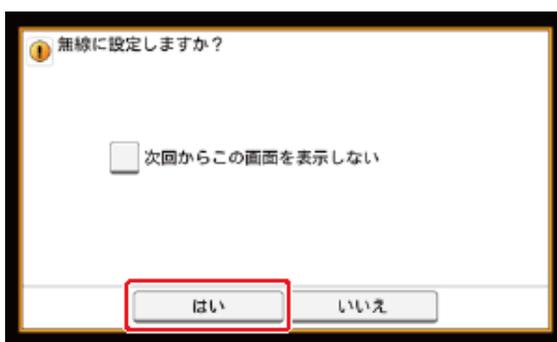
- SSIDは、ネットワーク名、ESSID、ESS-IDとも呼ばれます。
- 暗号化キーは、ネットワークキー、セキュリティキー、パスワード、プリシェアードキー（PSK）とも呼ばれます。

- 2 無線LANアクセスポイントが起動され、正常動作していることを確認します。

- 3 本機の電源を入れます。

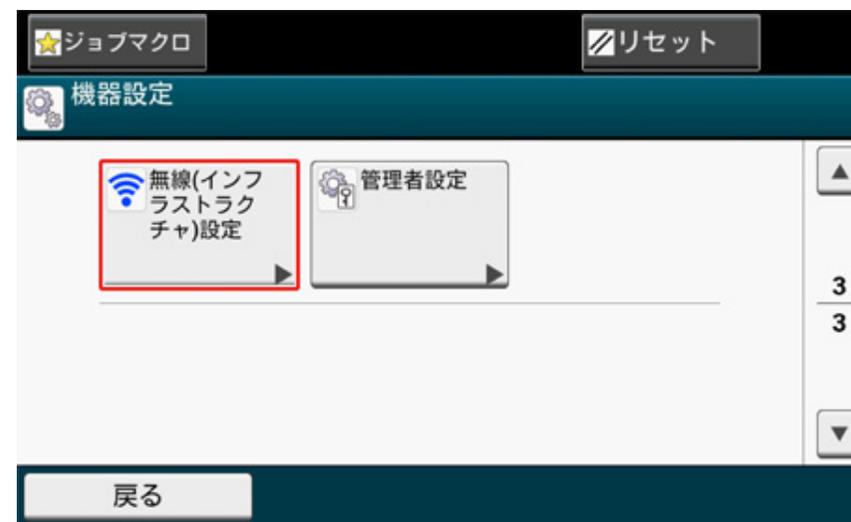


下の画面が表示されたら、[はい] を押して手順6へ進んでください。



- 4 タッチパネルの [機器設定] を押します。

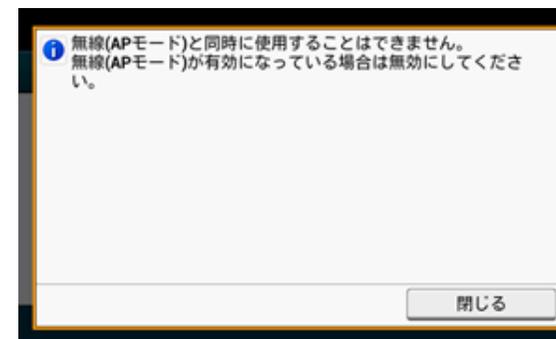
- 5 [無線(インフラストラクチャ)設定] を押します。



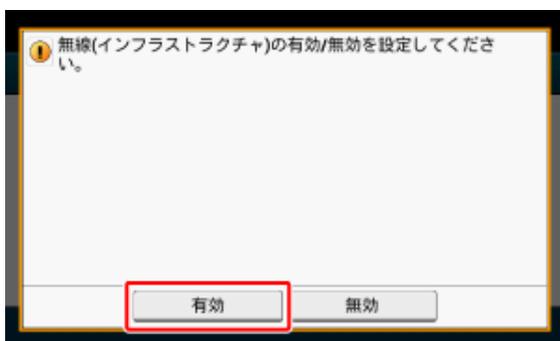
- 6 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。

工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。

下のメッセージが、約5秒、表示されます。



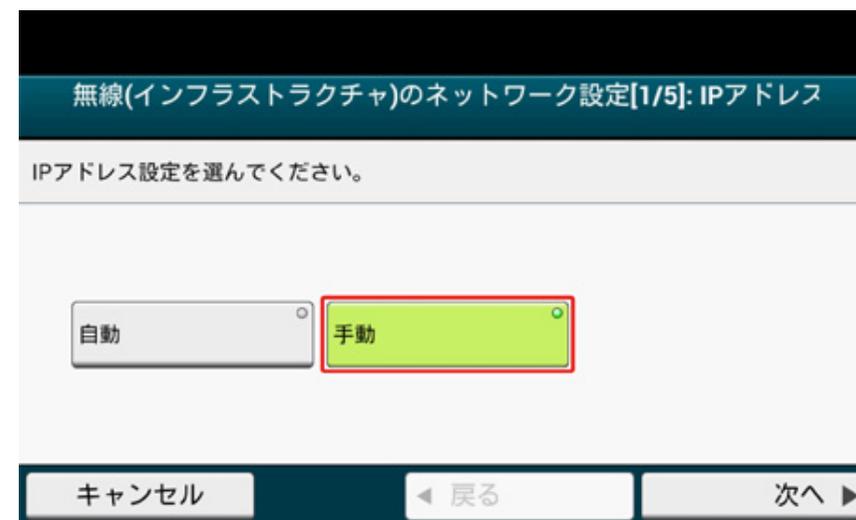
7 [有効] を押します。



8 お使いの環境により、IP アドレスなどを手動で設定する必要がある場合は、[ネットワーク設定] を押します。手動で設定する必要のない場合は、手順 12へ進みます。



9 [無線 (インフラストラクチャ) のネットワーク設定] 画面になるので、[手動] を押します。



10 画面に従って、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCP v6を設定します。

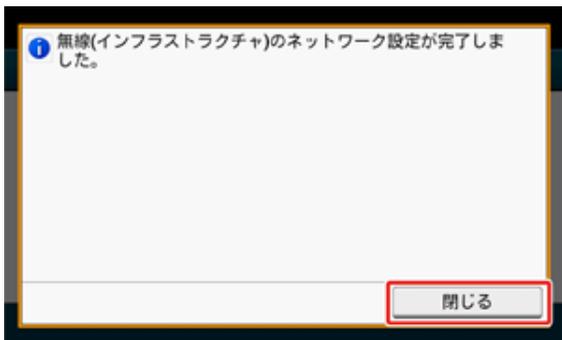


設定する値は、プロバイダーやネットワーク管理者に確認してください。

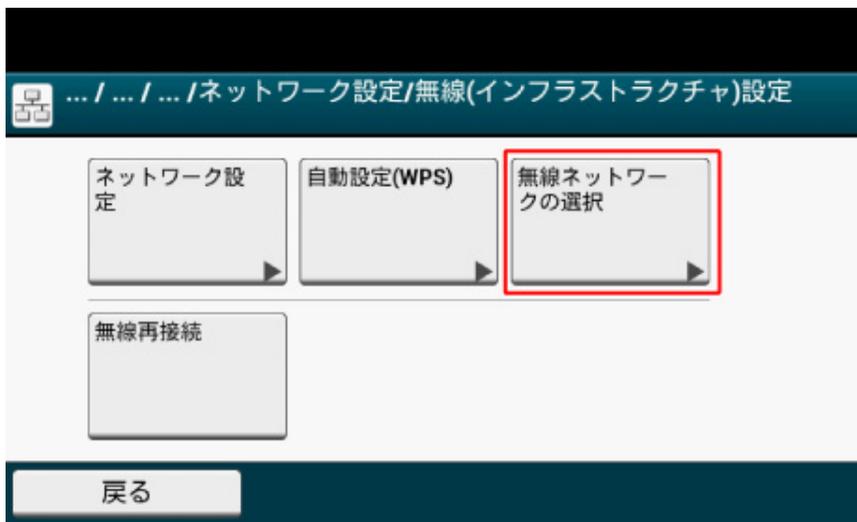
11 無線 (インフラストラクチャ) のネットワーク設定が完了したら、[閉じる] を押します。



[閉じる] を押さなくても、時間が経つと次の画面に切り替わります。

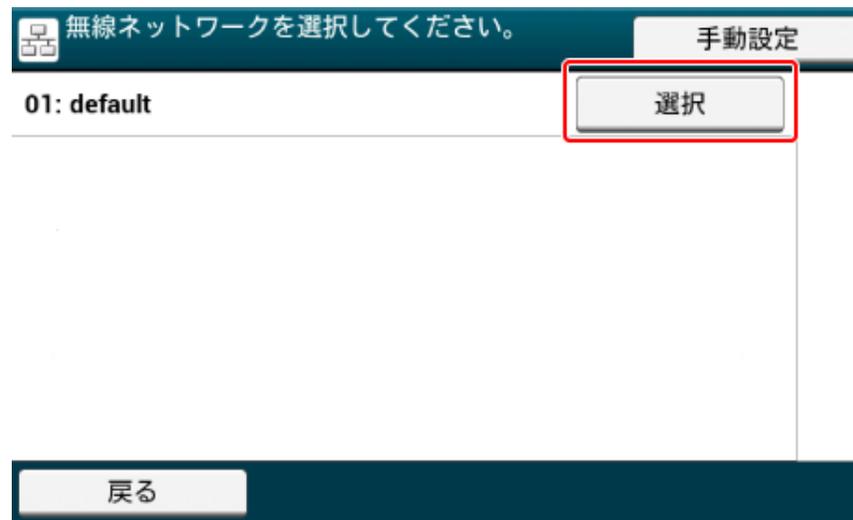


12 [無線ネットワークの選択] を押します。



本機が無線LANアクセスポイントの検索を開始します。しばらくお待ちください。

13 有効な無線LANアクセスポイントのSSIDが一覧で表示されたら、無線LANアクセスポイントを選択して [選択] を押します。



[手動設定] のみを表示した場合、または、使用したい無線LANアクセスポイントのSSIDが一覧中になかった場合は、「操作パネルから手動で設定して接続する」に記載の手順で設定してください。

選択した無線LANアクセスポイントの暗号化方式に適した暗号化キー入力画面が表示されます。

14 手順1で確認した暗号化キーを入力し、[OK] を押します。



暗号化キーは、無線LANアクセスポイントや暗号化方式によって異なります。

- [WPA Pre-shared Key] が表示された場合

項目	説明
暗号化方式	WPA/WPA2-PSK
暗号化キー	WPA プリシェアードキーを入力してください。

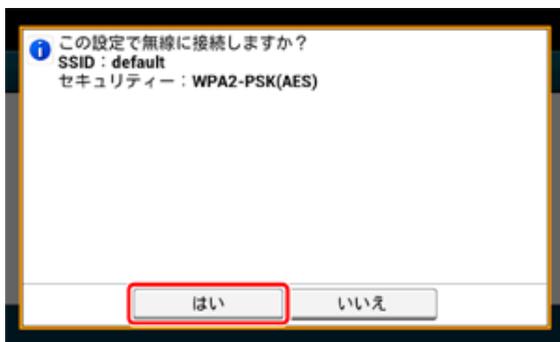
- [WEP Key] が表示された場合

項目	説明
暗号化方式	WEP
暗号化キー	WEPキーを入力してください。

- 上の2つに当てはまらない場合

項目	説明
暗号化方式	Disable (無効)
暗号化キー	入力の必要はありません。

- 15 表示されたSSIDが、手順1で確認したSSIDと同じであれば [はい] を押します。



「接続に成功しました。」と表示されたら、[閉じる] を押します。
「接続に失敗しました。」と表示された場合、手順5に戻り、操作をやり直してください。

- 16 ホーム画面の右上にアンテナマークが表示されていれば、正常に接続できています。



コピートップ画面など、アンテナマークが確認できない画面もあります。

操作パネルから手動で設定して接続する

無線LANアクセスポイントの情報 (SSID、暗号化方式、暗号化キー) を手動で設定して無線LANに接続します。

- 1 無線LANアクセスポイント付属の取扱説明書などで、SSID、暗号化キーとセキュリティを確認し、メモしておきます。



暗号化方式が、WPA-EAP、WPA2-EAPの場合、本機Webページから設定します。

詳しくは、本機Webページから、[管理者設定] > [ネットワーク] > [無線設定] > [手動設定] をクリックしてください。



Webページを起動する (活用マニュアル)



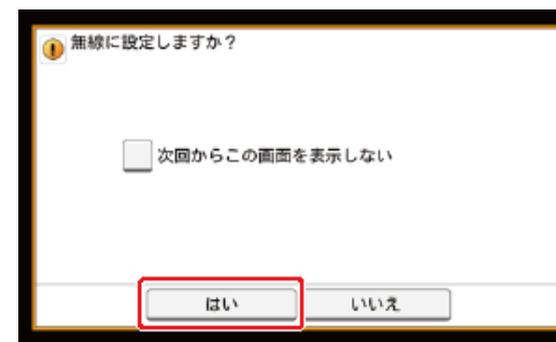
- SSIDは、ネットワーク名、ESSID、ESS-IDとも呼ばれます。
- 暗号化キーは、ネットワークキー、セキュリティキー、パスワード、プリシェアードキー (PSK) とも呼ばれます。

- 2 無線LANアクセスポイントが起動され、正常動作していることを確認します。

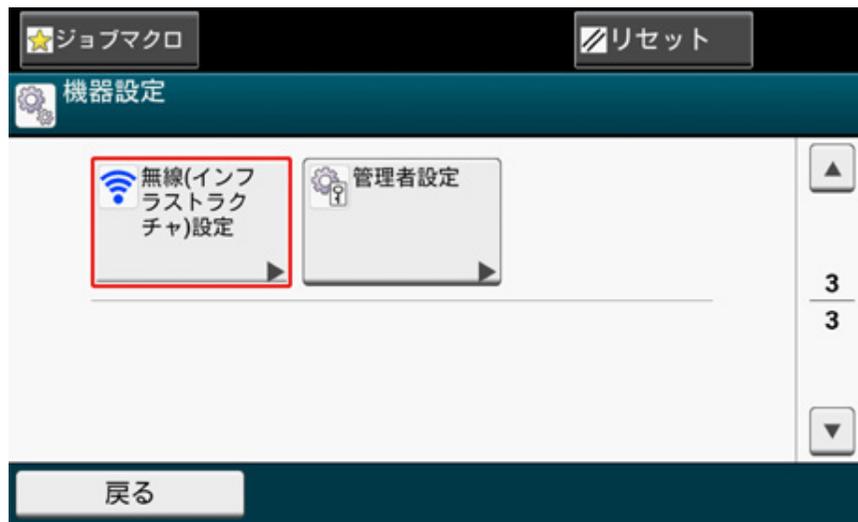
- 3 本機の電源を入れます。



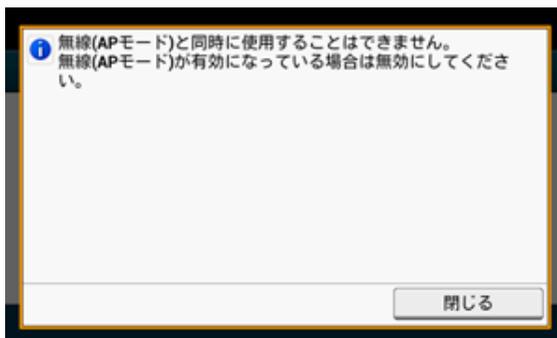
下の画面が表示されたら、[はい] を押して手順6へ進んでください。



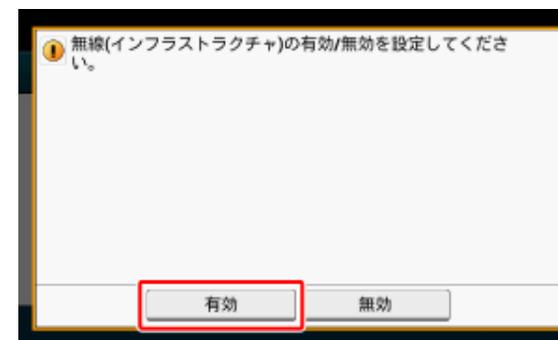
- 4 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 5 [無線(インフラストラクチャ)設定] を押します。



- 6 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
下のメッセージが、約5秒、表示されます。



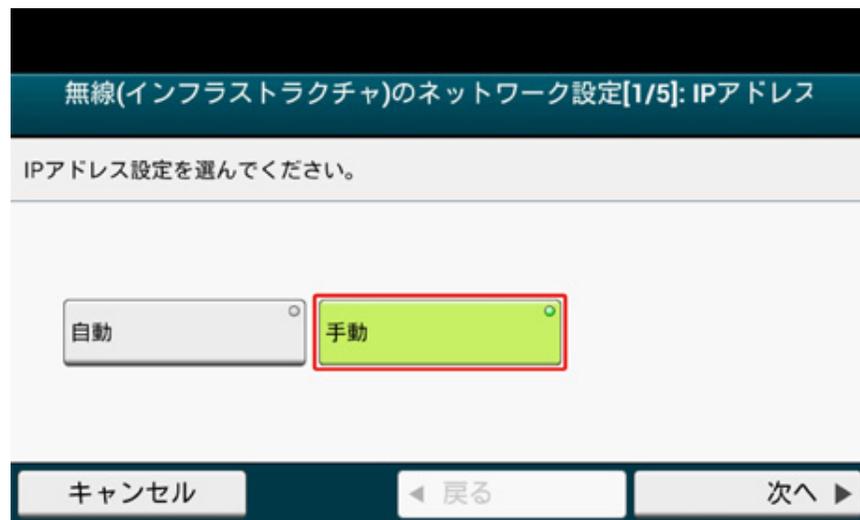
- 7 [有効] を押します。



- 8 お使いの環境により、IP アドレスなどを手動で設定する必要がある場合は、[ネットワーク設定] を押します。手動で設定する必要のない場合は、手順12へ進みます。



- 9 [無線（インフラストラクチャ）のネットワーク設定] 画面になるので、[手動] を押します。



- 10 画面に従って、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCP v6 を設定します。

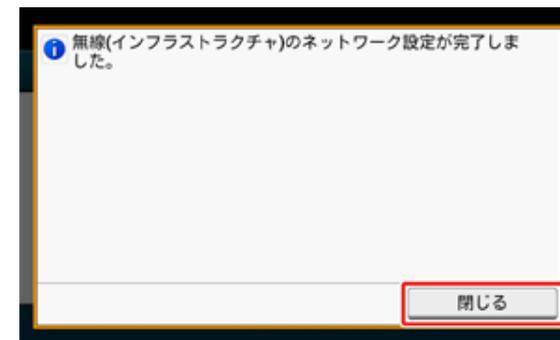


設定する値は、プロバイダーやネットワーク管理者に確認してください。

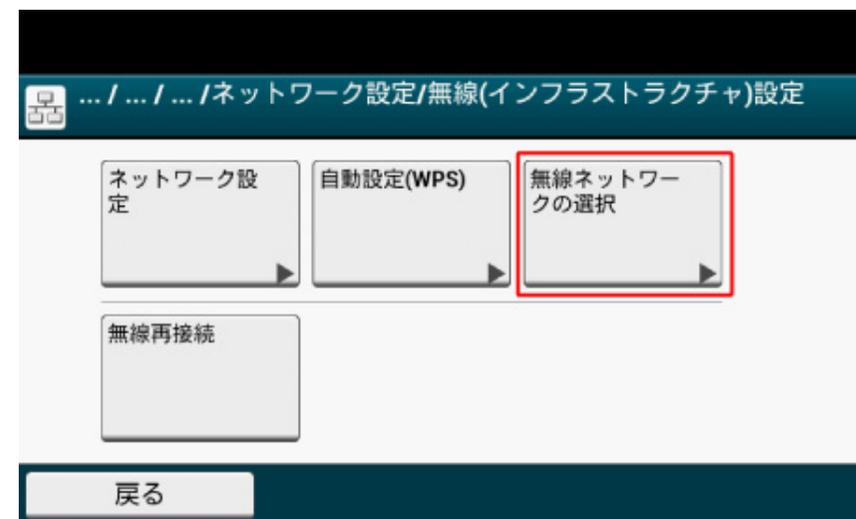
- 11 無線（インフラストラクチャ）のネットワーク設定が完了したら、[閉じる] を押します。



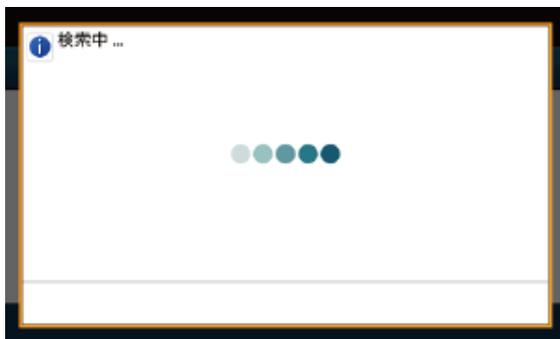
[閉じる] を押さなくても、時間が経つと次の画面に切り替わります。



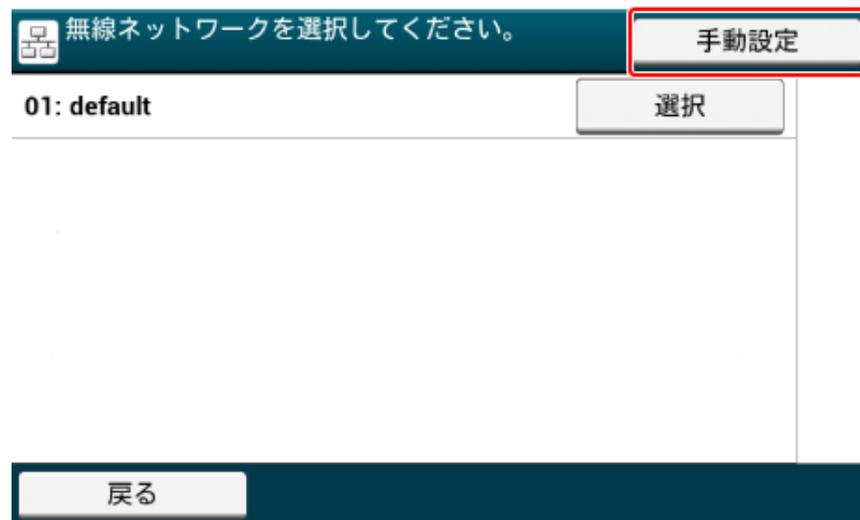
- 12 [無線ネットワークの選択] を押します。



本機が無線LANアクセスポイントの検索を開始します。しばらくお待ちください。



13 [手動設定] を押します。

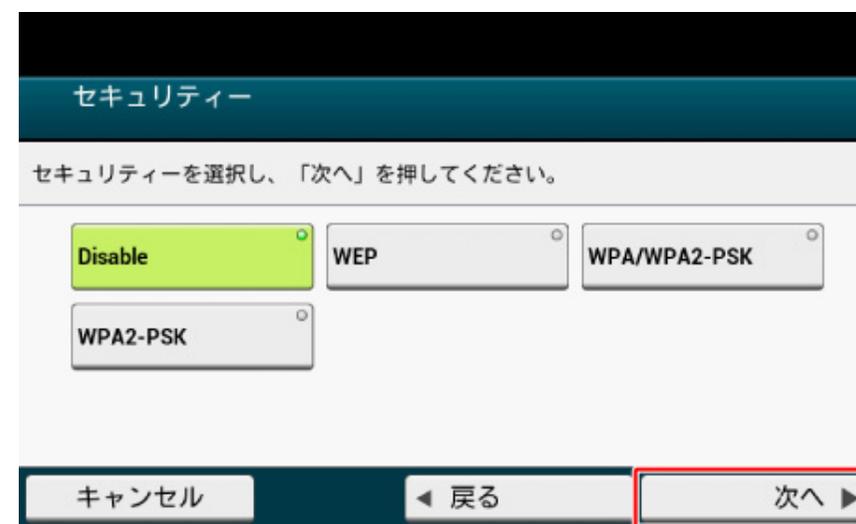


14 手順1で確認したSSIDを入力し、[次へ] を押します。



SSIDの入力時は、大文字と小文字は区別されます。正しく入力してください。

15 手順1で確認した暗号化方式を選択し、[次へ] を押します。



暗号化キーは、無線LANアクセスポイントや暗号化方式によって異なります。

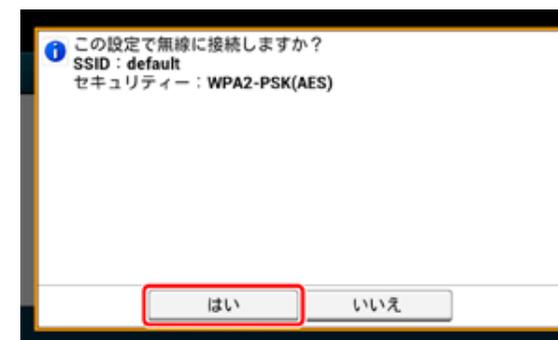
16 手順15で選択した暗号化方式により、手順が異なります。

[WPA/WPA2-PSK] を選択した場合は、[TKIP/AES] を選択し、[次へ] を押します。その後に、Pre-shared Keyを入力し、[次へ] を押します。

[WPA2-PSK] を選択した場合は、[AES] を選択し、[次へ] を押します。その後に、Pre-shared Keyを入力し、[次へ] を押します。

[WEP] を選択した場合は、WEP Keyを入力し、[次へ] を押します。

17 手順1で確認した内容と同じであれば [はい] を押します。





本機が無線LANアクセスポイントを検出するまでに、30秒ほどかかります。

接続に成功した画面が表示されたら、[閉じる] を押します。

接続に失敗した画面が表示されたら、[閉じる] を押し、手順5からやり直してください。

- 18** ホーム画面の右上にアンテナマークが表示されていれば、正常に接続できています。



コピートップ画面など、アンテナマークが確認できない画面もあります。

● 無線LANの接続が不安定な場合

無線LANの接続が不安定な場合、「無線LANで接続するための準備」に記載の注意事項をよくお読みの上、本機と無線LANアクセスポイントの位置を変更してください。注意事項を読んでも解決策が見つからない場合、本機と無線LANアクセスポイントを互いに近づけてみてください。

本機と直接接続する

無線LAN(APモード)は無線LANアクセスポイントを使用しないで無線端末（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）を本機に直接接続します。



- 本機と無線端末の間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- 本機へ無線（APモード）接続できる端末の上限は4台です。上限を超える端末は接続することができません。

● 自動接続（プッシュボタン）する

無線端末がWPS-PBC（プッシュボタン）をサポートしている場合、WPS ボタンを使って無線LAN(APモード)に接続できます。

● 手動接続する

無線端末がWPS-PBC（プッシュボタン）をサポートしていない場合、本機のSSIDとパスワードを無線端末に入力して接続できます。

自動接続（プッシュボタン）する

無線端末がWPS-PBC（プッシュボタン）をサポートしている場合、WPS ボタンを使って無線（APモード）に接続できます。

1 無線端末に付属の取扱説明書などで、WPS ボタンの位置を確認します。

2 本機の電源を入れます。



【無線に設定しますか?】と表示した場合は、【次回から表示しない】にチェックを入れ、【いいえ】を押します。

3 タッチパネルの【機器設定】を押します。

4 【管理者設定】を押します。

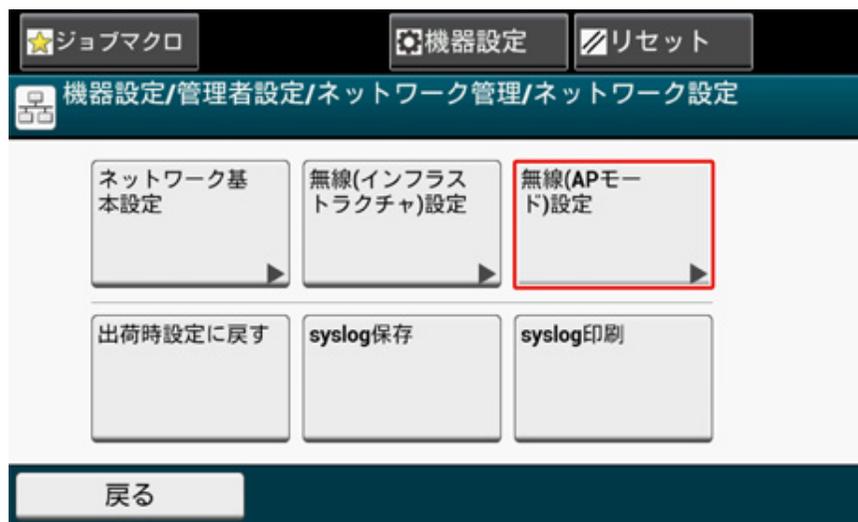
5 管理者名と管理者パスワードを入力し、【OK】を押します。

工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。

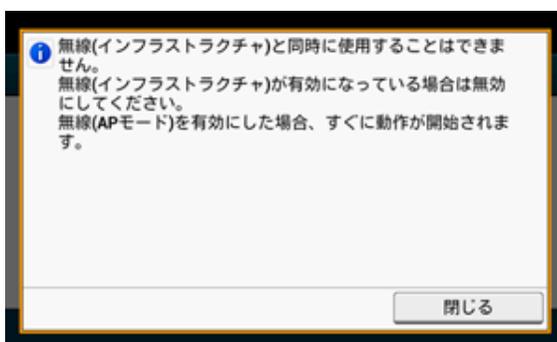
6 【ネットワーク管理】を押します。

7 [ネットワーク設定] を押します。

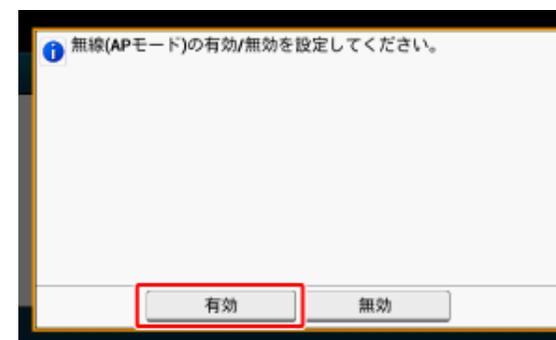
8 [無線 (APモード)設定] を押します。



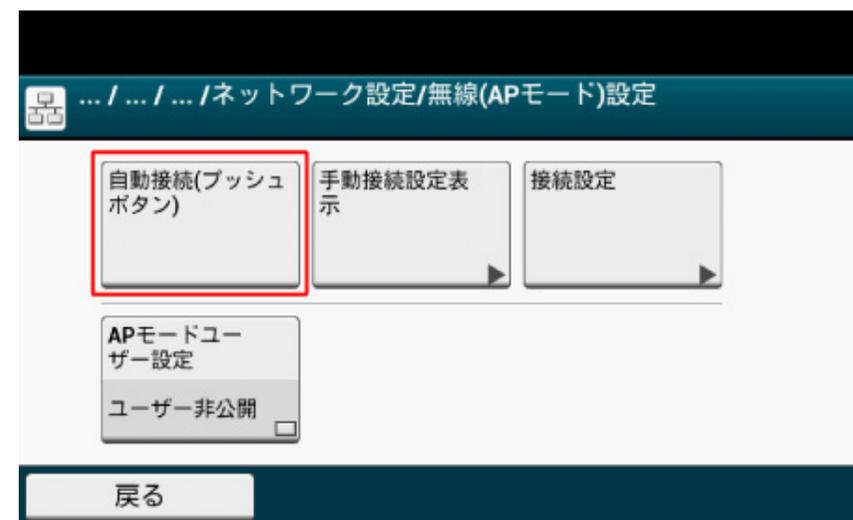
下のメッセージが、約5秒、表示されます。



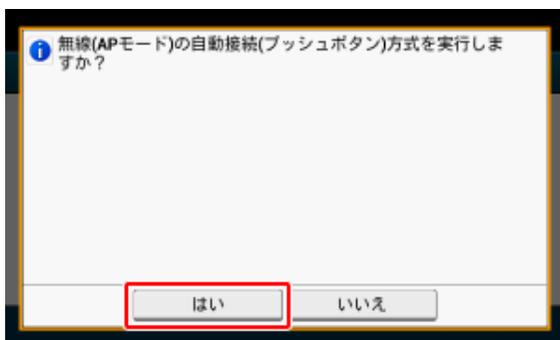
9 [有効] を押します。



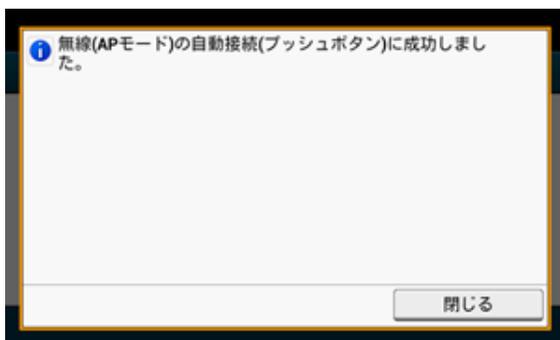
10 [自動接続(プッシュボタン)] を押します。



11 [はい] を押します。



12 無線端末でWPS-PBC（プッシュボタン）を開始します。
下の画面が表示されたら、無線LANのセットアップは終了です。



接続に失敗した場合、「手動接続する」の手順に従って接続を試みてください。

手動接続する

無線端末がWPS-PBC（プッシュボタン）をサポートしていない場合、本機のSSIDとパスワードを無線端末に入力して接続できます。

1 本機の電源を入れます。



[無線に設定しますか?] と表示した場合は、[次回から表示しない] にチェックを入れ、[いいえ] を押します。

2 タッチパネルの [機器設定] を押します。

3 [管理者設定] を押します。

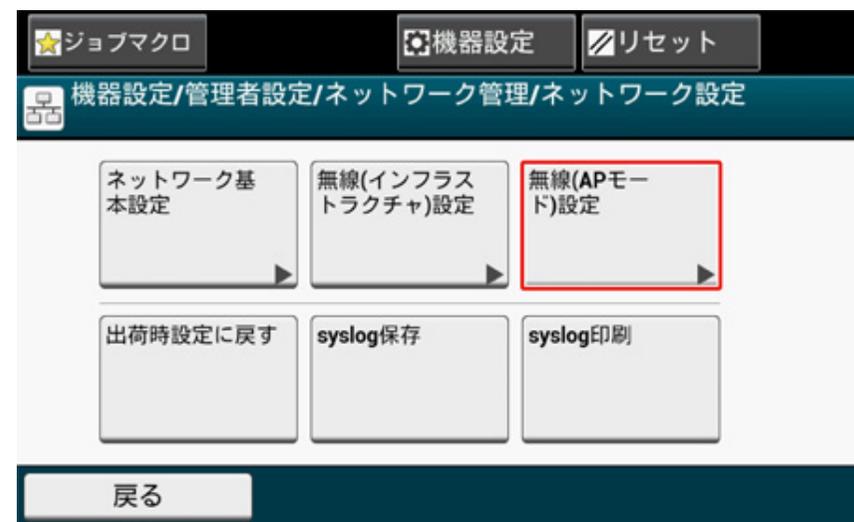
4 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。

工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。

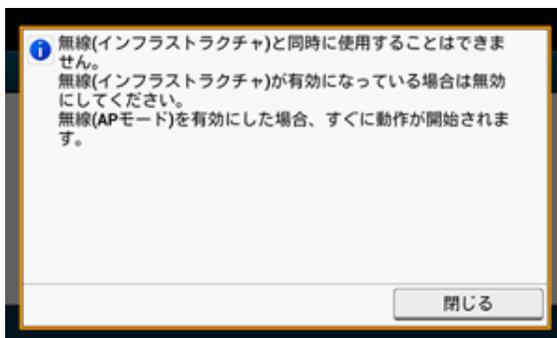
5 [ネットワーク管理] を押します。

6 [ネットワーク設定] を押します。

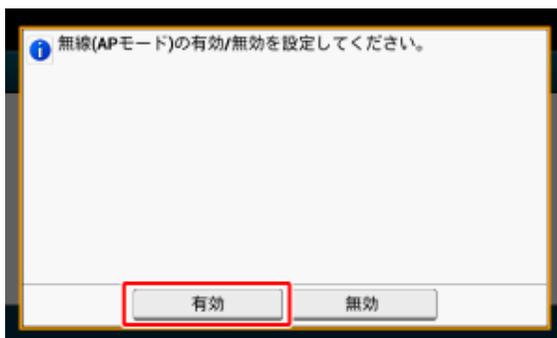
7 [無線(APモード)設定] を押します。



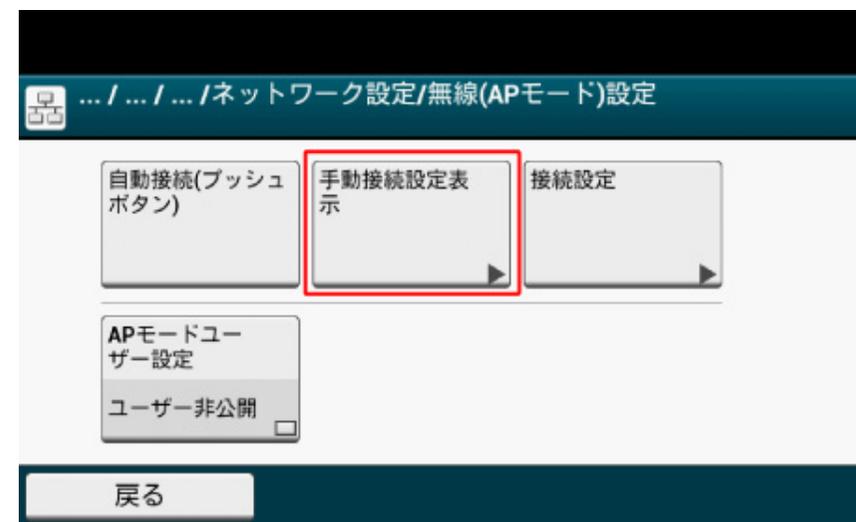
下のメッセージが、約5秒、表示されます。



8 [有効] を押します。



9 [手動接続設定表示] を押します。



10 表示された本機の [SSID] と [パスワード] を確認します。



11 無線端末に手順10で確認した本機の [SSID] と [パスワード] を入力し接続を行います。

パソコンにソフトウェアをインストールする

「ソフトウェアDVD-ROM」から、プリンタードライバー、スキャナードライバー、ファクスドライバーなどを、パソコンにインストールします。

その他の便利なソフトウェアも同時にインストールできます。

- Windowsの場合
- Mac OS Xの場合

Windowsの場合

本機をネットワークまたはUSBケーブルでパソコンと接続し、インストールを開始します。



インストールを行う前に、本機の状態を確認してください。

- 電源が入っていること。
- ネットワークで接続する場合は、LANケーブルでネットワークに接続し、本機のIPアドレスやその他の設定がされていること。

- 1 付属の「ソフトウェアDVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 [自動再生]が表示されたら、[Setup.exeの実行]をクリックします。



[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックします。

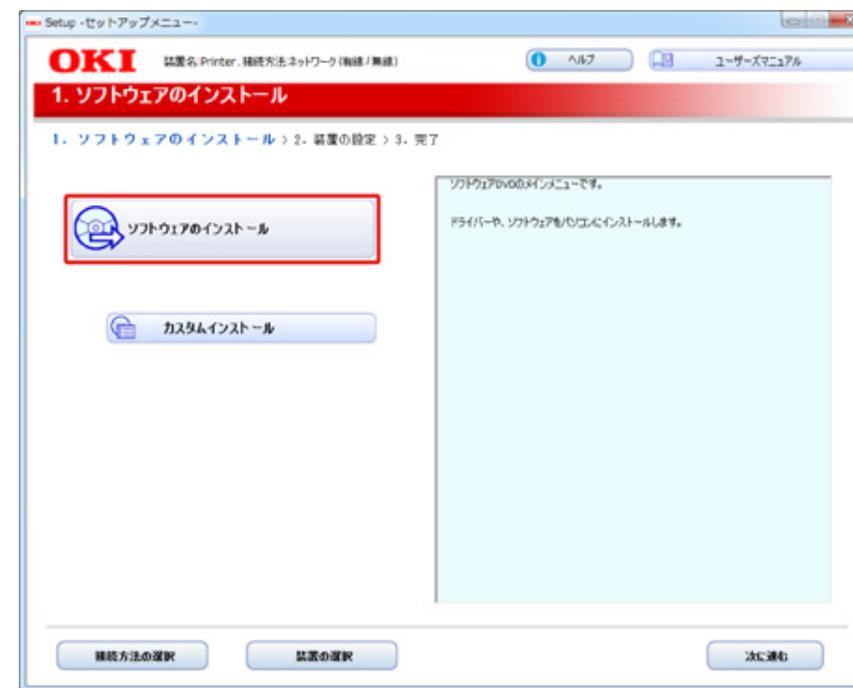
- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、[同意する] をクリックします。
- 5 環境についてのアドバイスを読み [次に進む] をクリックします。
- 6 パソコンと本機の接続方法に従って [ネットワーク] または [USB] いずれかを選択し、[次に進む] をクリックします。

[Windowsセキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックします。

7 本機の機種名を選択し、[次に進む] をクリックします。



8 [ソフトウェアのインストール] をクリックします。



インストールが始まります。



次のソフトウェアがインストールされます。

- PCL6プリンタードライバー（Network Extension、色見本印刷ユーティリティ含む）
- スキャナードライバー
- ActKey
- Cloud Support

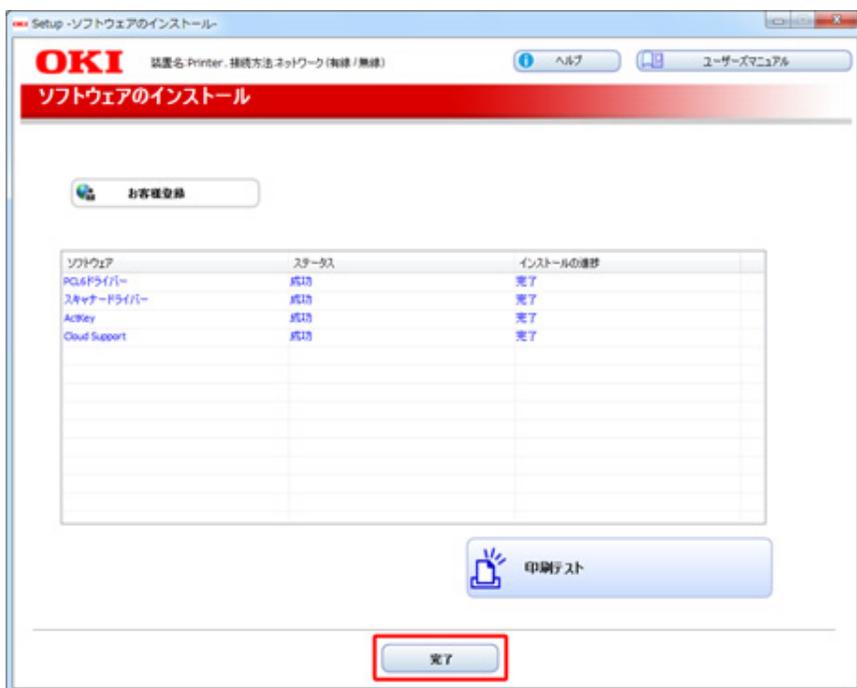
他のソフトウェアはカスタムインストールからインストールします。

 ソフトウェアのインストール（活用マニュアル）

9 ソフトウェアのインストールが完了したことを確認し、[印刷テスト] をクリックします。

テスト印刷を行うプリンターを選択し、[印刷テスト] をクリックします。
テスト印刷されたことを確認し、[OK] をクリックします。

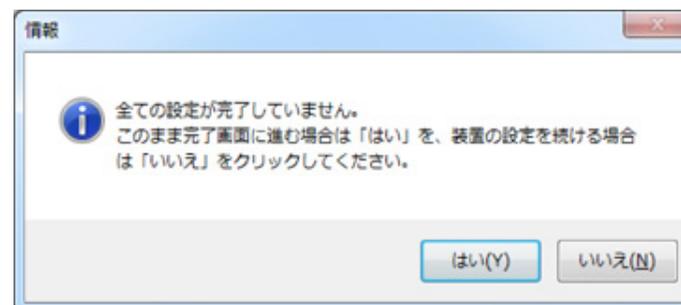
10 [完了] をクリックします。



11 [次に進む] をクリックします。



以下のダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックします。



12 [終了] をクリックします。



Mac OS Xの場合

ここでは PSプリンタードライバーとスキャナードライバーのインストール方法を説明します。

ユーティリティのインストールは以下を参照してください。

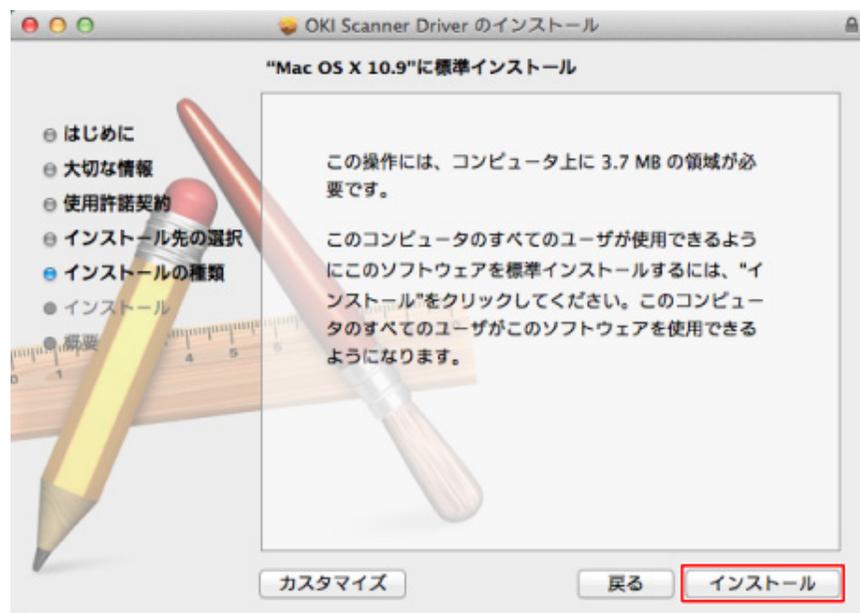
[ソフトウェアのインストール \(活用マニュアル\)](#)

- Mac OS X用スキャナードライバーをインストールします

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、付属の「ソフトウェアDVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [Drivers] > [Scanner] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。
- 4 [続ける] をクリックします。
- 5 表示された内容を確認し、[続ける] をクリックします。

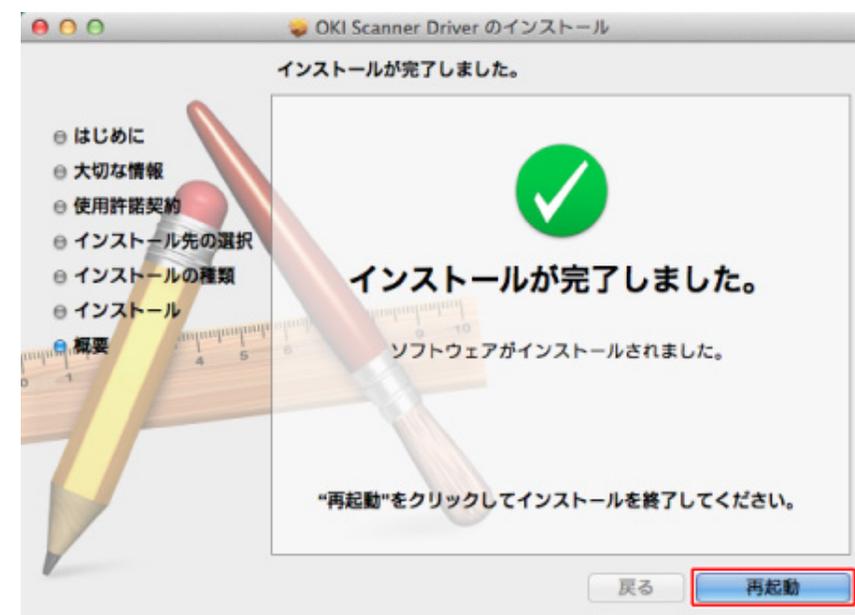


- 6 使用許諾契約を読み、[続ける] をクリックします。
- 7 [同意する] をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックします。
ドライバーのインストール先を変更する場合は、[インストール先を変更] をクリックします。



- 9 管理者の名前とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] をクリックします。
- 10 [インストールを続ける] をクリックします。

- 11 [再起動] をクリックします。



- Mac OS X用PSプリンタードライバーをインストールします
インストールが終了したら、手順15でテスト印刷をしてください。

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認します。
- 2 「ソフトウェアDVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 3 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [Drivers] > [PS] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。
- 5 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。
- 6 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
- 7 [プリンタとスキャナ] をクリックします。

- 8 [+] をクリックし、メニューが表示されたら [プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。



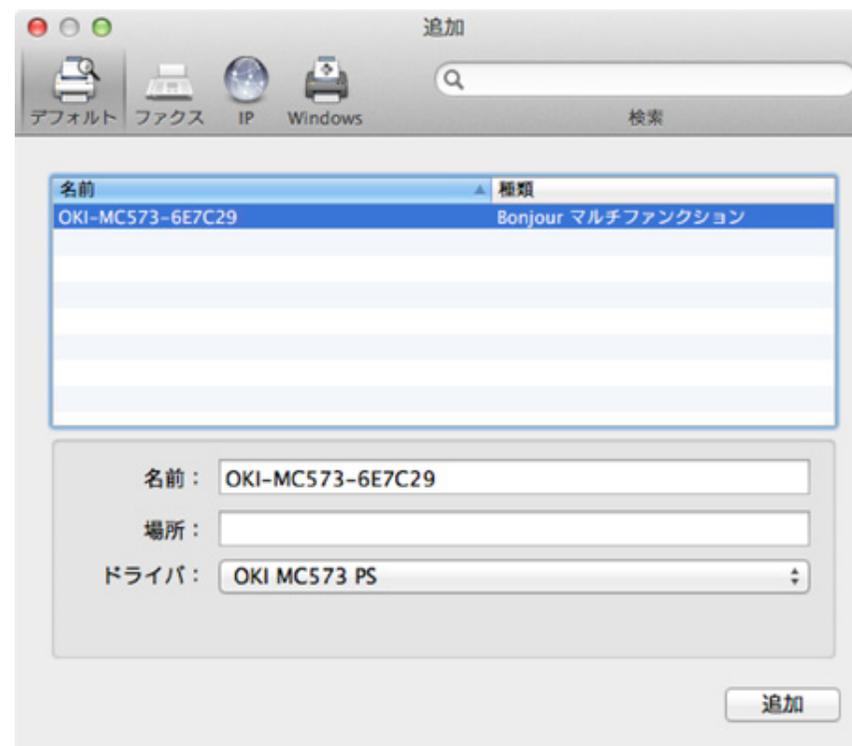
- 9 [デフォルト] をクリックします。

- 10 本機を選択し、[OKI MC573 PS] が [ドライバ] に表示されていることを確認します。

接続方法	リストに表示される名前	種類
ネットワーク	OKI-MC573 (MACアドレスの下6桁)	Bonjour
USB	OKI DATA CORP MC573	USB



名前を変更するときは、[名前:] に使用する名前を入力します。



- 11 [追加] をクリックします。

- 12 [インストール可能なオプション] が表示されたら、[続ける] をクリックします。

- 13 [プリンタ] のリストに本機が追加され、[種類] に [OKI MC573 PS] が表示されたことを確認します。



[種類] に [OKI MC573 PS] と正しく表示されない場合は、[-] をクリックして [プリンタ] から本機を削除し、手順8～12を再度行ってください。

- 14 [プリントキューを開く] をクリックします。
- 15 [プリンタ] メニューから [テストページをプリント] を選択します。

3

基本的な操作

各部の名称

操作パネルの基本操作

電源を入れる／切る

用紙をセットする

原稿をセットする

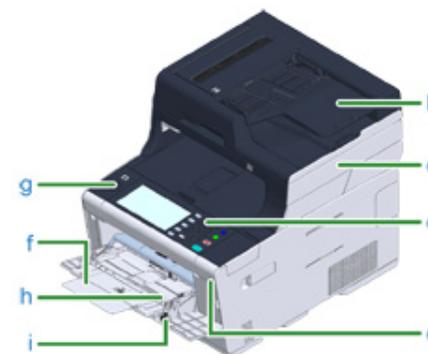
ここでは、本機の基本的使用方法について説明します。

各部の名称

本機の各部の名称について説明します。

- 本体前面
- 本体背面
- 本体内部

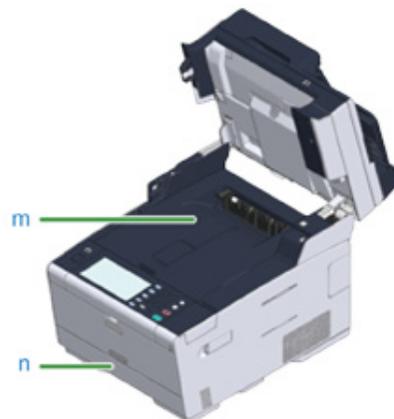
本体前面



記号	名称
a	自動原稿送り装置 (ADF)
b	原稿トレイ
c	スキャナーユニット
d	操作パネル 🔗 操作パネルの基本操作
e	USBポート
f	MPトレイ (マルチパーパストレイ)
g	オープンボタン
h	用紙サポーター
i	封筒用レバー (封筒を印刷するときに使用します。詳しくは活用マニュアルをご覧ください。)

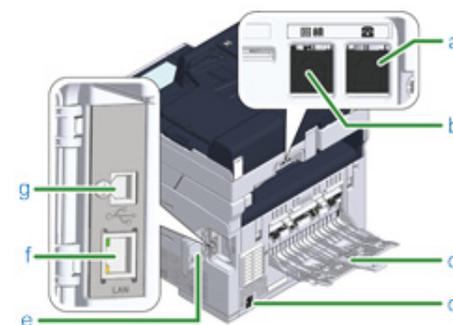


記号	名称
j	原稿ガラス
k	原稿ガラスカバー
l	無線LANモジュールカバー



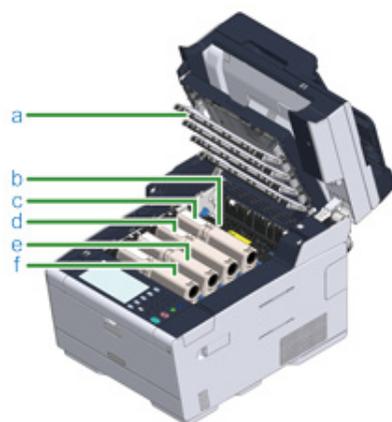
記号	名称
m	本体排紙トレイ
n	トレイ 1

本体背面



記号	名称
a	TELコネクター（外付け電話機を接続します）
b	回線コネクター
c	後方排紙トレイ
d	電源コネクター
e	インターフェースコネクターカバー
f	ネットワークインターフェースコネクター
g	USBインターフェースコネクター

本体内部



記号	名称
a	LEDヘッド
b	定着器ユニット
c	トナーカートリッジ/イメージドラム (Y: イエロー)
d	トナーカートリッジ/イメージドラム (M: マゼンタ)
e	トナーカートリッジ/イメージドラム (C: シアン)
f	トナーカートリッジ/イメージドラム (K: ブラック)

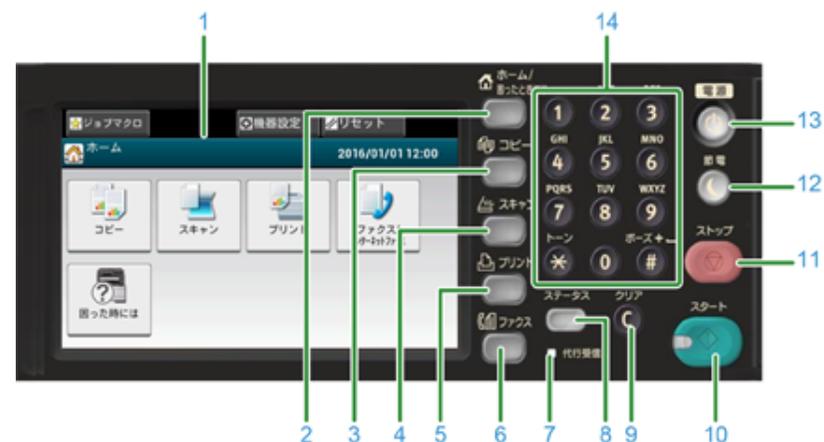
操作パネルの基本操作

ここでは、本機の操作パネルについて説明します。

- 名称とはたらき
- タッチパネルの見かた
- 操作パネルの向きを調整する
- 文字を入力する

名称とはたらき

操作パネル上のボタン名称とその機能について説明します。



番号	名称	機能
1	タッチパネル	表示アイコンを押して項目を選択または設定できます。
2	ホーム/困ったときには	ホーム画面を表示します。
3	コピー	コピー機能の画面を表示します。
4	スキャン	スキャン機能の画面を表示します。
5	プリント	プリント機能の画面を表示します。
6	ファクス	ファクス機能の画面を表示します。
7	代行受信ランプ	ファクスデータがメモリー上に残っているときに点灯します。
8	ステータス	ステータスメニューを表示します。エラーステータスがある場合、点滅または点灯します。消耗品の残量やファクスの通信状況などを確認できます。
9	クリア	入力した値をクリアします。
10	スタート	コピー、スキャン、ファクス、またはUSBメモリーからの印刷を開始します。
11	ストップ	コピーや送信中のファクスなどを中止します。
12	節電	節電状態（パワーセーブ、スリープ）にしたり、節電状態を解除したりします。パワーセーブモード中は緑色に点灯、スリープモードでは緑色に点滅（3秒毎）、ディープスリープモードでは緑色に点滅（6秒毎）します。
13	電源	本機の電源をオン/オフします。
14	テンキー	数字、および記号を入力します。

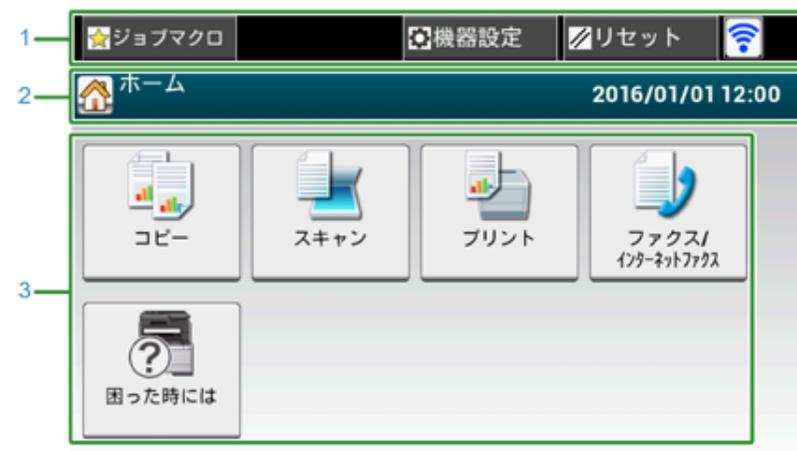


- 操作パネルの角度を変えるときは、操作パネルと本機の間を手を挟まないようご注意ください。ケガのおそれがあります。
- タッチパネルを強く押ししたり、先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷し、正常に動作しなくなる恐れがあります。

タッチパネルの見かた

本機の電源を入れると、タッチパネルにホーム画面が表示されます。

● ホーム画面



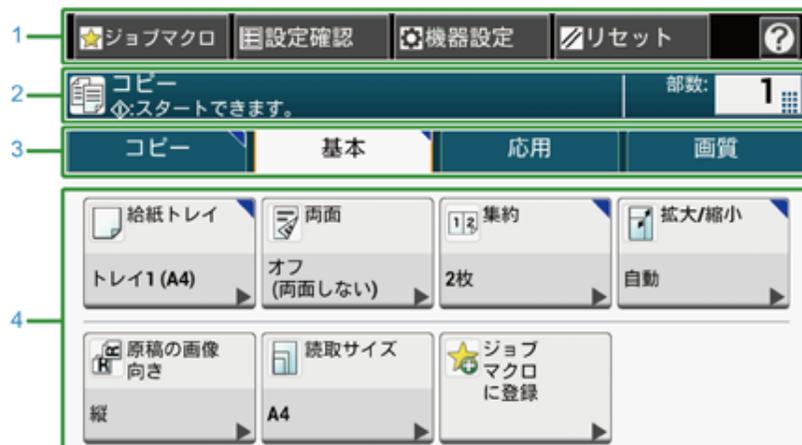
画面は工場出荷時の設定を使用しています。電源を入れ、装置が使用できる状態になったときに表示される画面は、タッチパネルの【機器設定】>【管理者設定】>【機器管理】>【デフォルトモード】から変更できます。

	項目	説明
1	固定ボタンエリア	<p>常に同じボタンが表示されます。以下の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【ジョブマクロ】 • 【機器設定】 • 【設定確認】 • 【リセット】 • 【ログアウト】 • アンテナマーク：無線LANが有効になっているとき • <p>選択したメニューで使用可能なもののみ表示されます。</p>
2	タイトル、操作ガイドエリア	現在開いている画面のタイトルや、操作ガイドが表示されます。

項目	説明
3	メインエリア
	コピー機能を使用する時に押します。
	スキャン機能を使用する時に押します。
	プリント機能を使用する時に押します。
	ファクス機能を使用する時に押します。
	以下の手順や機能が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品やメンテナンス品の交換 (トナーカートリッジ、イメージドラム、ベルトユニット、定着器ユニット) ● 本機のお手入れや清掃 (給紙ローラー、LEDヘッド、スキャナー読み取り部) ● 画質のトラブルが発生したとき (帯、スジ、汚れなど) ● その他の問題を対処 (クラウドサーバーを利用した対処方法) <p>[画質のトラブルが発生したとき] と [その他の問題を対処] は、クラウドサーバーへ接続していないと表示されません。</p>

● 各機能の画面の見かた

コピー機能の「基本」タブを例にして説明します。



項目	説明
1	固定ボタンエリア 常に同じボタンが表示されます。 選択したメニューで使用可能なもののみ表示されます。
2	タイトル、操作ガイドエリア 現在開いている画面のタイトルや、操作ガイドが表示されます。
3	タブのラベル タブのラベルが表示されます。ラベルを押すと、タブを切り替えられます。 初期値の設定が変更されると、▼が表示されます。 
4	メインエリア 現在の設定で出力されるコピーのプレビューが表示されます。 現在の設定は各ボタンに表示されます。 <ボタンのマークについて> ▼: 初期値の設定が変更されたことを示します。 ▶: 次ページがあることを示します。 ☑/☐: 設定がオンまたはオフされたことを示します。



☑が表示されている欄にはテンキーを使って値を入力することができます。



-  コピー画面の説明
-  スキャン画面の説明
-  プリント画面に表示される項目と機能
-  ファクス画面に表示される項目と機能

操作パネルの向きを調整する

操作パネルを見やすい角度に設定できます。

- 1 操作パネル上部の中央を持ち、手前に引き出します。



元に戻すときは、止まるまで手前に引き出してから、静かに押します。

文字を入力する

- タッチパネルで入力する
- テンキーで入力する

タッチパネルで入力する

項目の設定中に文字を入力する必要があるときは、以下の入力画面が表示されます。

- 入力画面について
入力内容によって入力画面に表示されるボタンの数は異なります。
- ひらがなキーボード画面



● 英数キーボード画面



- ひらがな、全角カタカナの文字を入力し、[リターン/確定] を押すと、入力した文字が確定されます。確定していない文字（未確定文字）は、下線付きで表示されます。
- [リターン/確定] で改行ができるのは一部の画面のみです。改行ができない画面でもボタンのラベルは変わりません。

項目	説明
1	全角半角キー 全角と半角を切り替えます。
2	スペース/変換キー スペースを入力します。長押しすると、連続でスペースを入力します。変換可能な文字列が入力されている場合には、変換候補を表示します。
3	無変換キー 入力を確定していない文字列に対して、ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナの変換候補を表示します。
4	テキストフィールド 入力した文字が表示されます。
5	入力文字数/入力可能文字数 入力最大文字数と、入力済みの文字数を示しています。
6	バックスペースキー カーソルの直前の文字を削除します。長押しすると、連続で文字を削除します。
7	文字パネル 文字を入力します。文字種は入力モードで切り替えます。
8	リターン/確定キー 改行します。入力を確定していない文字列を確定します。

項目	説明
9	上下左右キー カーソルを上下左右に移動します。長押しすると、連続でカーソルを移動します。
10	大文字キー 大文字小文字を切り替えます。
11	入力モード 入力モード（文字種）を切り替えます。

● 文字を入力する

- 1 タッチパネルを押します。
- 2 入力が終了したら、[OK] または [次へ] を押します。



- [キャンセル] または [バックスペース] を押すと、入力内容を取り消して前の画面に戻ります。
- 「あ」を入力して [スペース/変換] を押すと、下の画面のように変換候補が表示されます。
- 「▲」が表示されているときは、「▲」を押すと、表示しきれない変換候補が全画面で表示されます。
- 変換候補を表示中に左右カーソルキーを押すと、変換する文節の長さを変えることができます。
- [無変換] を押すと、ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナの3つの候補が表示されます。



● 文字の種類を切り替える

- 1 [ひらがな]、[カタカナ]、[英数] または [記号] を押します。

- 英数モードのときに大文字／小文字を切り替える

1 を押します。

- 入力した文字を削除する

1 タッチパネルの  (バックスペースキー) または 操作パネルの  (クリア) を押します。

カーソル (|) の前の文字が削除されます。



文字を削除するとき、カーソルを削除する文字の後ろに移動します。カーソルを移動するには [←]、[→]、[↑]、または [↓] を押します。

テンキーで入力する



各キーに表示された数字を入力できます。



- アルファベットを入力することはできません。アルファベットは、タッチパネルから入力してください。
- 入力モードがひらがなの場合にテンキーを押すと、全角数字と全角記号を入力できます。それ以外の場合は半角数字と半角記号を入力できます。

- 入力した文字を削除する

 (クリア) を押して、カーソルの直前の文字を削除します。

 (クリア) を長押しすると、連続で文字を削除します。



電源を入れる／切る

ここでは、本機の電源の入れかたと切りかたについて説明します。

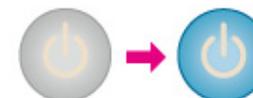
- 電源を入れる
- 電源を切る

電源を入れる

- 1 原稿ガラスまたは自動原稿送り装置上に原稿がないこと、および自動原稿送り装置カバーが閉じられていることを確認します。
- 2 電源スイッチを約1秒間押します。



電源が入ると電源スイッチのLEDランプが点灯します。



3 本機が使用できる状態になると、ホーム画面を表示します。



電源を切る

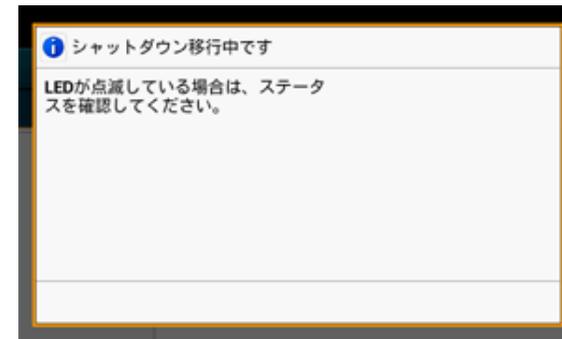


- 本機がデータ受信中でないことを確認して、シャットダウンしてください。
- 電源スイッチを5秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。トラブルが発生したときのみご使用ください。本機のトラブルについては、「困ったときには」をご覧ください。

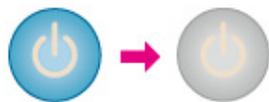
1 電源スイッチを約1秒間押します。



タッチパネル上に、「シャットダウン移行中です LEDが点滅している場合は、ステータスを確認してください。」と表示され、電源スイッチのLEDランプが約1秒周期で点滅します。



しばらくすると、本機の電源は自動的に切れ、電源スイッチのLEDランプが消灯します。



本機を長期間使用しない場合の対処について

連休や旅行などで本機を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。



アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。



本機は長時間（4週間以上）電源コードを抜いておいても、機能障害を生じません。

用紙をセットする

本機用の紙トレイに設定できる用紙について記載しています。

用紙種類、用紙厚などを設定するときは、タッチパネルの [機器設定] > [用紙] で設定するトレイを押し、[用紙種類] または [用紙厚] を選択します。

- 使用できる用紙
- トレイ1/2/3にセットする
- MPトレイにセットする
- 用紙の保管

使用できる用紙

- 使用できる用紙の種類
- セットできる用紙サイズ/厚さ/枚数について
- 普通紙
- 再生紙
- はがき
- 封筒
- ラベル紙
- 部分印刷用紙
- カラー用紙
- 長尺用紙

使用できる用紙の種類

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。電子写真プリンター用紙をご使用ください。

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

● 普通紙

用紙種類	用紙サイズ	用紙の厚さ
A4	210 x 297	64～220 g/m ² 、両面印刷の場合 は64～176 g/m ² ❗ 用紙幅が148 mm以下の用紙を設定すると、印刷速度が遅くなります。
A5	148 x 210	
A6	105 x 148	
B5	182 x 257	
B6	128 x 182	
B6ハーフ	64 x 182	
レター	215.9 x 279.4 (8.5 x 11)	
リーガル 13	215.9 x 330.2 (8.5 x 13)	
リーガル 13.5	215.9 x 342.9 (8.5 x 13.5)	
リーガル 14	215.9 x 355.6 (8.5 x 14)	
エグゼクティブ	184.2 x 266.7 (7.25 x 10.5)	
ステートメント	(5.5 x 8.5)	
8.5インチ SQ	(8.5 x 8.5)	
フォリオ (210 x 330 mm)	210 x 330	
16K (184 x 260 mm)	184 x 260	
16K (195 x 270 mm)	195 x 270	
16K (197 x 273 mm)	197 x 273	
インデックスカード	(3 x 5)	
4x6 インチ	(4 x 6)	
5x7 インチ	(5 x 7)	
カスタムサイズ	幅：64～216 長さ：90～1321	64～220 g/m ²

● 封筒

用紙種類	用紙サイズ	用紙の厚さ
長形3号	120 x 235	85 g/m ² の紙を使用したもの
長形4号	90 x 205	
洋形4号	105 x 235	
Com-9	98.4 x 225.4 (3.875 x 8.875)	24 lb の紙を使用したもので、フ ラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8 x 241.3 (4.125 x 9.5)	
Monarch	98.4 x 190.5 (3.875 x 7.5)	
DL	110 x 220 (4.33 x 8.66)	
C5	162 x 229 (6.4 x 9)	

● はがき

用紙種類	用紙サイズ	用紙の厚さ
通常はがき	100 x 148	郵便はがき
往復はがき	200 x 148	

● ラベル紙

用紙種類	用紙サイズ	用紙の厚さ
A4	210 x 297	0.1～0.2 mm
レター	215.9 x 279.4 (8.5 x 11)	

● その他の用紙

用紙種類	用紙サイズ	用紙の厚さ
部分印刷用紙	普通紙に準じます。	64～220 g/m ²
カラー用紙	普通紙に準じます。	64～220 g/m ²

セットできる用紙サイズ／厚さ／枚数について

各トレイにセットできる用紙の種類と容量は次のとおりです。

● トレイ1

使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
A4 A5 A6*1 B5 B6*1 レター リーガル (13インチ) リーガル (13.5インチ) リーガル (14インチ) エグゼクティブ ステートメント*1 8.5インチ SQ (8.5 x 8.5インチ) フォリオ (210 x 330 mm) 16K (184 x 260 mm) 16K (195 x 270 mm) 16K (197 x 273 mm) カスタムサイズ*2 はがき*1*3	280枚 (用紙の厚さが64 g/m ² の場合)	普通紙：64～74 g/m ² やや厚い紙：75～82 g/m ² 厚い紙：83～90 g/m ² より厚い紙1：91～104 g/m ² より厚い紙2：105～120 g/m ² ごく厚い紙1：121～176 g/m ²

*1 両面印刷できない用紙です。

*2 幅：100～216mm、長さ：148～356mm

*3 176 g/m²を超える厚手の郵便はがきはMPトレイを使用してください。

● トレイ2/3 (オプション)

使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
A4 A5 B5 レター リーガル (13インチ) リーガル (13.5インチ) リーガル (14インチ) エグゼクティブ 8.5インチ SQ (8.5 x 8.5インチ) フォリオ (210 x 330 mm) 16K (184 x 260 mm) 16K (195 x 270 mm) 16K (197 x 273 mm) カスタムサイズ*1	580枚 (用紙の厚さが64 g/m ² の場合)	普通紙 : 64~74 g/m ² やや厚い紙 : 75~82 g/m ² 厚い紙 : 83~90 g/m ² より厚い紙1 : 91~104 g/m ² より厚い紙2 : 105~120 g/m ² ごく厚い紙1 : 121~176 g/m ²

*1 幅 : 148~216mm、長さ : 210~356mm

● MPトレイ

使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
A4 A5 A6*1 B5 B6*1 B6ハーフ*1 レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ ステートメント*1 8.5インチ SQ (8.5 x 8.5インチ) フォリオ (210 x 330 mm) 16K (184 x 260 mm) 16K (195 x 270 mm) 16K (197 x 273 mm) インデックスカード (3x5インチ)*1 4x6インチ*1 5x7インチ*1 カスタムサイズ*2 Com-9*1 Com-10*1 Monarch*1 DL*1 C5*1 封筒 長形3号 (120x235 mm) *1 封筒 長形4号 (90x205 mm) *1 封筒 洋形4号 (235x105 mm) *1 はがき (100x148 mm) *1 往復はがき (200x148 mm) *1	110枚 (用紙の厚さが64 g/m ² の場合) 40枚 (郵便はがき) 10枚 (封筒)	普通紙 : 64~74 g/m ² やや厚い紙 : 75~82 g/m ² 厚い紙 : 83~90 g/m ² より厚い紙1 : 91~104 g/m ² より厚い紙2 : 105~120 g/m ² ごく厚い紙1 : 121~176 g/m ² ごく厚い紙2 : 177~220 g/m ²

*1 両面印刷できない用紙です。

*2 幅 : 64~216mm、長さ : 90~1,321mm

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

● 推奨紙 :

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントペーパー A4 (型名 : PPR-DA4TDB)

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントホワイト A4 (型名 : PPR-CA4NA)

プリンタードライバーの用紙厚の設定：[普通紙]

操作パネルで設定する場合は、

用紙厚：普通紙

用紙種類：普通紙

- 弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
 - 電子写真プリンター用紙（トナーを用いるプリンターで使用する用紙です）
 - 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
- カラー電子写真プリンター用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。



- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起きることがあります。
- MPトレイで印刷するとシワが出る場合があります。このような場合は用紙カセットから給紙してください。
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンター等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

再生紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：王子製紙製 再生PPC用紙 100
- 電子写真プリンター再生紙（トナーを用いるプリンターで使用する再生紙です）



- 再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンター再生紙であることを確認の上、使用してください。



- 再生紙では、一般の室温環境下（温度17～25℃、湿度40～60%の環境）以外で使用する場合には、印刷品質が低下したり、紙づまりなどの問題が発生することがあります。また、再生紙に印刷する場合は、必ず試し印刷をしてから使用してください。
- 用紙種類で[再生紙]を設定することで印刷品質が改善されることがあります。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき、四面連刷はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2 mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき



- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンター用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 坪量85 g/m²の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒



- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5 mm は印刷品質が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りやふくらみは修正してからお使いください。封筒を印刷するときの手順は、「はがき・封筒をセットする」をご覧ください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：
 - LBP-F7xxx（コクヨ製）（総厚：0.1～0.2 mm）
 - プリンタードライバーの用紙厚の設定：[ラベル紙]
- 操作パネルで設定する場合は、
 - 用紙厚：より厚い紙
 - 用紙種類：ラベル紙
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンター用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンターの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合わせた用紙の厚さが0.1～0.2 mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙



- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐えるもの



- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
 - 書き出し位置精度：± 2 mm、用紙の斜行：± 1 mm/100 mm、画像伸縮：± 1 mm/100 mm（坪量 80 g/m²（連量70 kg）の場合）。
- インクの上に印刷することはできません。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンター用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：
 - OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントホホワイト A4長尺（型名：PPR-CT4DA）
 - プリンタードライバーの用紙厚の設定：[より厚い紙]
- 操作パネルで設定する場合は、
 - 用紙厚：より厚い紙
 - 用紙種類：普通紙
- 用紙サイズは幅210 mm、長さ356～1320 mm 坪量128 g/m²（連量110 kg）



- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンター等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 坪量128 g/m²（連量110 kg）以外の長尺用紙は、印刷品位が低下する場合があります。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

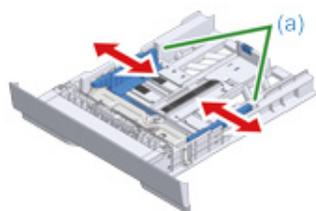
トレイ1 / 2 / 3にセットする

ここでは、トレイ1にセットする場合を例にしています。トレイ2/3（オプション）も同じ手順でセットします。

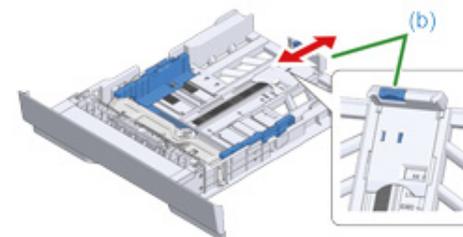
- 1 用紙カセットを引き出します。



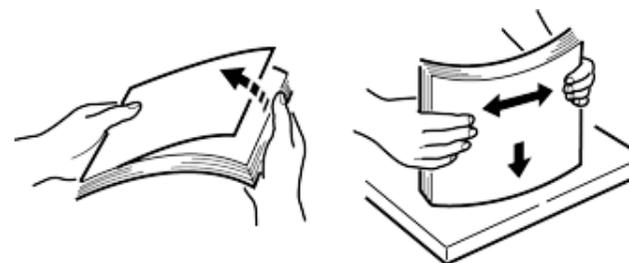
- 2 用紙ガイド (a) を、セットする用紙の幅に合わせてスライドさせます。



- 3 用紙ストッパー (b) を、セットする用紙の長さに合わせてスライドさせます。



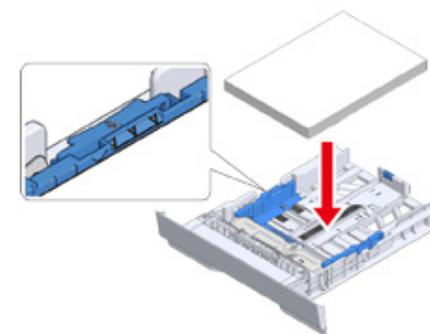
- 4 用紙をよくさばいて、用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



- 5 印刷面を下にして用紙をセットします。



用紙ガイドの「▽」マークを越える用紙をセットしないでください。



- 6 用紙ガイドで、用紙をしっかり固定します。

7 止まるまで用紙カセットを押します。



8 タッチパネルの【機器設定】を押します。

9 【用紙】を押します。

10 用紙をセットしたトレイを押します。

11 セットした用紙の【用紙サイズ】、【用紙種類】、【用紙厚】を設定します。

12 【戻る】ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示します。

MPトレイにセットする



- MPトレイからの印刷中に、用紙を上から押さえたり、用紙を持って引っ張ったりしないでください。印刷を中止したい場合は、本体排紙トレイを開けてください。用紙を取り除く手順は、「用紙が詰まったとき」をご覧ください。
- MPトレイカバーを勢いよく開閉すると、MPトレイの給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。MPトレイの給紙ローラーが降下している場合は、MPトレイの給紙ローラーを上から上げてから、用紙をセットしてください。

1 正面のくぼみに指をかけて、MPトレイを手前に開きます。



2 用紙サポーターの中央を支えながら、用紙サポーターを引き出します。



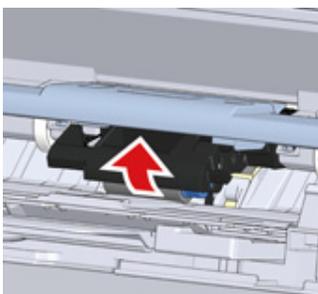
3 補助サポーターを開きます。



4 手差しガイドを、セットする用紙の幅に合わせて調節します。



5 給紙ローラーがローラーガイドから下がっていないか確認します。
下がっている場合は、給紙ローラーを上押し付け、固定します。



6 用紙の端が給紙口に接触するまで、印刷面を上にして用紙をセットします。



「▽」マークを越えて用紙をセットしないでください。



本機がパワーセーブモードの時は、(節電) を押して復帰してください。

7 用紙の設定画面が表示されるので、[用紙サイズ]、[用紙種類]、[用紙厚] を設定します。

8 [閉じる] を押します。



- サイズ、種類、厚さが異なる用紙を同時にセットしないでください。
- 用紙を追加するときは、MPトレイに入っている用紙を取り出し、追加する用紙とひとつにまとめてから、用紙の端をまっすぐにそろえてセットします。
- MPトレイには、印刷用紙以外のものは入れないでください。

用紙の保管

用紙は、品質を維持するために次の条件の下で保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度：20℃
- 湿度：50% RH（相対湿度）

次のような場所には保管しないでください。

- 床の直接上
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒーター、ダクトのそば



- 用紙は、使用するときまで開封しないでください。
- 開封した用紙を長期間放置しないでください。正常に印刷できないことがあります。
- 使用媒体、使用条件、保管条件により印刷品位の低下、用紙カール等が発生する場合があります。

原稿をセットする

本機に原稿をセットする方法について説明します。

- セットできる原稿について
- 自動原稿送り装置（ADF）にセットする
- 原稿ガラスにセットする

セットできる原稿について

● 原稿をセットする場所について

コピーやスキャン、ファクス送信するときの原稿は、自動原稿送り装置または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置

読み取り可能サイズ	A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5インチSQ、フォリオ
容量	50枚 (80 g/m ²)または原稿積載高さ5mmまで
用紙の厚さ	60～105 g/m ²

● 原稿ガラス

読み取り可能サイズ	A4、A5、A6、B5、B6、レター、エグゼクティブ、ステートメント、8.5インチSQ
原稿の厚さ	最大20 mm



A6は両面読み取りできません。



接着剤、インク、修正液を使用した原稿の場合は、完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

● 自動原稿送り装置にセットできない原稿について

次の原稿は自動原稿送り装置にセットすることはできません。原稿ガラスにセットしてください。

- 破れや穴のある原稿
- 折れ曲がっていたり、傷ついている原稿
- 折り目があったり、シワやカールの激しい原稿
- 湿った原稿
- 静電気で密着した原稿
- 裏がカーボンになっている原稿
- 布地、金属シート、OHPフィルム
- ホチキス、クリップ、セロハンテープ、付せんなどがついた原稿
- 貼り合わせた原稿、のりがついた原稿

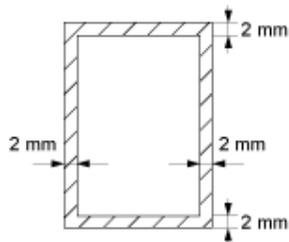
- 光沢のある原稿
- 特殊コーティングされた原稿
- 修正液・インクが乾いていない原稿

原稿ガラスを損傷しないように、次のことに注意してください。

- 厚手の原稿をコピーするときに、原稿をガラスに強く押し付けしないでください。
- 堅い原稿は、静かに置いてください。
- 鋭利な突起のある原稿をセットしないでください。

● 読み取り可能領域について

定形紙の用紙端2 mmの領域にある文字または画像は、読み取ることができません。



自動原稿送り装置 (ADF) にセットする



自動原稿送り装置 (ADF) のカバーの上で原稿を揃えないでください。
ADF給紙ローラーが降下して、原稿をセットしにくくなる場合があります。

1 自動原稿送り装置カバーを開きます。



2 ADF給紙ローラーを自動原稿送り装置カバーに押し込みます。



3 自動原稿送り装置カバーを閉じます。**4** 原稿を表にして自動原稿送り装置にセットします。

〔原稿の画像向き〕が横の場合、原稿の上部が上になるようセットします。



〔原稿の画像向き〕が縦の場合、原稿の上部が左になるようセットします。

**5** 原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

- 原稿を自動原稿送り装置から送ったときに給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。
- サイズに関係なく、セットできる原稿は50枚（80g/m²）または原稿積載高さ5mmまでです。
- カールしている原稿を自動原稿送り装置にセットするときは、原稿の幅に合わせて原稿ガイドの位置を調節してください。



原稿ガラスにセットする

- 1 原稿ガラスカバーを開きます。
- 2 原稿を裏にして、原稿ガラスにセットします。
[原稿の画像向き] が横の場合、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



[原稿の画像向き] が縦の場合、原稿の右端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスを強く押さないでください。



- 3 原稿ガラスカバーを静かに閉じます。



原稿ガラスカバーを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。

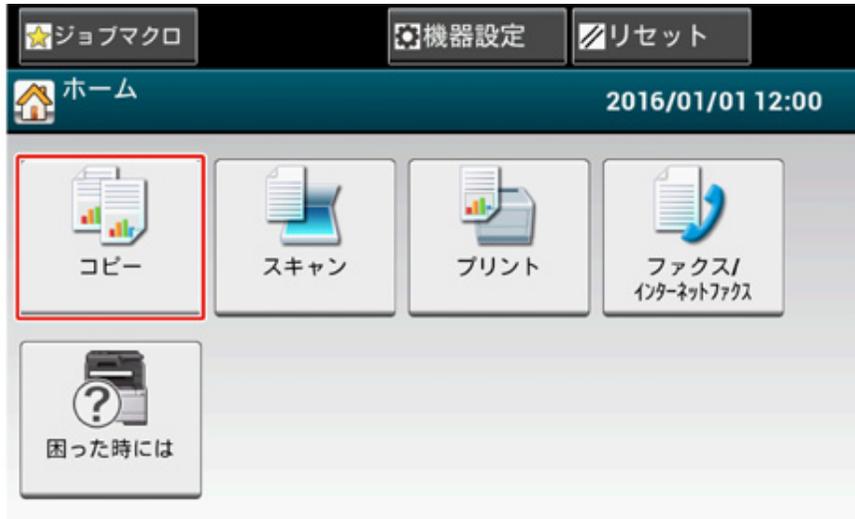
4

コピー

- コピーする
- コピーを中止する
- コピー部数を指定する
- コピー画面の説明

コピーする

- 1 タッチパネルの「コピー」または操作パネルの  (コピー) を押します。
コピートップ画面が表示されます。



- 2 原稿を自動原稿送り装置、または原稿ガラスにセットします。

- 3 必要に応じて、コピー設定を変更します。

-  便利な機能 (活用マニュアル)
-  仕上がりを美しく (活用マニュアル)
-  色の設定 (活用マニュアル)

高度なコピー (活用マニュアル)



- 4  (スタート) を押します。

コピーを中止する

コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、コピーを中止できます。

- 1 原稿読み取り中に、操作パネルの  (ストップ) を押します。



コピー部数を指定する

- 1 タッチパネルの [コピー] または操作パネルの  (コピー) を押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置、または原稿ガラスにセットします。
- 3 テンキーで部数を入力します。



- コピー部数は、1～999部まで入力できます。
- 間違えて入力したときは、 (クリア) を押して入力しなおします。

- 4  (スタート) を押します。



-  ページ順に1部ずつ仕分けてコピーする (ソート) (活用マニュアル)

コピー画面の説明

- コピー画面に表示される項目と機能

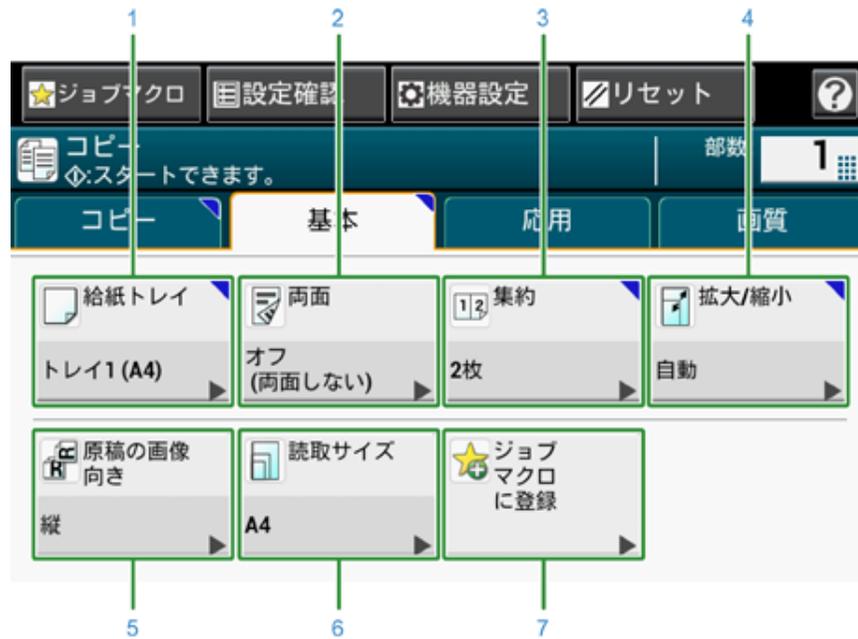
コピー画面に表示される項目と機能

- 【コピー】タブ



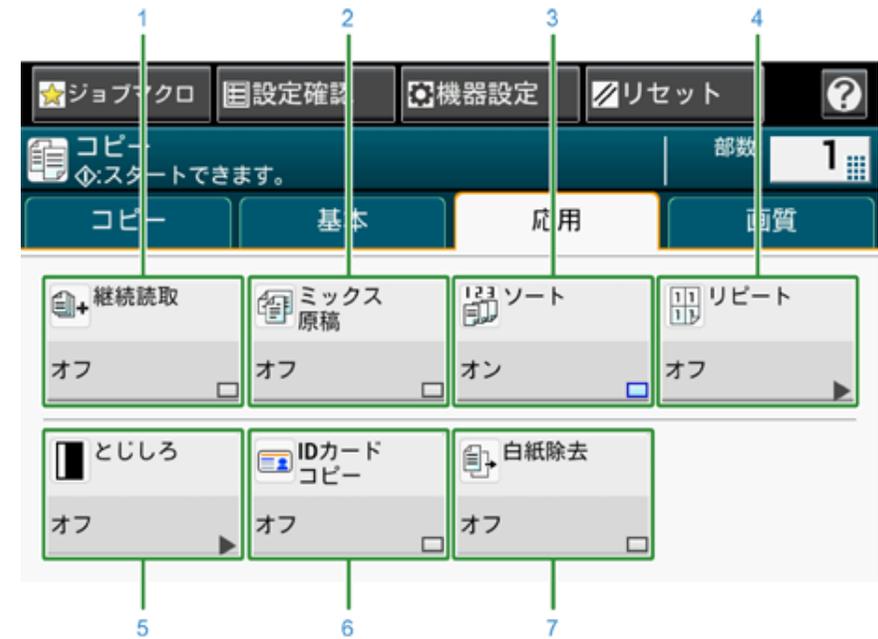
	項目	説明
1	固定ボタンエリア	常に画面にあるボタンを表示します。
2	タイトル、操作ガイドエリア	現在の画面のタイトルや、可能な操作のガイドを表示します。
3	タブ	タブのラベルを表示します。タブを切り替えるにはラベル部分を押しします。
4	メインエリア	現在の設定によるコピー出力のプレビューを表示します。
5	ショートカットボタン	コピー機能使用時のショートカットボタンを表示します。画面のイメージ部分は初期値を表示します。画面に表示するショートカットボタンは、お好みに応じて変更することができます。タッチパネルのカスタマイズ（活用マニュアル）を参照してください。
6	設定確認	現在の設定を表示します。 ある一定の機能について設定の変更が可能です。
7	機器設定	管理者設定などのいろいろな設定が可能です。
8	リセット	現在のジョブを初期値の設定にすることができます。
9		ヘルプの項目を表示します。
10	部数	コピーする部数を設定することができます。

● [基本] タブ



項目	説明
1 給紙トレイ	用紙を給紙するトレイを設定することができます。
2 両面	両面コピーをすることができます。
3 集約	複数の原稿を1枚の用紙におさめてコピーすることができます。
4 拡大/縮小	原稿を拡大/縮小してコピーすることができます。
5 原稿の画像向き	原稿の向きを指定してコピーすることができます。
6 読取サイズ	原稿を読み取るサイズを指定してコピーすることができます。
7 ジョブマクロに登録	現在の設定をジョブマクロとして登録することができます。

● [応用] タブ



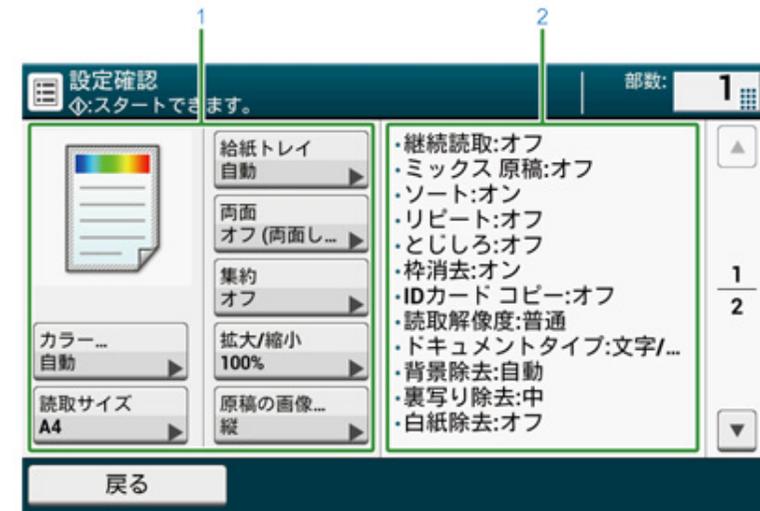
項目	説明
1 継続読取	複数の原稿を読み取り、1つのジョブとしてコピーすることができます。
2 ミックス原稿	同じ幅で長さが異なる複数の原稿を自動原稿送り装置で読み取り、それぞれのサイズの用紙にコピーすることができます。
3 ソート	複数の原稿をページ順に1部ずつ仕分けてコピーをすることができます。
4 リピート	同じ原稿を1枚の用紙に繰り返し(2回/4回/8回)コピーすることができます。
5 とじしろ	上側、下側、右側、左側にとじしろを設定できます。
6 IDカードコピー	IDカード(免許証など)の両面を1枚の用紙の片面にコピーすることができます。
7 白紙除去	白紙ページを除いてコピーします。

● [画質] タブ



	項目	説明
1	画質	ドキュメントタイプ、背景除去、裏写り除去、濃度、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整で画質を設定できます。
2	カラーモード	コピー時のカラーモードを設定します。
3	枠消去	本などをスキャンしたときに原稿の周囲にできる黒い影を消します。
4	読取解像度	スキャンするときの解像度を指定します。
5	ウォーターマーク	文字を重ねてコピーします。

● [設定確認] 画面



	項目	説明
1	設定表示エリア1	表示された項目の現在の設定を表示します。
2	設定表示エリア2	設定表示エリア1に表示された以外の項目の設定を表示します。

5

スキャン

- スキャンしたデータをメールで送る
- スキャンしたデータを共有フォルダーに保存する
- スキャンを中止する
- スキャン画面の説明

スキャンしたデータをメールで送る

ここでは、スキャンしたデータをメールで送る方法について説明します。

- スキャン To メールの準備
- Eメールアドレスを入力して送る

スキャン To メールの準備

本機を設置するときに、「簡単設定」>「Eメールの基本設定」で情報を設定している場合は、スキャン To メールへの準備は必要ありません。情報を設定していない場合は、以下の手順で設定します。

- 1 「設定情報を確認する」で、Eメールに関する設定を確認します。
- 2 タッチパネルの「機器設定」を押します。
- 3 「簡単設定」を押します。
- 4 管理者名と管理者パスワードを入力し、「OK」を押します。



工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「9999999」が登録されています。本機を設置したときに管理者パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

- 5 「次の項目へ>>」を数回押し、「Eメールの基本設定」を表示します。
- 6 「次へ」を押します。
- 7 画面に従って、手順1で確認した情報を入力します。



 Eメールの設定（活用マニュアル）

Eメールアドレスを入力して送る

- 1 タッチパネルの [スキャン] または操作パネルの  (スキャン) を押します。
- 2 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットします。
- 3 [スキャン To メール] を押します。



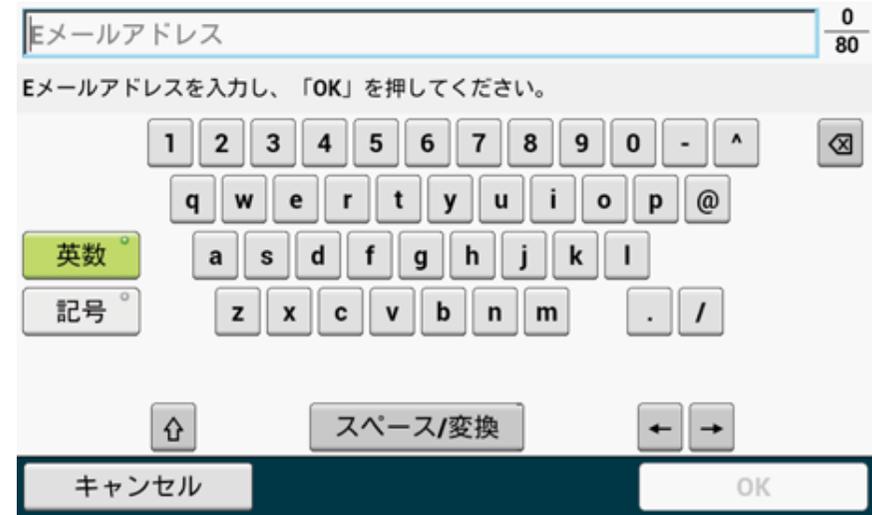
アクセス制限が有効で、かつログインしたユーザーのEメールアドレスが登録されている場合、ログインしたユーザーのEメールアドレスが [To] に自動的に設定されます。

- 4 [スキャン To メール] タブが選択されていることを確認します。
[Cc] や [Bcc] を選択するには、[To] を何回か押してください。

- 5 [直接入力] を押します。



- 6 Eメールアドレスを入力します。
最大80文字まで入力できます。



7 必要に応じて、読み込み設定を変更します。



8 [OK] を押します。

9 (スタート) を押します。



-  アドレスブック／グループリストから宛先を選択して送る（活用マニュアル）
-  ワンタッチボタンから選択して送る（活用マニュアル）
-  LDAPサーバーから検索して送る（活用マニュアル）

スキャンしたデータを共有フォルダーに保存する

ここでは、スキャンしたデータをネットワーク上の共有フォルダーに保存する方法について説明します。

- パソコンに共有フォルダーを作成する
- 宛先（プロファイル）を登録する
- 共有フォルダーに保存する

パソコンに共有フォルダーを作成する



以下の方法で共有フォルダーを作成すると、お使いのパソコン内で設定されているユーザーアカウント全員が、このフォルダーへアクセス可能になります。

セキュリティ上、問題がある場合は、沖データホームページ（<http://www.oki.com/jp/printing/>）のよくあるご質問（FAQ）に掲載している手順で共有フォルダーを作成してください。

スキャンしたデータを格納するためのフォルダーをパソコン上に作成します。

1 Windowsの【スタート】をクリックします。【コンピューター】を右クリックし、【プロパティ】を開きます。

2 【コンピューター名】を確認します。



スキャン To 共有フォルダーの宛先となるパソコンのコンピューター名は、半角英数字をお使いください。日本語を含むコンピューター名の場合、スキャン To 共有フォルダーを実行するとエラーになります。

コンピューター名は、宛先（プロファイル）を登録するときに必要なになりますので、メモしておきます。

3 画面を閉じます。

4 コンピューター上に、スキャンしたデータを格納したいフォルダーを作成します。

5 作成したフォルダーを選択し、右クリックで【プロパティ】を開きます。

6 【共有】タブをクリックし、【詳細な共有】をクリックします。

7 【このフォルダーを共有する】にチェックを付け、【アクセス許可】をクリックします。

8 【Everyoneのアクセス許可】の【変更】で【許可】をチェックし、【OK】をクリックします。

9 【OK】をクリックし、画面を閉じます。

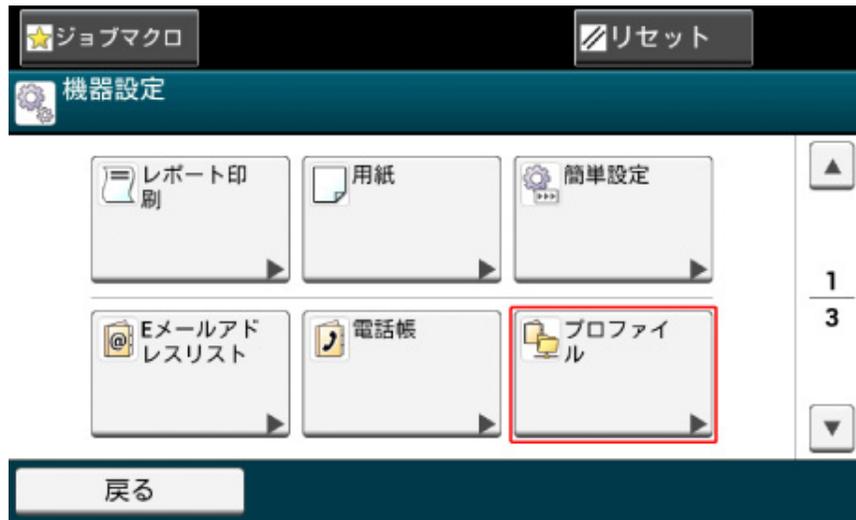
宛先（プロファイル）を登録する

作成した共有フォルダーを宛先として本機に登録します。

最大50件のプロファイルに登録できます。

1 タッチパネルの【機器設定】を押します。

2 【プロファイル】を押します。



3 登録したいプロファイル番号の【登録】を押します。

4 プロファイル名を入力し、【次へ】を押します。

5 プロトコルを選択し、【次へ】を押します。

6 送信先のパソコン名および共有フォルダー名の値を「\\送信先のコンピューター名\共有フォルダー名」の形式で入力します。

例：\\PC1\share



- ネットワークにDNSサーバーがない場合、パソコン名（送信先のコンピューター名）ではパソコンを指定できません。この場合は、パソコンのIPアドレスを使用して設定します。

例：\\192.168.0.3\share

7 【次へ】を押します。

8 共有フォルダーにアクセス権を設定している場合は、【ユーザー名】、【パスワード】を入力します。



- ドメイン管理が行われている場合は、「ユーザー名@ドメイン名」を入力します。
- ドメイン管理が行われている場合で、「ユーザー名@ドメイン名」を入力しても接続できない場合は、「@ドメイン名」を削除してください。
- さらに、本機のWebページにアクセスし、【管理者設定】 > 【ネットワーク管理】を選択して、【NBT】の【ワークグループ名】にNetBIOS ドメイン名を設定してください。
 - ドメイン名に関してはネットワーク管理者に確認してください。

9 【閉じる】を押します。

10 必要に応じてそのほかの項目を設定します。

11 【OK】を押します。

共有フォルダーに保存する

スキャンしたデータは、PDF、JPEG、TIFF、XPSファイルに変換され、共有フォルダーに送られます。工場出荷時の設定はPDFです。

スキャン To 共有フォルダー機能を使用する前に、本機をネットワークに接続し、パソコン上に共有フォルダーを作成しておきます。

-  LANケーブル/USBケーブルを接続する
-  パソコンに共有フォルダーを作成する



次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。

- 1 タッチパネルの [スキャン] または 操作パネルの  (スキャン) を押します。
- 2 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットします。
- 3 [スキャン To 共有フォルダー] を押します。
- 4 [プロファイル選択] を押します。
プロファイルが表示されないときは、スキャン To 共有フォルダー設定を確認してください。
 パソコンに共有フォルダーを作成する
- 5 プロファイルを選択します。

スキャン画像をプレビュー表示するには、[応用] タブの [プレビュー] を押して [オン] にします。
- 6 必要に応じて、読み込み設定を変更します。
- 7  (スタート) を押します。

スキャンを中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、スキャンを中止できます。

- 1 操作パネルの  (ストップ) を押します。



スキャン画面の説明

ここでは、スキャン画面について説明します。

- スキャン To メール画面
- スキャン To 共有フォルダー画面

スキャン To メール画面

- 【スキャン To メール】 タブ



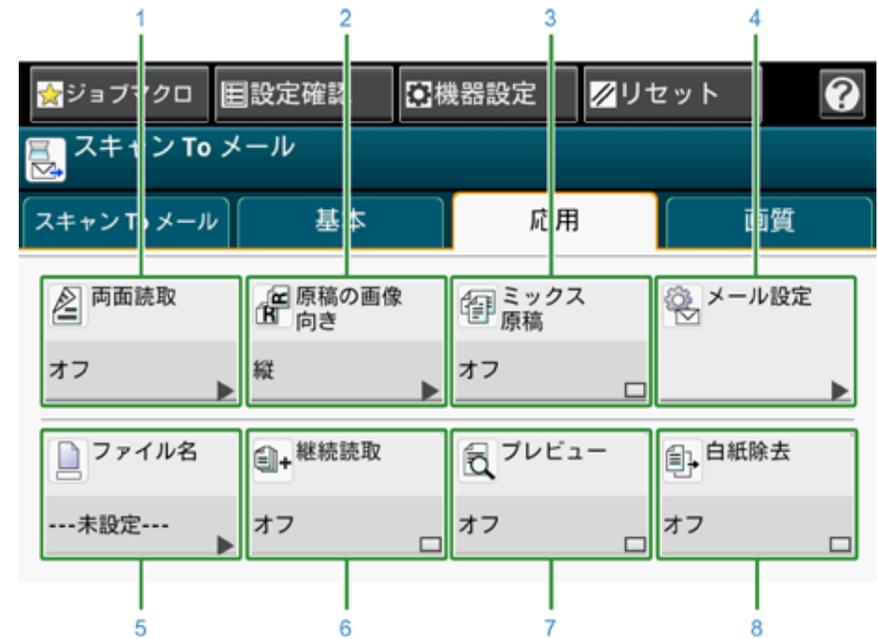
	項目	説明
1	宛先エリア	Eメールの送信先を選択します。選択されたEメールアドレスが表示されます。1つ以上の宛先が設定されているときは、[全て表示] を押して宛先の編集、追加や削除ができます。
2	ショートカットボタン	スキャン機能を使うためのショートカットボタンが表示されます。画面は工場出荷時の設定です。画面に表示するショートカットボタンは、お好みに応じて変更することができます。“タッチパネルのカスタマイズ（活用マニュアル）”を参照してください。
3	ワンタッチボタン	ワンタッチボタンに割り当てられた宛先を表示します。ボタンを押すと宛先を追加できます。
4	設定確認	現在の設定が表示されます。機能によっては設定の変更ができます。

● [基本] タブ



項目	説明
1	アドレスブック アドレスブックに登録されたEメールアドレスが表示されます。 アドレスブックから宛先のEメールアドレスを選択します。
2	宛先グループリスト Eメールアドレスが登録されたグループの一覧が表示されます。 グループの一覧から、送信するグループを選択します。
3	送信履歴 送信履歴が表示されます。 送信履歴から宛先を選択します。
4	直接入力 Eメールアドレスを直接入力して宛先として利用します。
5	LDAP LDAPサーバーからEメールアドレスを検索して、宛先として利用します。 単純検索と詳細検索の2通りの検索方法があります。
6	カラーモード 原稿読み取り時のカラーモードを設定します。
7	読取サイズ 原稿を読み取るサイズを指定してスキャンすることができます。
8	ジョブマクロに登録 現在の設定をジョブマクロに登録します。
9	 ヘルプの項目を表示します。

● [応用] タブ



項目	説明
1	両面読取 両面読み取りを設定します。 原稿の表裏両面を読み取る時に設定します。
2	原稿の画像向き スキャンする画像の向きを指定します。
3	ミックス原稿 サイズが異なる原稿をスキャンします。
4	メール設定 Eメールアドレスを返信先として指定します。 受信者が受信したEメールに返信するときに、ここで指定したEメールアドレスに送られます。 Eメールの件名を指定します。 Eメールの本文を指定します。
5	ファイル名 読み取ったファイルのファイル名を指定します。 指定しないときは、工場出荷時の設定の名前が使用されます。
6	継続読取 複数の原稿を一つのジョブとして読み取ります。
7	プレビュー スキャン画像のプレビュー表示を指定します。
8	白紙除去 白紙ページを除いてスキャンします。

● [画質] タブ



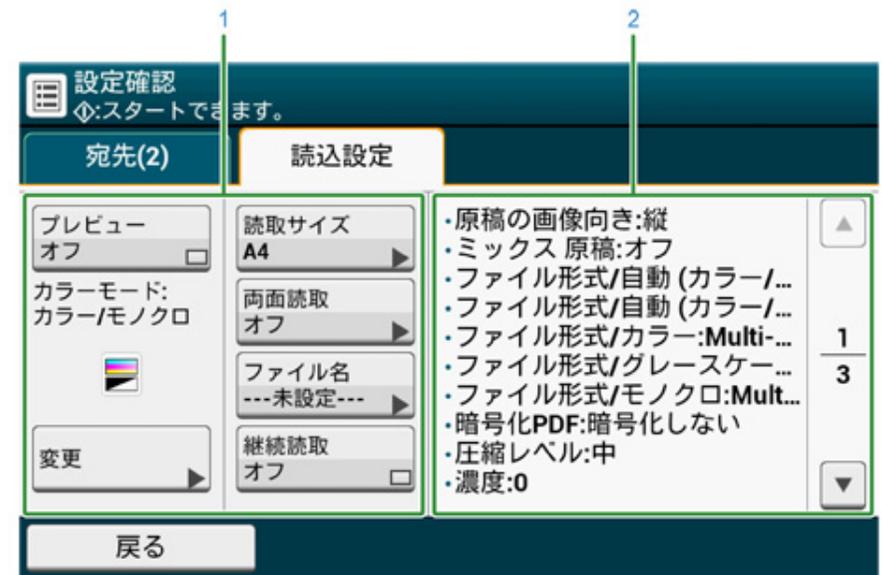
項目	説明
1	画質 画質濃度、ドキュメントタイプ、背景除去、裏写り除去、解像度、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整で画質を設定できます。
2	ファイル形式 スキャンデータのファイル形式を指定します。
3	暗号化PDF スキャンデータを暗号化（パスワード保護）します。ファイル形式がPDF、HC-PDFの時のみ有効です。
4	圧縮レベル スキャンデータの圧縮レベルを指定します。
5	枠消去 本などの原稿を読み取ったときに、周囲にできる黒い影を消します。

● [設定確認] > [宛先] タブ

文書を送付する宛先を追加、編集、削除できます。



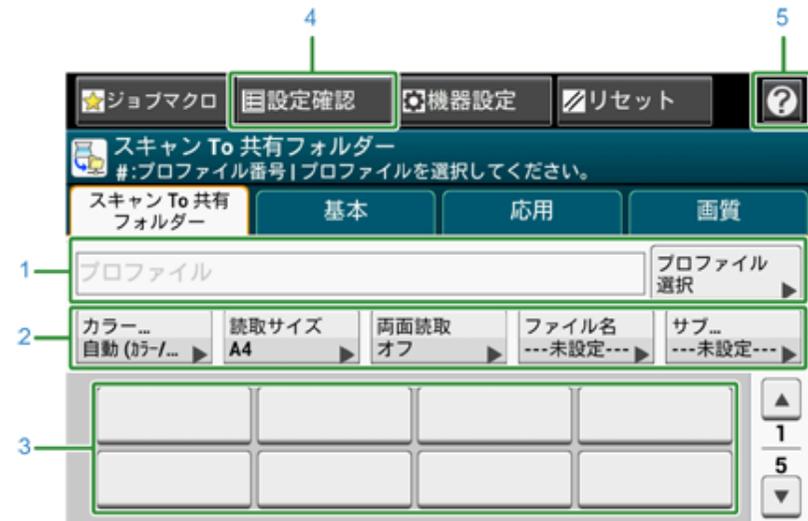
● [設定確認] > [読込設定] タブ



	項目	説明
1	設定表示エリア1	項目と現在の設定が表示されます。
2	設定表示エリア2	設定表示エリア1に表示されない設定が、一覧表示されます。

スキャン To 共有フォルダー画面

●【スキャン To 共有フォルダー】タブ



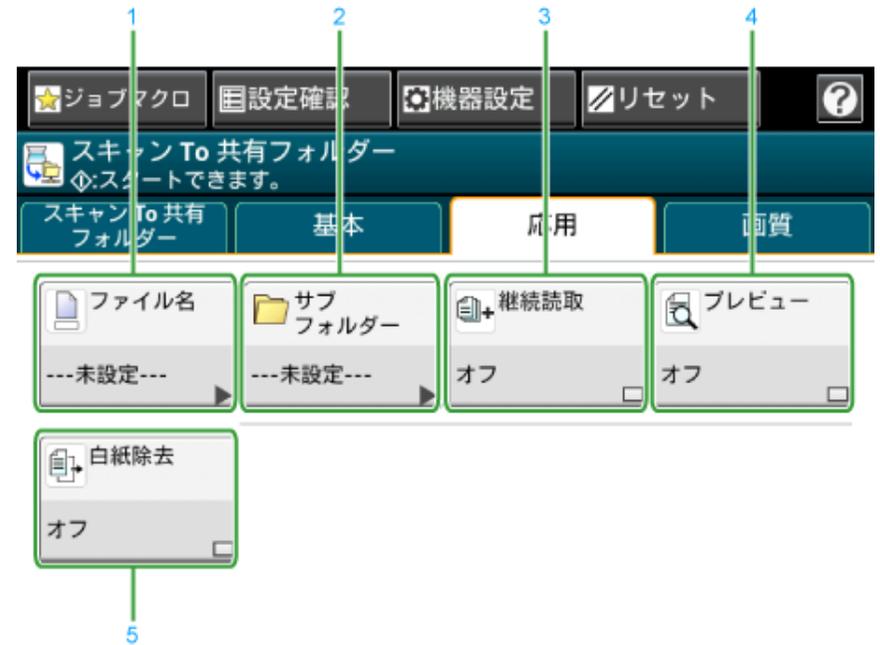
	項目	説明
1	プロファイルエリア	[プロファイル選択] から宛先プロファイルを選択します。選択したプロファイルはここに表示されます。
2	ショートカットボタン	スキャン機能を使うためのショートカットボタンが表示されます。画面は工場出荷時の設定です。設定は管理者設定から変更できます。
3	ワンタッチボタン	ワンタッチボタンに割り当てられた宛先を表示します。ボタンを押すと宛先を追加できます。
4	設定確認	現在の設定が表示されます。機能によっては設定の変更ができます。
5		ヘルプを表示します。

● [基本] タブ



項目	説明
1	カラーモード 原稿読み取り時のカラーモードを設定します。
2	読取サイズ 原稿の読み取りサイズを指定します。
3	両面読取 両面読み取りを設定します。 原稿の表裏両面を読み取るときに設定します。
4	原稿の画像向き スキャンする画像の向きを指定します。
5	ミックス原稿 サイズが異なる原稿をスキャンします。
6	ジョブマクロに登録 現在の設定をジョブマクロに登録します。

● [応用] タブ



項目	説明
1	ファイル名 読み取ったファイルのファイル名を指定します。 指定しないときは、工場出荷時の設定の名前が使用されます。
2	サブフォルダー スキャンした原稿を保存するサブフォルダーを指定します。 指定しないときは、スキャンデータはrootフォルダーに保存されます。
3	継続読取 複数の原稿を一つのジョブとして読み取ります。
4	プレビュー スキャン画像のプレビュー表示を指定します。
5	白紙除去 白紙ページを除いてスキャンします。

- [画質] タブ



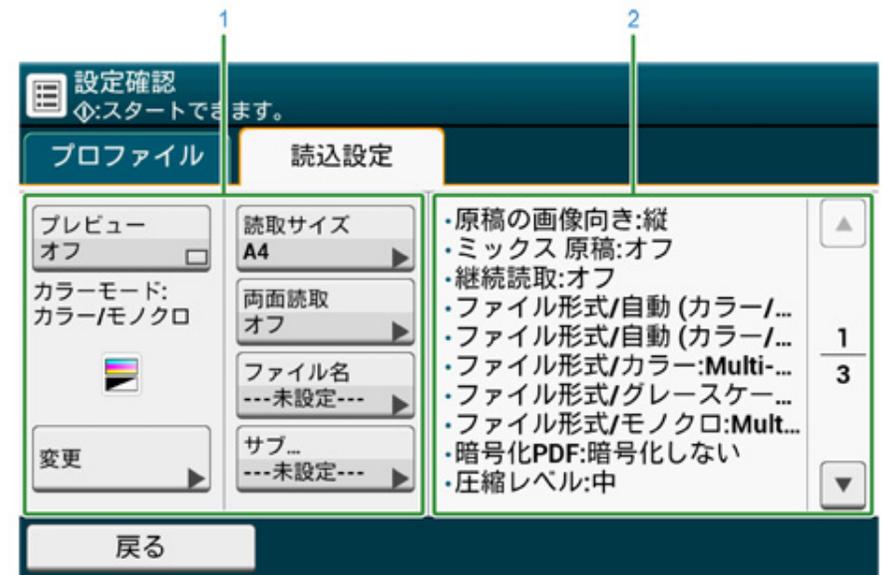
項目	説明
1 画質	濃度/ドキュメントタイプ/解像度/背景除去/裏写り除去/コントラスト/色合い/彩度/赤・緑・青色調整を設定します。
2 ファイル形式	スキャンデータのファイル形式を指定します。
3 暗号化PDF	スキャンデータを暗号化 (パスワード保護) します。ファイル形式がPDF、HC-PDFの時のみ有効です。
4 圧縮レベル	スキャンデータの圧縮レベルを指定します。
5 枠消去	本などの原稿を読み取ったときに、周囲にできる黒い影を消します。

- [設定確認] > [プロフィール] タブ

[プロフィール] タブから選択したプロフィールを削除します。



- [設定確認] > [読込設定] タブ



	項目	説明
1	設定表示エリア1	項目と現在の設定が表示されます。
2	設定表示エリア2	設定表示エリア1に表示されない設定が、一覧表示されます。

6

プリント

パソコンから印刷する (Windows)

パソコンから印刷する (Mac OS X)

印刷を中止する

プリンタードライバーの画面と機能

プリント画面に表示される項目と機能

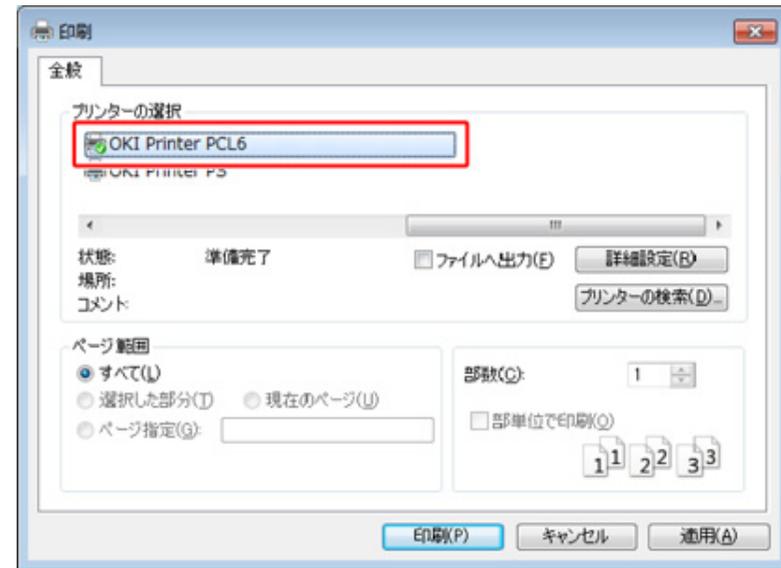
この章では、Windowsは [ワードパット]、Mac OS Xは [テキストエディット] を例に説明しています。アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。

パソコンから印刷する (Windows)

- Windows用PCLプリンタードライバーをお使いの方
- Windows用PSプリンタードライバーをお使いの方

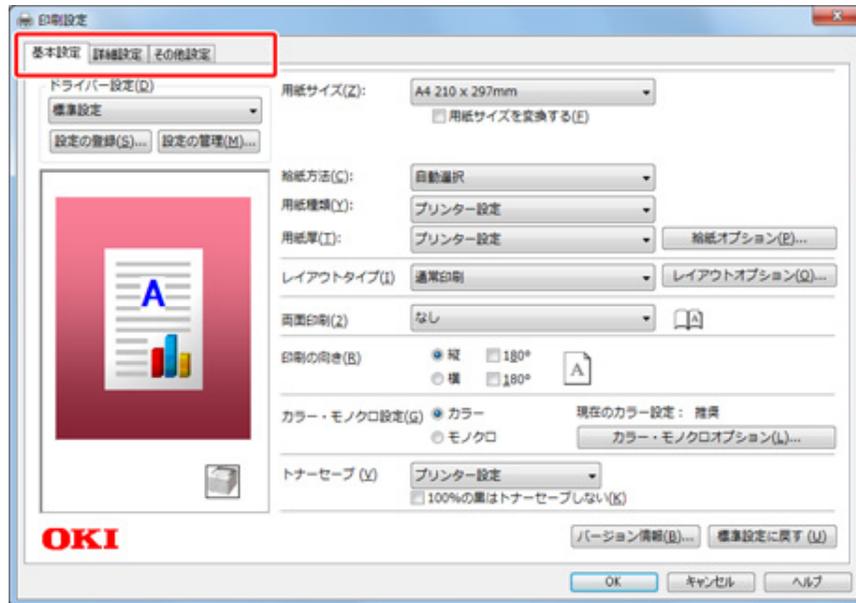
Windows用PCLプリンタードライバーをお使いの方

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 プリンタードライバーを選択します。



- 4 [詳細設定] をクリックします。

5 それぞれのタブで、お好みの印刷結果になるように、設定を変更します。

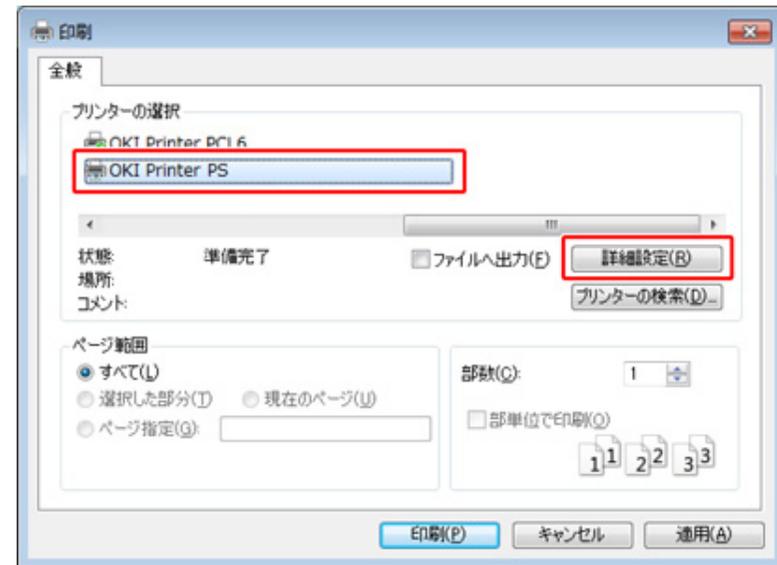


6 [OK] をクリックします。

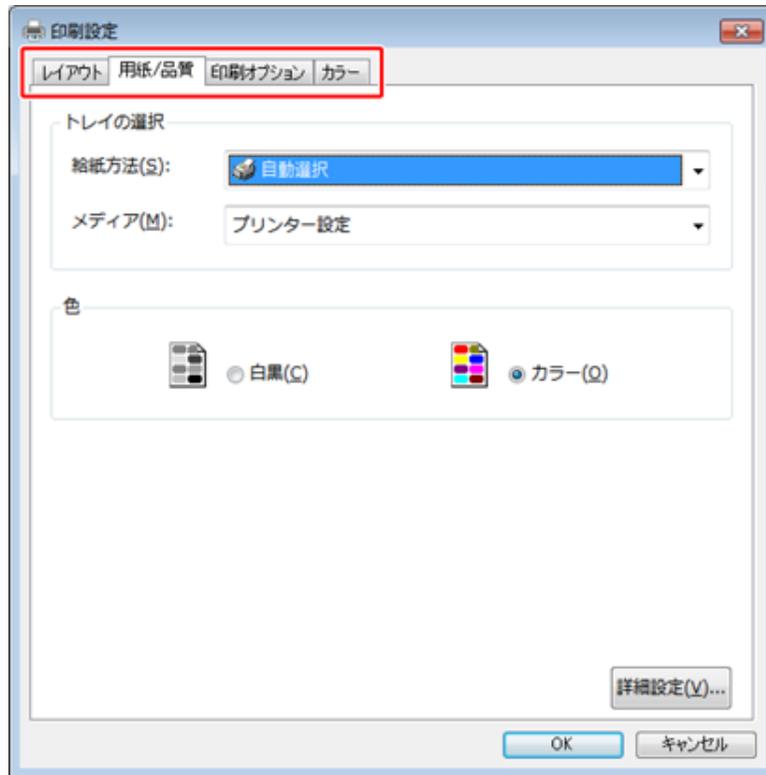
7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

Windows用PSプリンタードライバーをお使いの方

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 PSプリンタードライバーを選択します。
- 4 [詳細設定] をクリックします。



5 それぞれのタブで、お好みの印刷結果になるように、設定を変更します。



6 [OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

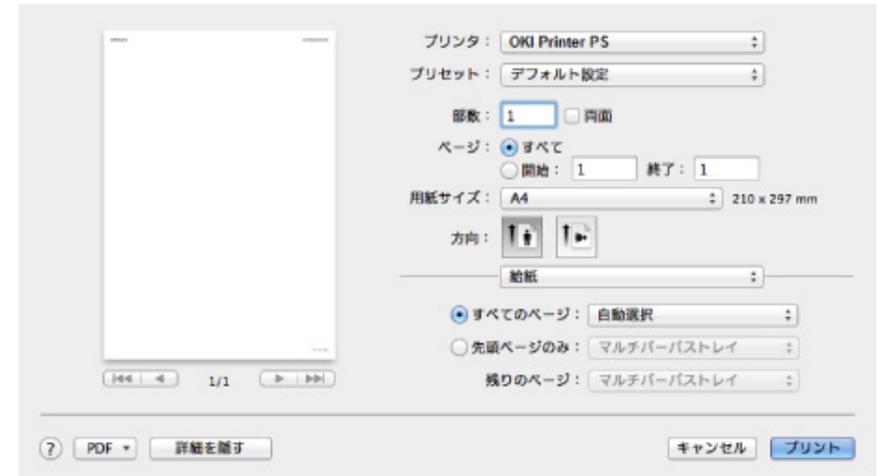
パソコンから印刷する (Mac OS X)

- Mac OS Xをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方

プリンタードライバーを使用して、用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚、用紙種類を設定できます。

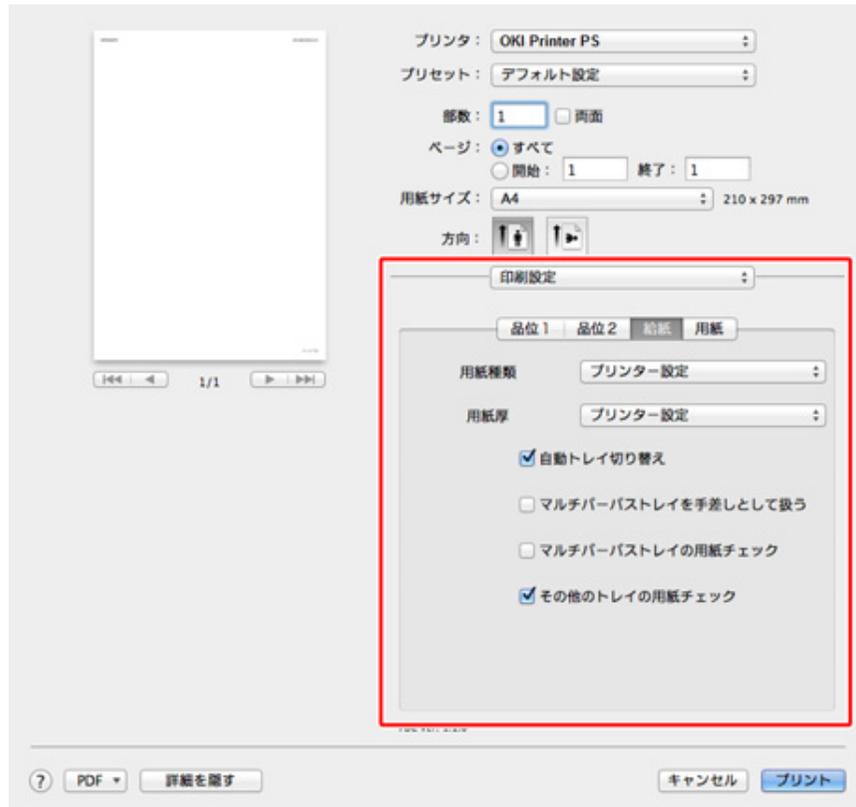
- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。



- 3 [プリンタ] で、本機を選択します。
- 4 [用紙サイズ] で用紙サイズを選択します。
- 5 それぞれのパネルで、お好みの印刷結果になるように、設定を変更します。



Mac OS X 10.8.5 ~ 10.11で、[プリント] ダイアログに詳細設定が表示されないときには、ダイアログ画面下部の [詳細を表示] をクリックしてください。



6 [プリント] をクリックします。

印刷を中止する

印刷中のジョブの印刷を中止するには、操作パネルの  (ストップ) を押します。

印刷待ちのジョブをキャンセルするには、タッチパネルに表示されたジョブリストからジョブを削除します。以下の手順でジョブを削除すると、印刷をキャンセルできます。



- 本機で印刷準備が完了したページは、キャンセルできません。
- タッチパネルに印刷中が長時間表示されている場合は、パソコンからジョブを削除してください。

- 1 操作パネルの  (ステータス) を押します。
- 2 [機器ステータス・ジョブステータス] タブを押します。
- 3 [ジョブリスト] を押します。
- 4 削除したいジョブを選択して、[削除] を押します。
- 5 確認画面で [はい] を押します。

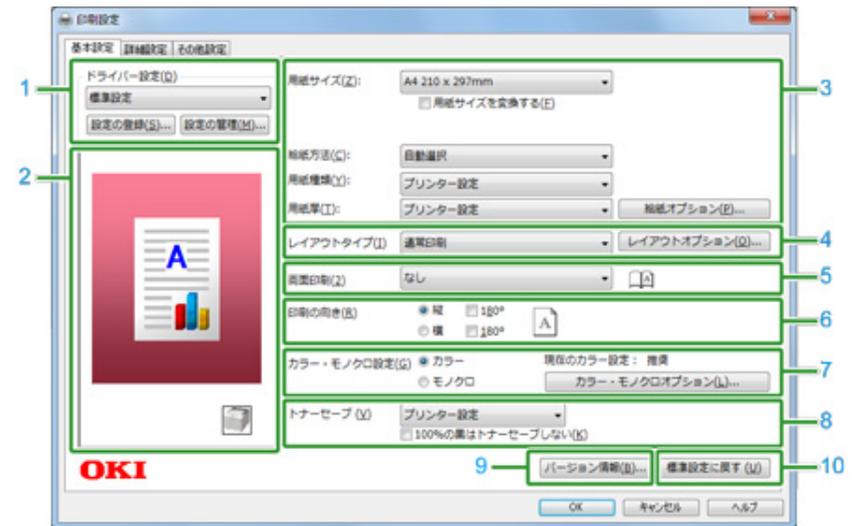
プリンタードライバーの画面と機能

ここでは、プリンタードライバーの画面と機能について説明します。

- Windows用PCLプリンタードライバー
- Windows用PSプリンタードライバー
- Mac OS X用PSプリンタードライバー

Windows用PCLプリンタードライバー

• [基本設定] タブ



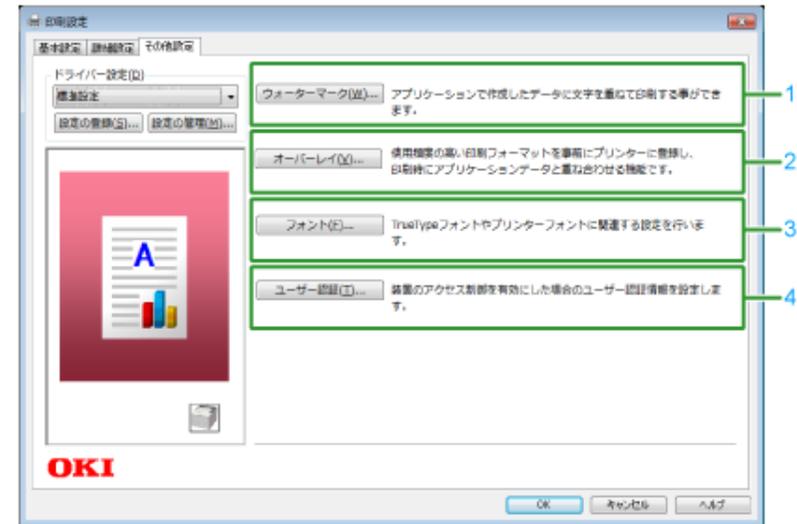
項目	説明
1	ドライバー設定 設定を保存します。
2	レイアウトイメージ 印刷レイアウトのサンプルイメージを表示します。
3	メディア 用紙サイズ、種類、紙厚、給紙方法などを設定します。
4	レイアウトタイプ 複数ページ印刷、製本印刷、ポスター印刷などを設定します。
5	両面印刷 両面印刷時の設定をします。
6	印刷の向き 印刷の向きを設定します。
7	カラー・モノクロ設定 カラー印刷とモノクロ印刷を切り替えます。
8	トナーセーブ トナーの使用量を抑えるために、印刷濃度を薄くします。
9	バージョン情報 プリンタードライバーのバージョンを表示します。
10	標準設定に戻す タブの設定を初期値に戻します。

● [詳細設定] タブ



項目	説明
1 印刷品位	印刷の解像度を指定します。
2 拡大・縮小	印刷の拡大／縮小を設定します。
3 部数	印刷部数を指定します。
4 印刷形式	印刷の種類を設定します。
5 その他特殊設定	その他の印刷設定をします。
6 標準設定に戻す	タブ内の各項目の設定値を初期値に戻します。

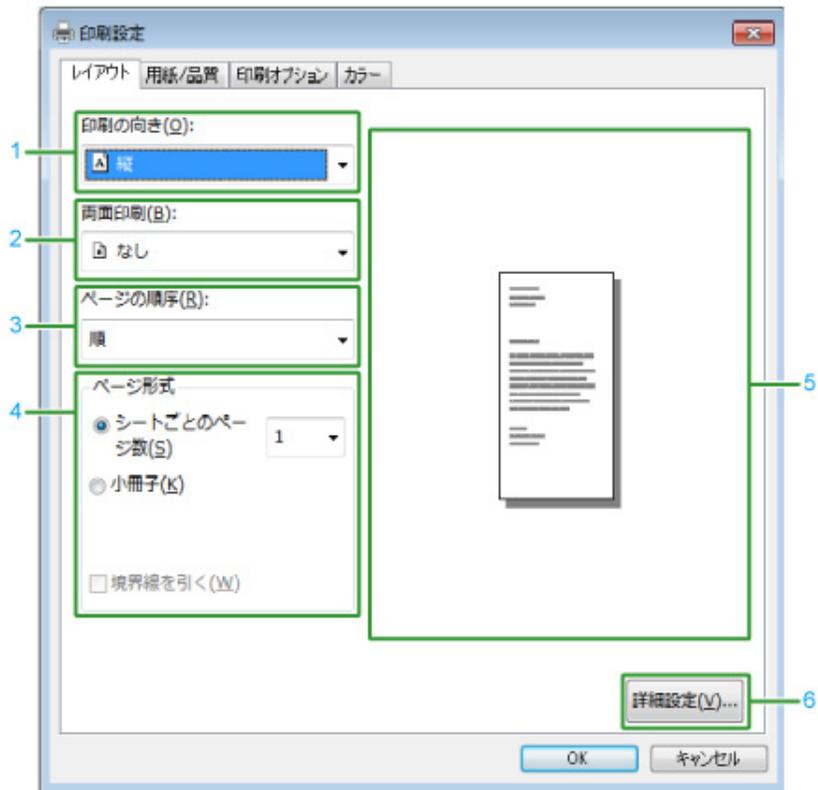
● [その他設定] タブ



項目	説明
1 ウォーターマーク	透かし文字やスタンプを付けて印刷する場合に設定します。
2 オーバーレイ	印刷フォーマットを事前にプリンターに登録し、重ね合わせて印刷する場合に設定します。
3 フォント	TrueType フォントとプリンターフォントを設定します。
4 ユーザー認証	ユーザー認証を設定します。

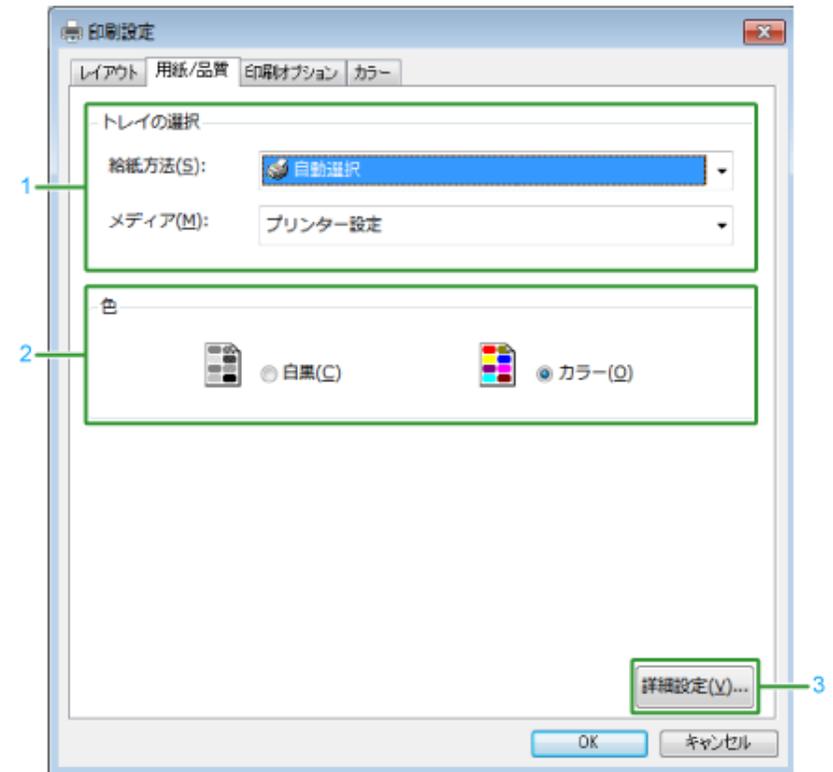
Windows用PSプリンタードライバー

• [レイアウト] タブ



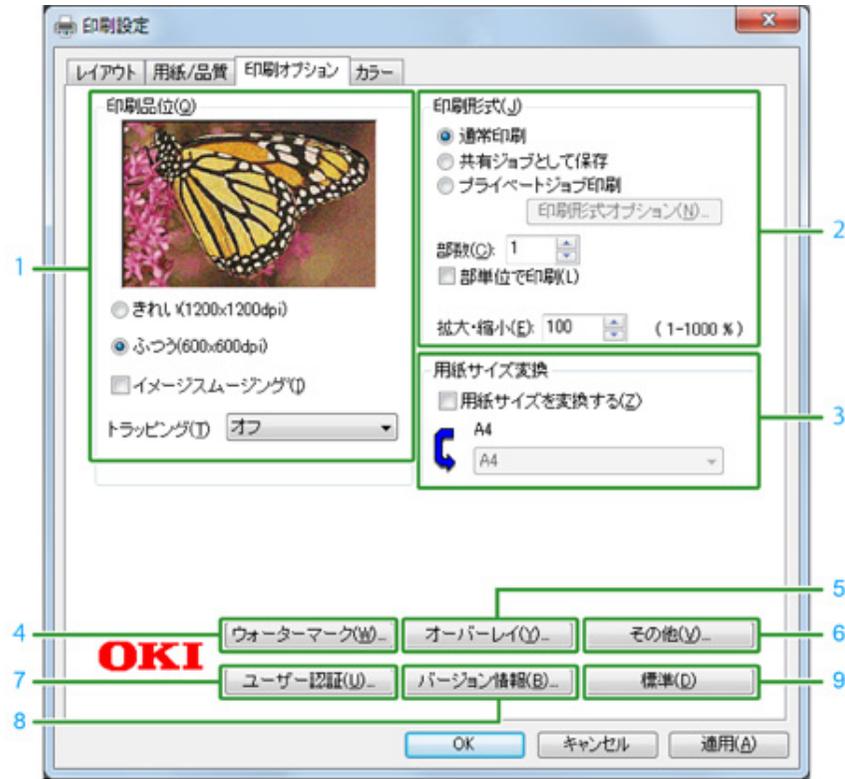
	項目	説明
1	印刷の向き	印刷の向きを設定します。
2	両面印刷	両面印刷をする場合に設定します。
3	ページの順序	印刷するページの順番を設定します。
4	ページ形式	1枚の用紙に印刷するページ数と小冊子印刷を指定します。
5	レイアウトイメージ	印刷レイアウトのサンプライメージを表示します。
6	詳細設定	印刷品質や用紙サイズなどの詳細な設定ができます。

• [用紙/品質] タブ



	項目	説明
1	トレイの選択	給紙トレイを変更します。
2	色	カラー/モノクロ印刷を選択します。
3	詳細設定	印刷品質や用紙サイズなどの詳細な設定ができます。

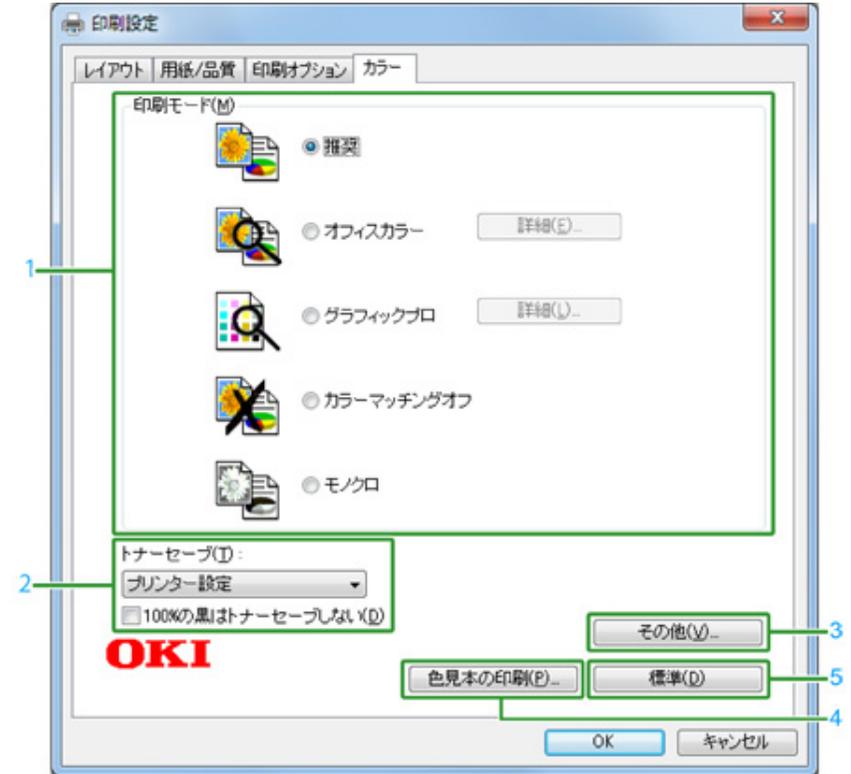
●【印刷オプション】 タブ



項目	説明
1	印刷品位 印刷の解像度を指定します。[トナーセーブ] を設定していると、トナーの消費を抑えるために印刷濃度が薄くなります。
2	印刷形式 ジョブの種類や印刷部数を設定します。[プライベートジョブ印刷] や [共有ジョブとして保存] が設定されているときは、[印刷形式オプション] が利用できます。[部単位で印刷] にチェックを付けると、複数の文書がひとまとまりで印刷されます。
3	用紙サイズ変換 [用紙サイズを交換する] にチェックを付けると、原稿とは異なるサイズの用紙に印刷されます。
4	ウォーターマーク 透かし文字やスタンプを付けて印刷する場合に設定します。
5	オーバーレイ 事前にプリンターに登録した印刷フォーマットを、重ね合わせて印刷をする場合に設定します。
6	その他 その他の設定ができます。
7	ユーザー認証 ユーザー認証を設定します。
8	バージョン情報 プリンタードライバーのバージョンを表示します。

項目	説明
9	標準 タブの設定を初期値に戻します。

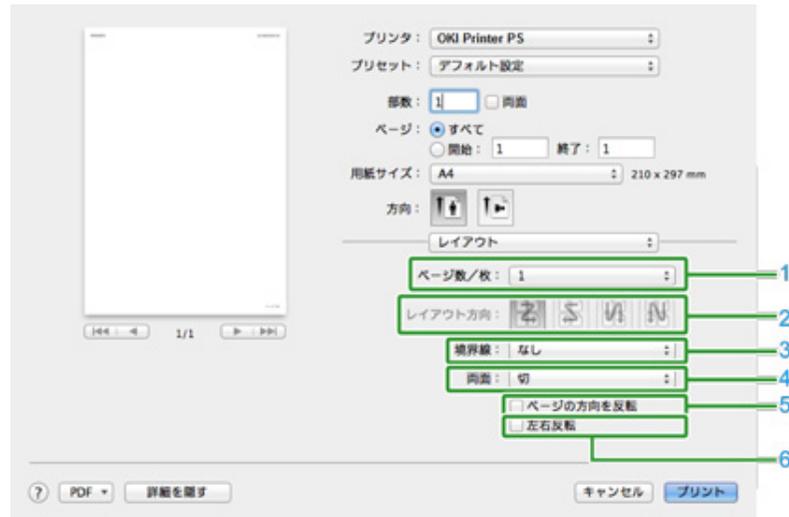
●【カラー】 タブ



項目	説明
1	印刷モード カラー印刷に関する色の調整などを指定します。
2	トナーセーブ トナーを節約して印刷します。
3	その他 その他の印刷設定ができます。
4	色見本の印刷 色見本印刷ユーティリティを起動します。
5	標準 タブ内の設定を初期値に戻します。

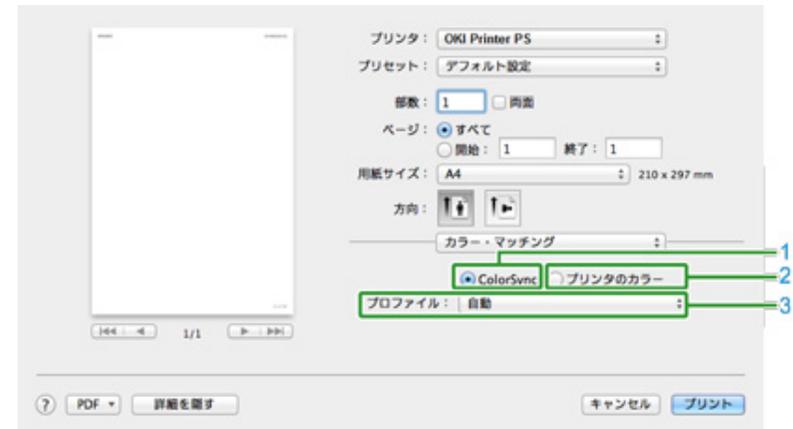
Mac OS X用PSプリンタードライバー

● [レイアウト] パネル



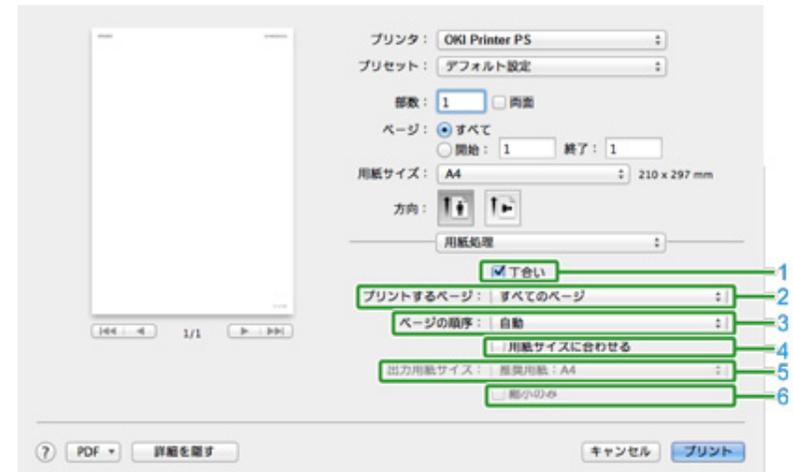
項目	説明	
1	ページ数/枚	1枚の紙に印刷するページ数を選択します。
2	レイアウト方向	1枚の紙に複数ページを印刷するときのレイアウトを指定します。
3	境界線	境界線の種類を指定します。
4	両面	両面印刷するときに指定します。
5	ページの方向を反転	ページの方向を反転して印刷するときにチェックします。
6	左右反転	左右を反転して印刷するときにチェックします。

● [カラー・マッチング] パネル



項目	説明	
1	ColorSync	ColorSync機能を指定します。
2	プリンタのカラー	本機でカラーマッチングを使用します。
3	プロファイル	プロファイルを指定します。

● [用紙処理] パネル



項目	説明
1 丁合い	チェックを付けると、複数の文書を印刷する場合に文書を部単位で印刷します。
2 プリントするページ	印刷するページを指定します。
3 ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
4 用紙サイズに合わせる	用紙サイズに合わせて印刷します。設定によっては、正しく印刷されないことがあります。チェックを付けると、用紙サイズに合わせて、原稿を拡大／縮小して印刷します。
5 出力用紙サイズ	[用紙サイズに合わせる] にチェックを付けた場合に、印刷する用紙のサイズを指定します。
6 縮小のみ	用紙のサイズに合わせて縮小印刷だけを実行するときに指定します。

● [給紙] パネル



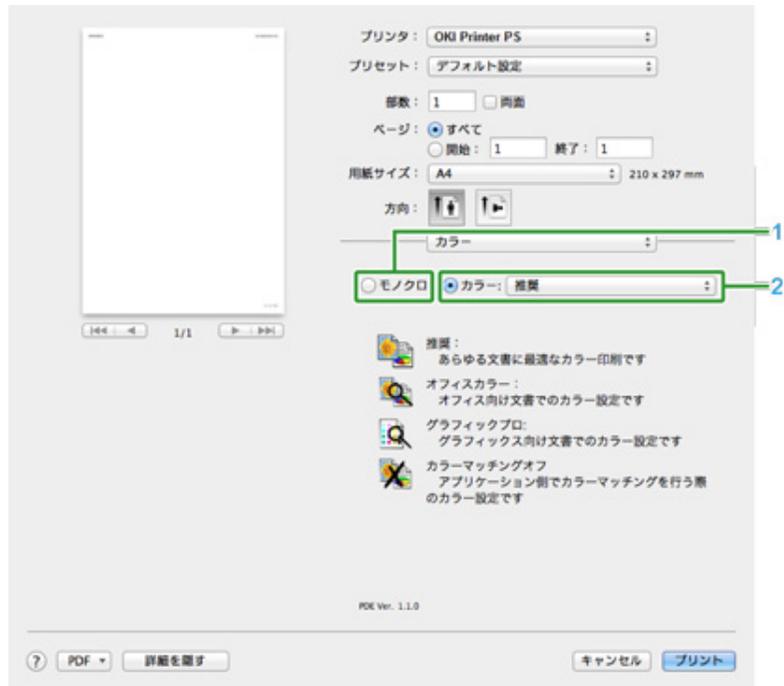
項目	説明
1 すべてのページ	給紙するトレイを指定します。[自動選択] を指定すると、自動でトレイを選択します。
2 先頭ページのみ	先頭ページだけを指定したトレイから印刷するときに選択します。
3 残りのページ	残りのページを指定したトレイから印刷するときに選択します。

● [表紙] パネル



項目	説明
1 表紙をプリント	表紙印刷を指定します。
2 表紙のタイプ	表紙印刷するときの文字列を指定します。
3 課金情報	この機能は利用できません。

● [カラー] パネル



	項目	説明
1	モノクロ	モノクロで印刷します。
2	カラー	カラー印刷に関する色の調整などを指定します。

● [印刷設定] パネル



	項目	説明
1	品位 1、品位 2、給紙、用紙	印刷品位、トナーセーブ、用紙種類などを指定します。

● [ユーザー認証] パネル

プリンタ: OKI Printer PS
 プリセット: デフォルト設定
 部数: 1 両面
 ページ: すべて
 開始: 1 終了: 1
 用紙サイズ: A4 210 x 297 mm
 方向:

ユーザー認証

ユーザー認証を使用する 1
 ユーザー名: 2
 パスワード: 3
 認証タイプ: プリンター設定 4

集計アカウント 5
 種類: 個人・グループ
 名前:

PDF 詳細を開く キャンセル プリント

項目	説明
1	ユーザー認証を使用する プリント時にユーザー認証を設定する場合はチェックを付けます。
2	ユーザー名 ユーザー認証のユーザー名です。
3	パスワード ユーザー認証のパスワードです。
4	認証タイプ 利用する認証タイプを指定します。
5	集計アカウント 集計アカウントの名前と種類を指定します。

● [認証印刷] パネル

プリンタ: OKI Printer PS
 プリセット: デフォルト設定
 部数: 1 両面
 ページ: すべて
 開始: 1 終了: 1
 用紙サイズ: A4 210 x 297 mm
 方向:

認証印刷

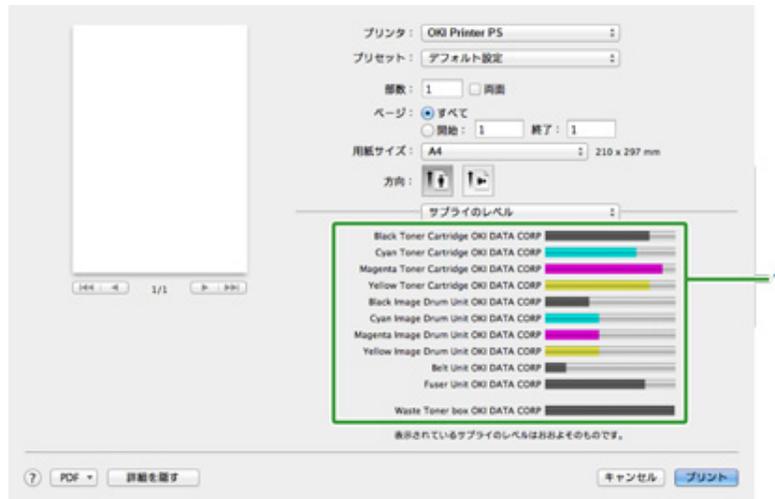
印刷形式 1
 通常印刷
 共有ジョブ印刷
 プライベートジョブ印刷

印刷形式オプション 2
 ジョブ名:
 ドキュメント名から自動生成する
 ジョブパスワード:

PDF 詳細を開く キャンセル プリント

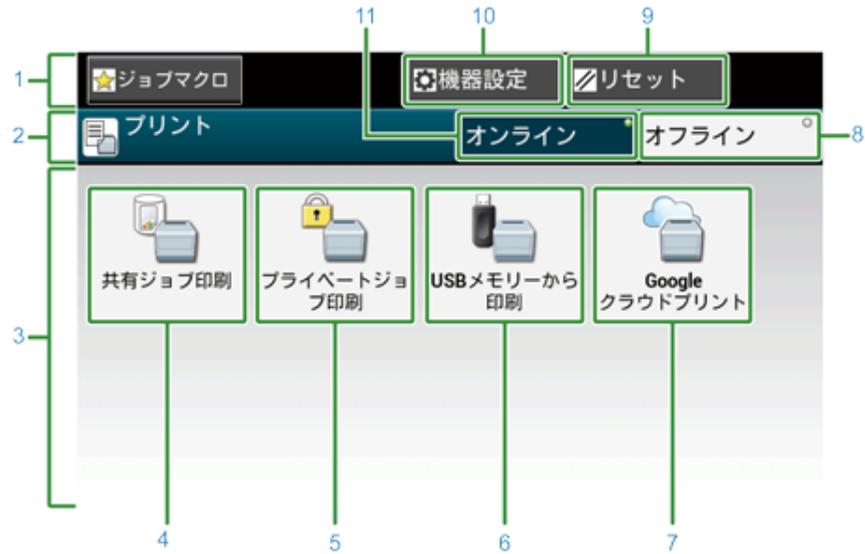
項目	説明
1	印刷形式 印刷ジョブの種類を指定します。[プライベートジョブ印刷] や [共有ジョブ印刷] が設定されているときは、[印刷形式オプション] が利用できます。
2	印刷形式オプション タッチパネルで表示されるジョブ名と印刷するためのパスワードを指定します。

• [サプライのレベル] パネル



	項目	説明
1	消耗品	消耗品の使用状況を表示します。

プリント画面に表示される項目と機能



項目	説明	
1	固定ボタンエリア	常に同じボタンが表示されます。
2	タイトル、操作ガイドエリア	現在開いている画面のタイトルや、操作ガイドが表示されます。
3	メインエリア	プリント機能使用時のショートカットボタンを表示します。
4	共有ジョブ印刷	本機に保存された共有文書を印刷します。
5	プライベートジョブ印刷	本機に保存されたプライベート文書を印刷します。
6	USBメモリーからの印刷	USBメモリーに保存されたデータを直接印刷します。
7	Googleクラウドプリント	Google Cloud Printから受信したデータを印刷します。
8	オフライン	本機をオフラインにします。
9	リセット	現在のプリントジョブに設定された内容を、初期値に戻します。
10	機器設定	管理者設定などのさまざまな設定を指定します。
11	オンライン	本機をオンラインにします。



項目	説明	
1	固定ボタンエリア	常に同じボタンが表示されます。
2	タイトル、操作ガイドエリア	現在開いている画面のタイトルや、操作ガイドが表示されます。
3	給紙トレイ	用紙をセットするトレイを設定することができます。
4	両面印刷	両面印刷をすることができます。
5	用紙に合わせる	選択した給紙トレイの用紙に合わせて印刷します。
6	カラーモード	カラーモードを設定します。
7	ジョブマクロに登録	現在の設定をジョブマクロとして登録することができます。
8	ファイル選択	印刷するファイルを選択します。
9	印刷部数	印刷する部数を設定します。
10	リセット	現在のプリントジョブに設定された内容を、初期値に戻します。
11	機器設定	管理者設定などのさまざまな設定を指定します。



7 ファクス

ファクスの基本操作

受信の設定

ファクス画面に表示される項目と機能

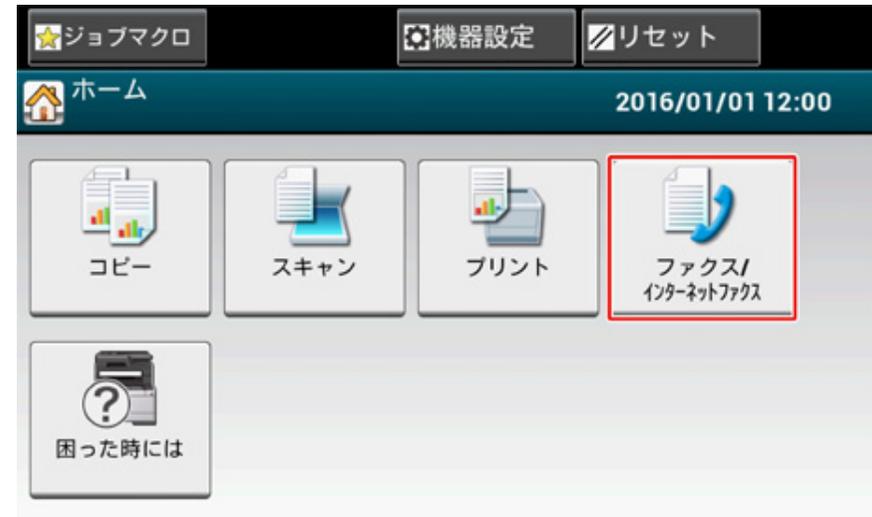
ファクスの基本操作

ここでは、ファクスを送受信するときの基本的な操作について説明します。

- ファクス番号を入力して送る
- ファクス送信を中止する

ファクス番号を入力して送る

- 1 タッチパネルの [ファクス/インターネットファクス] または操作パネルの  (ファクス) を押します。



- 2 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットします。

3 [ファクス] を押します。



4 [直接入力] を押します。

5 相手先のファクス番号を入力し、[OK] を押します。

6 必要に応じて、基本設定や応用設定を変更します。



- 工場出荷時は、下記の設定で送信します。
 [読取サイズ] : A4
 [解像度] : 標準
 [濃度] : 0
- 初期設定はタッチパネルの [機器設定] > [管理者設定] で変更できます。
 [ファクス機能 \(活用マニュアル\)](#)
- ファクス画像をプレビュー表示するには、[応用] タブの [プレビュー] をオンにしてください。

7  (スタート) を押します。

ファクス送信を中止する

送信中に中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、ファクスの送信を中止できます。

1  (ストップ) を押します。



送信予約を取り消す



同報送信を選択すると、同報送信ジョブ自体が取り消されます。

1 タッチパネルの [ファクス/インターネットファクス] または操作パネルの  (ファクス) を押します。

2 [ファクス] を押します。

3 [ファクス確認/中止] タブを押します。

4 中止するジョブの [削除] を押します。



送信中のファクスは、リストの一番上に表示されます。

5 確認画面で [はい] を押します。

受信の設定

ここでは、ファクスを受信するときのさまざまな設定について説明します。

- 受信モードを設定する
- 着信から受信開始までの待ち時間を設定する（応答待ち時間）

受信モードを設定する

工場出荷時は、[ファクス待機] に設定されています。

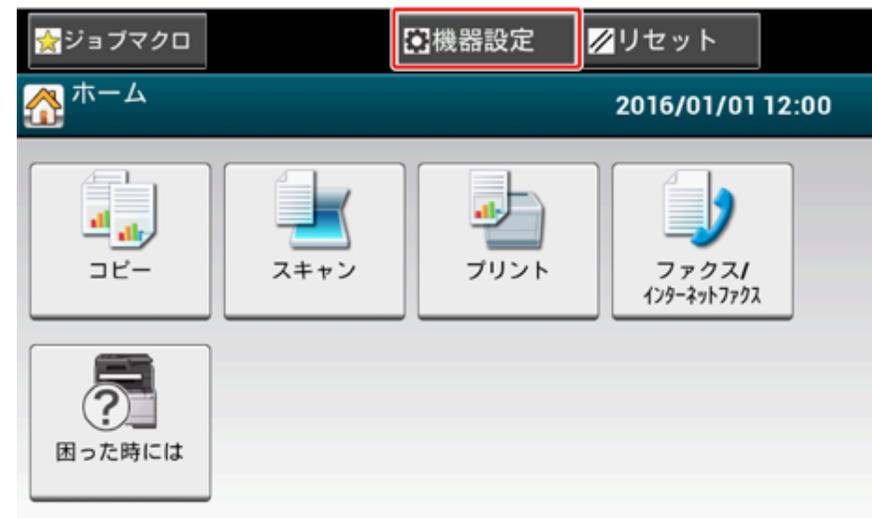
お使いの環境に合わせて設定します。

- [ファクス待機]：ファクス専用で使用するときを設定します。
- [電話／ファクス待機]：電話かファクスかを自動判別するときを設定します。
- [留守／ファクス待機]：外付け電話機の留守番電話機能とファクスを兼用するときを設定します。
- [電話待機]：本機に接続した外付け電話機を使用することが多い場合に設定します。



ナンバーディスプレイ契約回線を使用の方で [留守／ファクス待機] を設定する場合は、[ファクス機能] > [ファクス基本設定] の [TAD 動作モード] の設定を [タイプ2] に設定してください。[タイプ1] または [タイプ3] に設定されている場合は、正しく動作しません。工場出荷時は [タイプ3] に設定されています。

- 1 本機が起動していることを確認します。
- 2 ホーム画面上部の [機器設定] を押します。



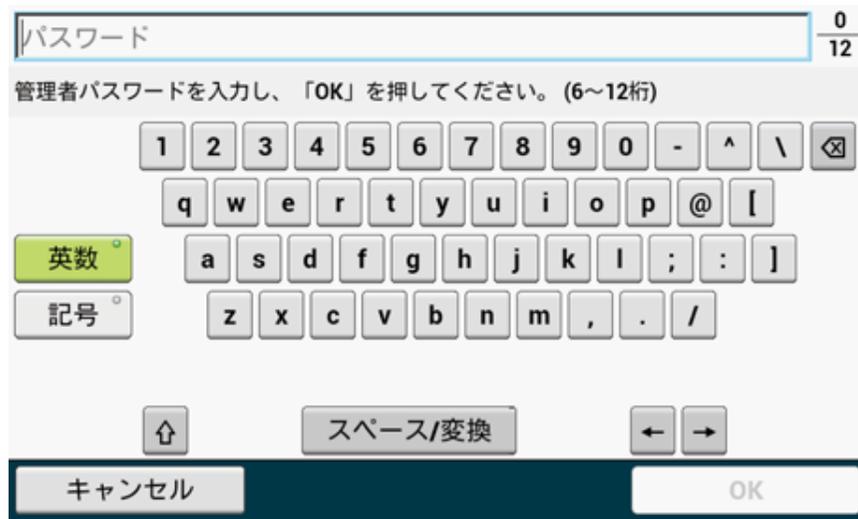
- 3 [▲] を1回押して画面を切り替え、[管理者設定] を押します。



- 4 管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。

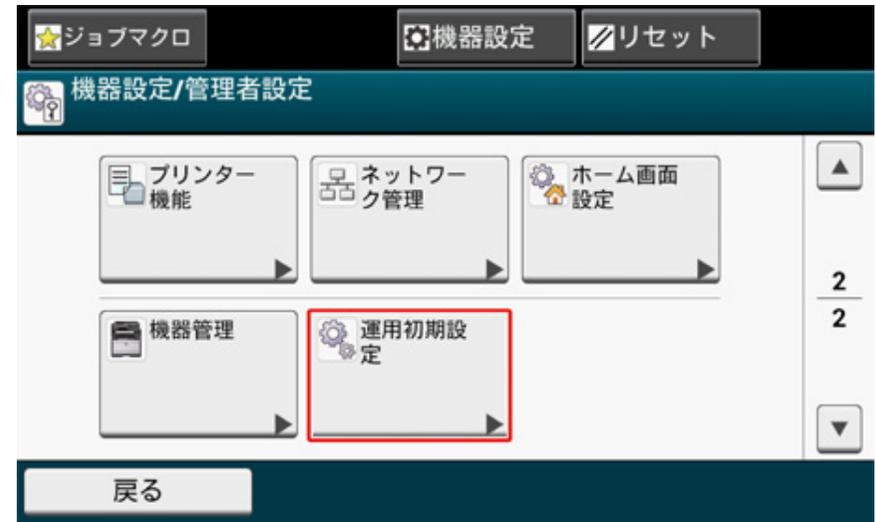


工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。

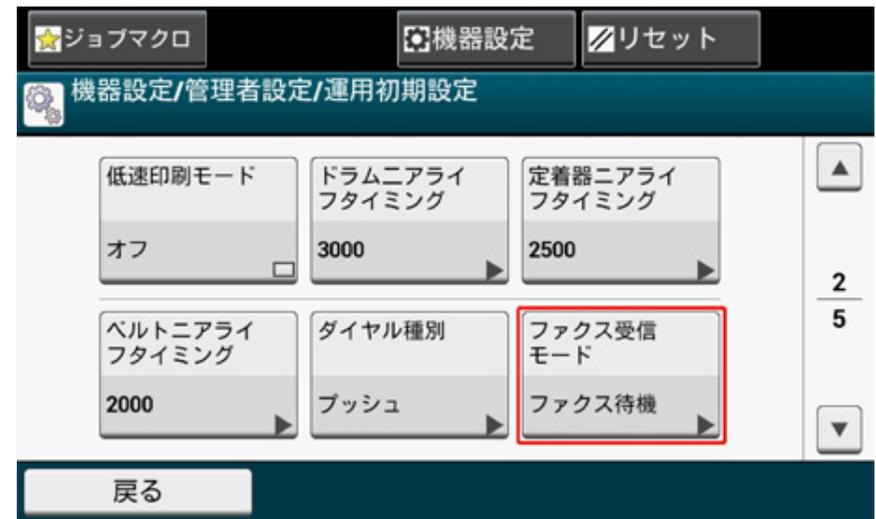


- 5 管理者ログイン画面に戻るので、[OK] を押します。

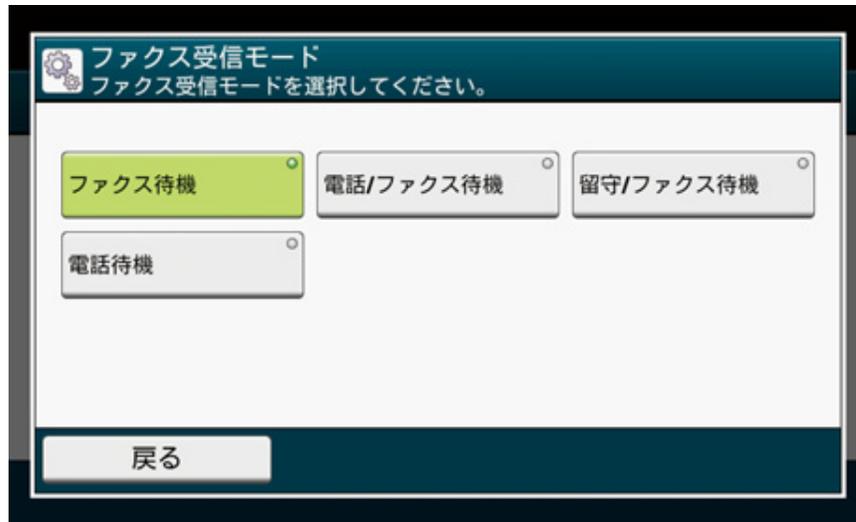
- 6 [▼] を1回押して画面を切り替え、[運用初期設定] を押します。



- 7 [▼] を1回押して画面を切り替え、[ファクス受信モード] を押します。



- 8 お使いの環境に最適なモードを選択します。



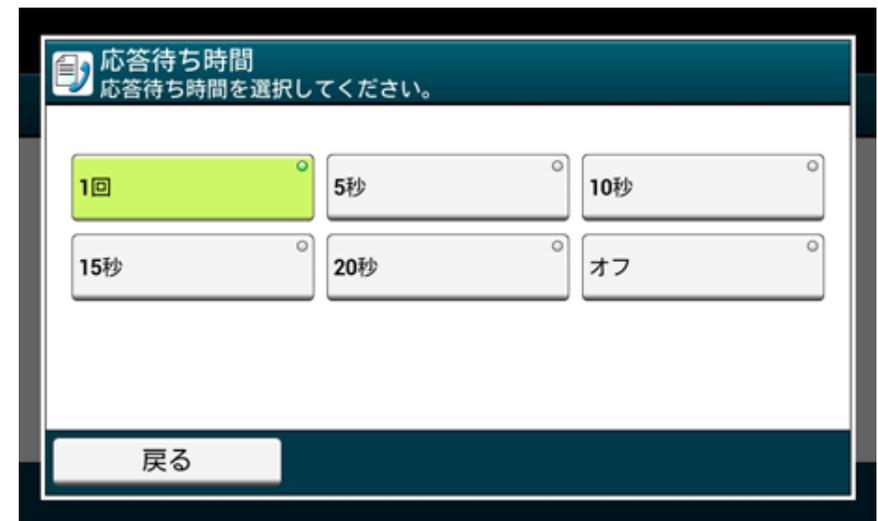
- 9 [戻る] を数回押し、ホーム画面を表示します。

着信から受信開始までの待ち時間を設定する（応答待ち時間）

工場出荷時は、10秒に設定されています。

ファクスが受信できない場合などは、下記の手順で変更します。

- 1 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、[管理者設定] を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 [ファクス機能] を押します。
- 5 [その他の設定] を押します。
- 6 [応答待ち時間] を押します。
- 7 応答待ち時間を設定します。



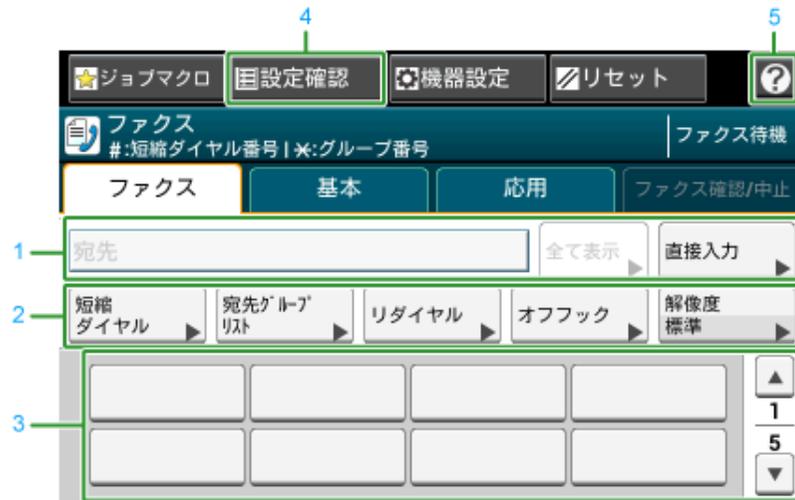
- 8 ホーム画面が表示されるまで、[戻る] を押します。



- 本機をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、ナンバーディスプレイ対応電話機を本機に接続する場合は、[応答待ち時間]を[10秒]に設定してください。工場出荷時は、[10秒]に設定されています。
- [応答待ち時間]を[オフ]に設定し、[ファクス受信モード]を[電話/ファクス待機]に設定した場合、電話機の呼び出し音を鳴らさずにファクスを受信します。ただし、ナンバーディスプレイ対応電話機には対応していません。

ファクス画面に表示される項目と機能

• [ファクス] タブ



項目	説明
1 宛先エリア	ファクスの送信先を選択します。選択された宛先が表示されます。1つ以上の宛先が設定されているときは、[全て表示] を押して編集や削除ができます。
2 ショートカットボタン	ファクス機能を使うためのショートカットボタンが表示されます。画面は工場出荷時の設定です。画面に表示するショートカットボタンは、お好みに応じて変更することができます。“タッチパネルのカスタマイズ（活用マニュアル）”を参照してください。
3 ワンタッチボタン	ワンタッチボタンに割り当てられた宛先を表示します。ボタンを押すと宛先を追加できます。
4 設定確認	現在の設定が表示されます。機能によっては設定の変更ができます。
5 	ヘルプの項目を表示します。

• [基本] タブ



項目	説明
1 直接入力	宛先の番号を直接入力します。
2 短縮ダイヤル	短縮ダイヤルリストに登録された宛先が表示されます。短縮ダイヤルリストから宛先を選択します。
3 宛先グループリスト	ファクスの宛先が登録されたグループの一覧が表示されます。グループの一覧から、送信するグループを選択します。
4 リダイヤル	最近使った宛先の一覧が表示されます。最近の履歴から宛先を選択します。
5 オフフック	オフフックダイヤルでファクスを送信します。宛先を呼び出して、相手の受信音が聞こえたら、手でファクス送信を開始します。
6 解像度	原稿読み込み時の解像度を指定します。
7 読取サイズ	原稿を読み取るサイズを指定することができます。
8 ジョブマクロに登録	現在の設定をジョブマクロに登録します。

- [応用] タブ



	項目	説明
1	濃度	読み込み濃度のレベルを調節します。
2	両面読取	両面読み取りを設定します。 原稿の表裏両面を読み込むときに設定します。
3	継続読取 (原稿ガラス)	原稿ガラスを使って、複数の原稿を一つのジョブとして読み込みます。
4	継続読取 (ADF)	自動原稿送り装置を使って、複数の原稿を一つのジョブとして読み込みます。
5	プレビュー	ファクス画像を送信開始前にタッチパネル上に表示します。
6	枠消去	本などの原稿を読み取ったときに、周囲にできる黒い影を消します。
7	背景除去	画像の背景 (下地) 色を除去します。
8	通信機能	次の設定を指定します。TTI、TTI選択、送信確認、時刻指定送信、Fコードポーリング、Fコード送信

- [ファクス確認/中止] タブ

送信を中止したり、処理中のジョブを確認します。

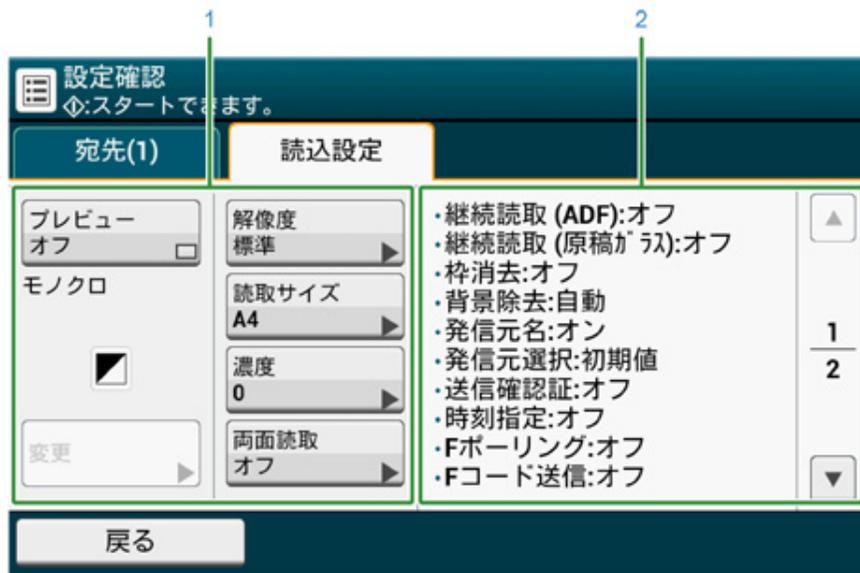


- [設定確認] > [宛先] タブ

ファクスを送信する宛先を追加、編集および削除します。



• [設定確認] > [読込設定] タブ



	項目	説明
1	設定表示エリア 1	項目と現在の設定が表示されます。
2	設定表示エリア 2	設定表示エリア 1 に表示されない設定が、一覧表示されます。

8

メンテナンス

消耗品の交換

本体や部品の清掃

ここでは、本機を末長く快適にご使用いただくためのメンテナンス方法について説明します。

消耗品の交換

ここでは本機の消耗品の交換方法について説明します。

- 消耗品を交換するときの注意事項
- トナーカートリッジを交換する
- イメージドラムのみを交換する
- イメージドラムとトナーカートリッジを同時に交換する

消耗品を交換するときの注意事項

以下の点に注意して、交換作業を行ってください。

 警告	
	トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。
	トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

 注意	
	機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
	トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
	トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
	トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
	トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠️ 注意

	トナーを飲み込んだ場合は、はきだしてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
	紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。衣服については、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
	イメージドラムやトナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
	使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。



- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、保証やメンテナンス契約にかかわらず有償となります。(純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分に留意ください。)

トナーカートリッジを交換する

「[カラー] トナーの交換時期が近づいています。」メッセージ ([カラー] にはC (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー)、K (ブラック) が表示されます。) が表示されたら、交換用のカートリッジをご用意ください。

「[カラー] トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。」が表示されて印刷が止まったら、新しいトナーカートリッジに交換してください。



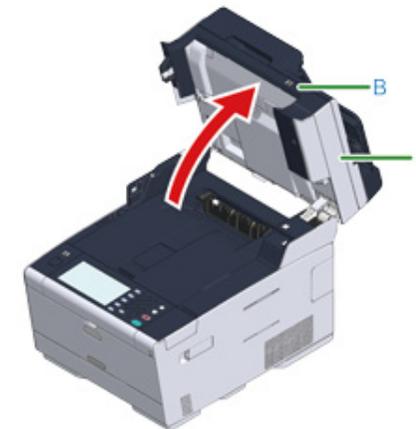
シアン (青)、マゼンタ (赤)、イエロー (黄) のトナーがなくなっても、[モノクロ] または [グレースケール] を選択すると、白黒印刷ができますが、イメージドラムの故障の原因になりますので、トナーがなくなったときは、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。



- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいカートリッジを準備してください。
- 使用中のトナーカートリッジ/イメージドラムを交換すると、トナー使用量が正確に計算されなくなります。
- 「[カラー] トナーがなくなりました」と表示された後も、本体排紙トレイを開閉することにより、印刷することができませんが、イメージドラムの故障の原因になりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- トナーがなくなる前に、トナーカートリッジを外すと、トナーがこぼれる場合があります。

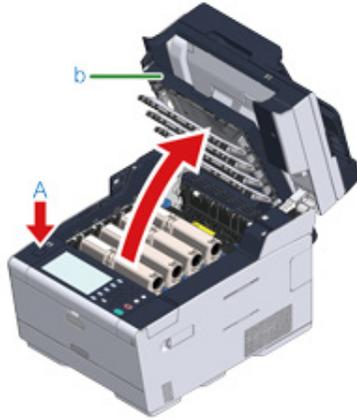
1 新しいトナーカートリッジを用意します。

2 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を完全に開きます。



3 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開きます。

⚠ 注意	やけどのおそれがあります。	⚠
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		



4 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

5 トナーカートリッジの青いレバー (c) の先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで手前側に回します。

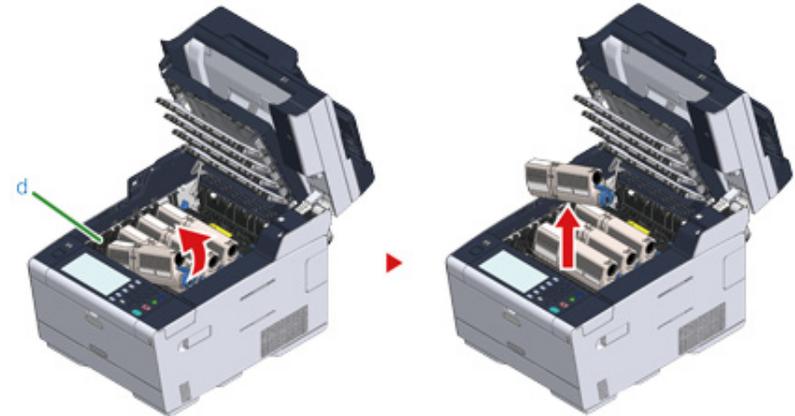


6 トナーカートリッジ (d) を右端から持ち上げ、本機から外します。

⚠ 警告	やけどのおそれがあります。	⚠
使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れてください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。		



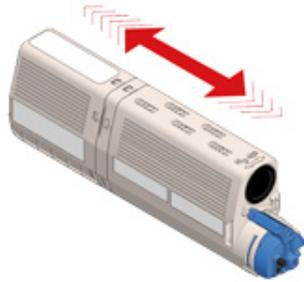
消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



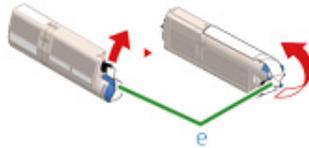
7 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。



8 カートリッジを縦横に数回振ります。



9 トナーカートリッジからテープ (e) をはがします。



10 新しいトナーカートリッジ (d) の左側のくぼみ (f) をイメージドラムの突起 (g) に合わせて差し込み、トナーカートリッジとイメージドラムのカラーラベルをそろえます。次に右側を静かにおろします。



トナーカートリッジは、テープをはがしてから差し込んでください。

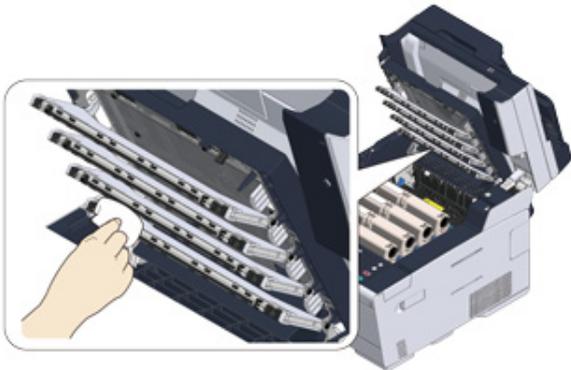


- 11** トナーカートリッジを押さえながら、青色のレバー (c) の先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで奥側に回します。



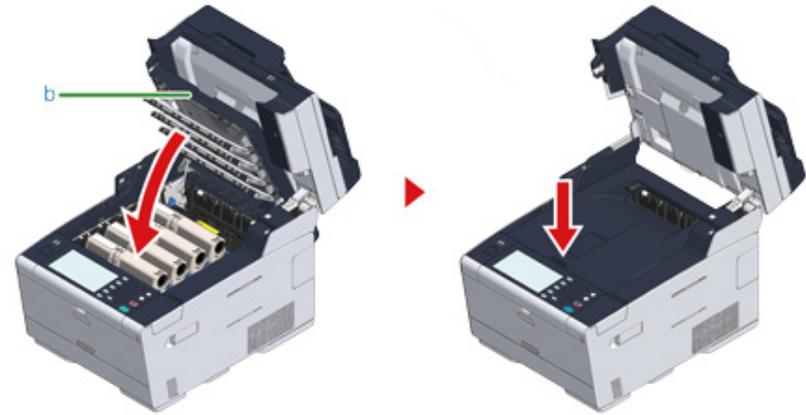
- トナーカートリッジをイメージドラムにセットする際に、青色のレバーを回さずに本体排紙トレイを閉めると故障の原因になります。必ず、青色のレバーの先端がトナーカートリッジの奥側の突起に合うまで回してください。
- トナーカートリッジが正しく装着されていないと、印刷品質が低下する場合があります。

- 12** 柔らかいティッシュペーパーでLED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。



メチルアルコールまたはシンナーを使用しないでください。LEDヘッドを傷める場合があります。

- 13** 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



- 14** 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



- 15** 使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「COREFIDO 3ガイド」をご覧ください。



やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

イメージドラムのみを交換する

「[カラー] イメージドラムの交換時期が近づいています。」のメッセージが表示されたら、交換用のイメージドラムを用意してください。そのまま印刷を続けると、「[カラー] イメージドラムが寿命です。新しいイメージドラムに交換してください。」が表示されて印刷が止まります。

「イメージドラムを交換してください」と表示され、印刷が停止したら、イメージドラムを交換してください。

イメージドラム交換の目安は、A4サイズの内紙で約30,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に3枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。

実際の印刷枚数は、印刷条件によっては上記の目安よりさらに半分以下になる場合があります。



- イメージドラムの実際の印刷可能枚数は、使用方法により異なります。印刷条件によっては上記の目安よりさらに半分以下になります。
- イメージドラムは開封後1年以上経過すると印刷品質が低下します。新しいイメージドラムと交換してください。
- 本体排紙トレイを開けたり閉めたりすることで、イメージドラムの交換時期を延ばすことができますが、「新しいイメージドラムに交換してください。」が表示されたらすぐに交換されることをおすすめします。
- タッチパネルの【機器設定】>【管理者設定】>【機器管理】>【システム設定】>【ニアライフ時のステータス】が【無効】に設定されていると、「[カラー] イメージドラムの交換時期が近づいています。」のメッセージが表示されません。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、保証やメンテナンス契約にかかわらず有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

ここでは、イメージドラムのみを交換し、使用中のトナーカートリッジを引き続き使用する場合について説明します。



- 今まで使用していたトナーカートリッジを新しいイメージドラムに取り付けて使用すると、それぞれのトナーカートリッジの残量表示は正しく表示されなくなります。また、交換後も「[カラー] トナーの交換時期が近づいています。」または「[カラー] トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。」になる場合があります。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当たらないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

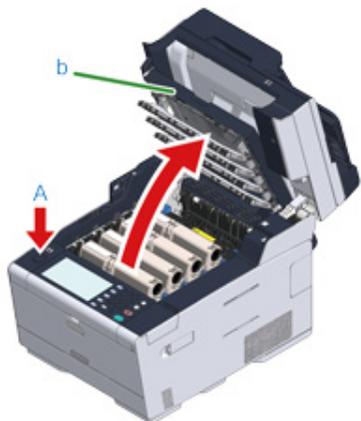


「[カラー] イメージドラムの交換時期が近づいています。」のメッセージを表示するタイミングを変更することができます。タッチパネルの [機器設定] > [管理者設定] > [運用初期設定] > [ドラムニアライブタイミン
グ] で設定します。設定可能な範囲は、500~3,000 (500カウント単位) です。

- 1 新しいイメージドラムを準備します。
- 2 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を完全に開きます。



- 3 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開きます。

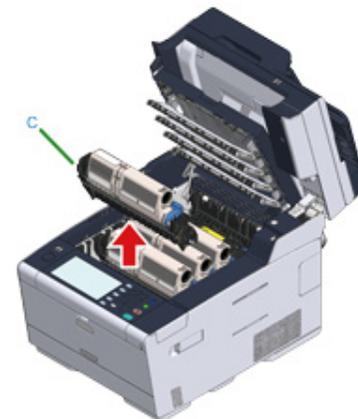


- 4 寿命になったイメージドラムをラベルの色で確認します。

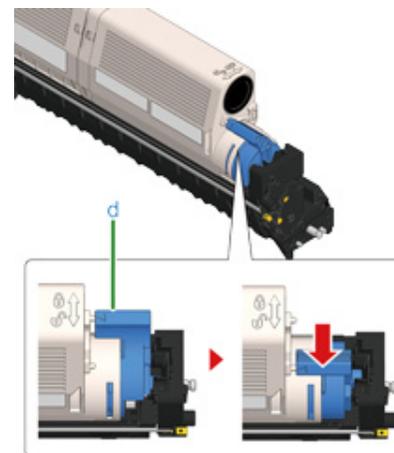
- 5 イメージドラム (c) を本機から取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



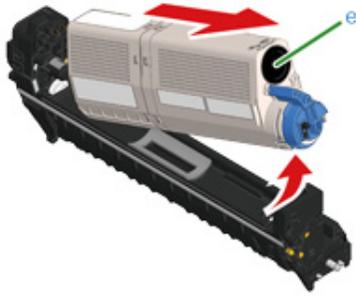
消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



- 6 トナーカートリッジを押さえながら、青色のレバー (d) の先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで手前側に回します。

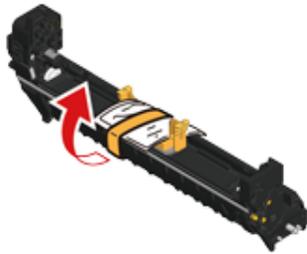


7 トナーカートリッジ (e) の右側を持ち上げ、イメージドラムから外します。

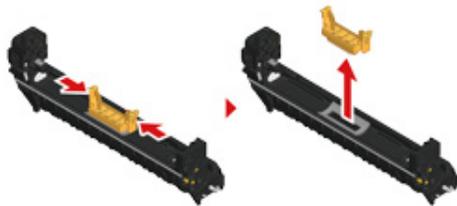


8 新しいイメージドラムを開封し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。

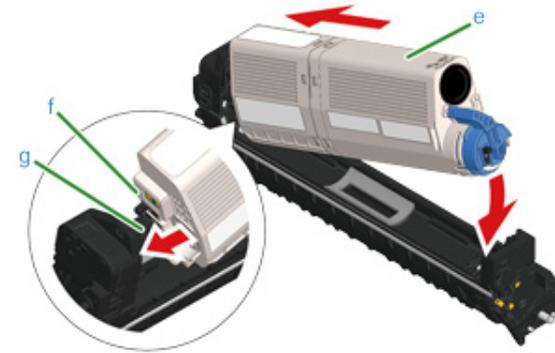
9 乾燥剤を外します。



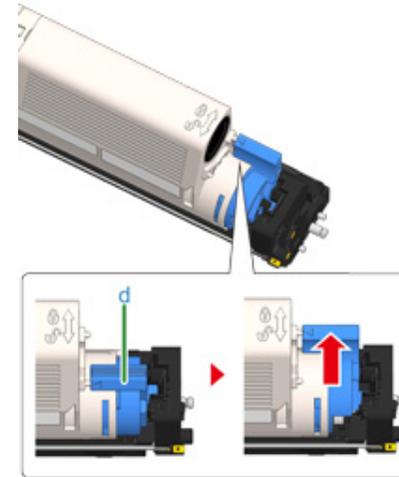
10 トナーカバーを外します。



11 手順7で取り外したトナーカートリッジ (e) の左端のくぼみ (f) を、イメージドラムの突起 (g) に合わせて差し込み、トナーカートリッジとイメージドラムのカラーラベルをそろえます。次に右側を静かにおろします。



12 トナーカートリッジを押さえながら、青色のレバー (d) の先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで奥側に回します。



トナーカートリッジをイメージドラムにセットする際に、青色のレバーを回さずに本体排紙トレイを閉めると故障の原因になります。必ず、青色のレバーの先端がトナーカートリッジの奥側の突起に合うまで回してください。

13 新しいイメージドラムの色を確認し、本機に装着します。



14 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



15 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



16 使用済みのイメージドラムの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「COREFIDO 3ガイド」をご覧ください。



やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

イメージドラムとトナーカートリッジを同時に交換する

イメージドラムとトナーカートリッジを同時に新しいものに交換する場合について説明します。



- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

1 新しいイメージドラムとトナーカートリッジを準備します。

2 取っ手部（B）を持ちスキャナーユニット（a）を完全に開きます。



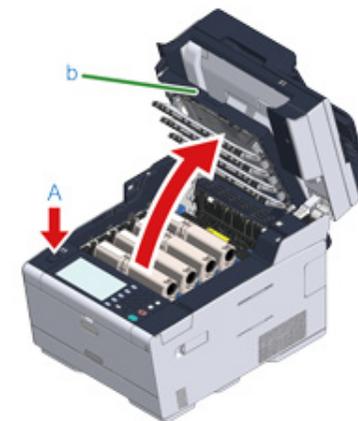
3 ボタン（A）を押して、本体排紙トレイ（b）を完全に開きます。



やけどのおそれがあります。



定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

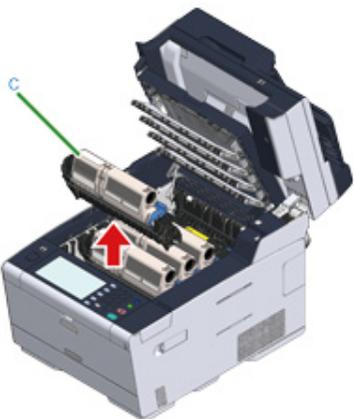


4 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

5 イメージドラム（c）を本機から取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。

**警告**

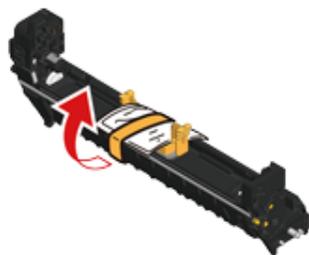
やけどのおそれがあります。



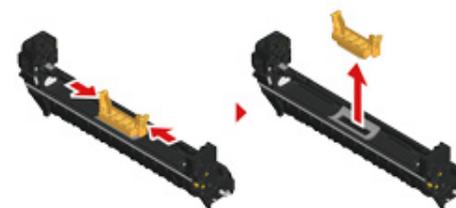
使用済みイメージドラムとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れてください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

6 新しいイメージドラムを開封し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。

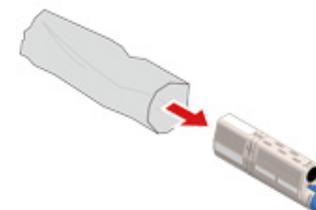
7 乾燥剤を外します。



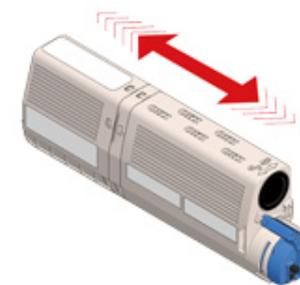
8 トナーカバーを外します。



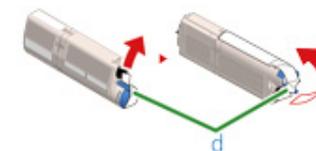
9 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。



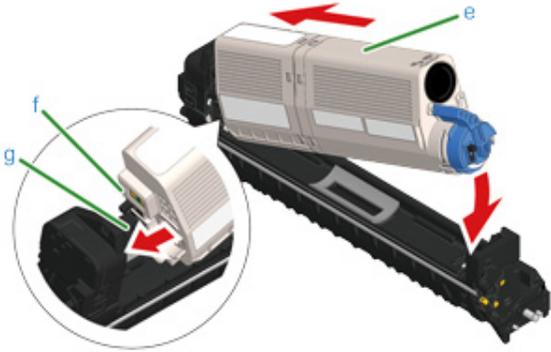
10 カートリッジを縦横に数回振ります。



11 トナーカートリッジからテープ (d) をはがします。

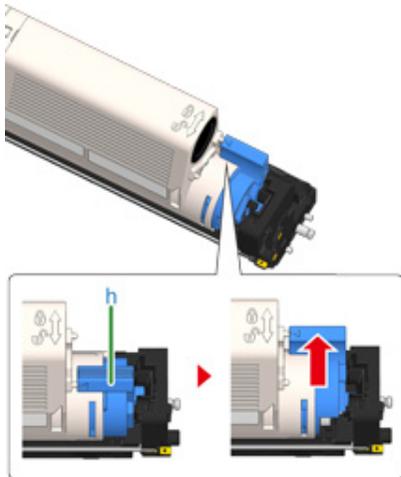


- 12** 新しいトナーカートリッジ (e) の左端のくぼみ (f) を、イメージドラムの突起 (g) に合わせて差し込み、トナーカートリッジとイメージドラムのカラーラベルをそろえます。次に右側を静かにおろします。



交換方法については、「トナーカートリッジを交換する」をご覧ください。

- 13** トナーカートリッジを押さえながら、青色のレバー (h) の先端をつまみ、先端とカートリッジの突起が合うまで奥側に回します。

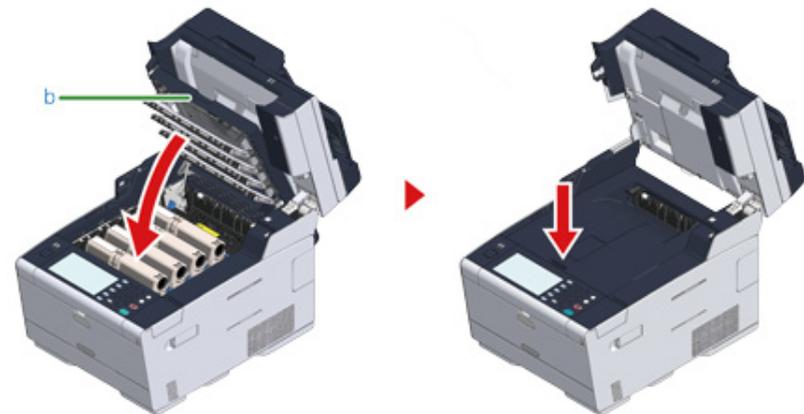


トナーカートリッジをイメージドラムにセットする際に、青色のレバーを回さずに本体排紙トレイを閉めると故障の原因になります。必ず、青色のレバーの先端がトナーカートリッジの奥側の突起に合うまで回してください。

- 14** 新しいイメージドラムのラベルの色を確認し、本機の中にセットします。



- 15** 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



- 16** 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



17 使用済みのイメージドラムとトナーカートリッジの回収にご協力ください。
詳しくは、別冊「COREFIDO 3ガイド」をご覧ください。



- やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

本体や部品の清掃

ここでは、本機の各部の清掃方法について説明します。

- 原稿ガラスを清掃する
- LEDヘッドを清掃する

原稿ガラスを清掃する

印刷の品質を維持するために、原稿ガラスを1か月に一度清掃してください。



ベンジン、塗料用シンナー、アルコールは、本機のプラスチック部分や塗装を傷める場合がありますので、使用しないでください。

- 1 原稿ガラスカバーを開きます。



- 2 原稿押さえ板 (a)、原稿ガラス (b) の表面を、水を含ませてかたく絞った布で軽く拭きます。





原稿ガラス表面と原稿押さえ板の汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませてかたく絞った布で軽く拭いてから、水を含ませてかたく絞った布で再度拭きます。

3 原稿ガラスカバーを閉じます。



原稿ガラスカバーを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



LEDヘッドを清掃する

出力紙に白いスジが入ったり、画像が消えたり、文字がにじんだりするときは、LEDヘッドを清掃してください。



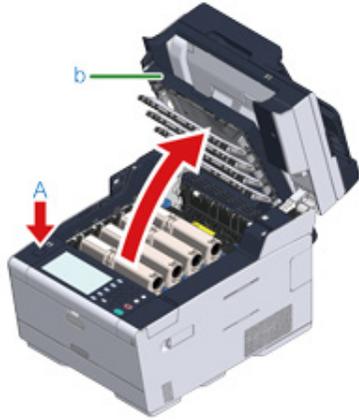
- メチルアルコールまたはシンナーを使用しないでください。LEDヘッドを傷める場合があります。
- イメージドラムは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

1 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を完全に開きます。



2 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開きます。

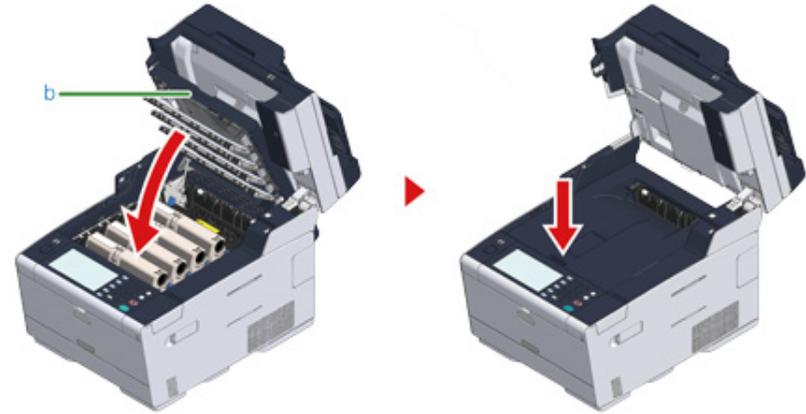
⚠ 注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		



3 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッド (4か所) のレンズ面を軽く拭きます。



4 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



5 取っ手部 (B) を持ちスキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



9

困ったときには

用紙がつまったとき

原稿がつまったとき

コピーのときのトラブル

プリントのときのトラブル

スキャンのときのトラブル

ファクスのときのトラブル

操作パネルにエラーメッセージが表示されているとき

用紙がつまったとき

ここでは、本機に用紙がつまったときの対処方法について説明します。操作パネルに表示しているエラーコードを確認し、該当するページをご覧ください。

- エラーコードが「370」、「371」、「372」の場合
- エラーコードが「380」、「381」、「382」、「385」、「389」の場合
- エラーコードが「390」の場合
- エラーコードが「391」、「392」、「393」の場合
- エラーコードが「409」の場合

エラーコードが「370」、「371」、「372」の場合

- 1 自動原稿送り装置または、原稿ガラスに原稿がセットしてある場合は、一旦取り出します。

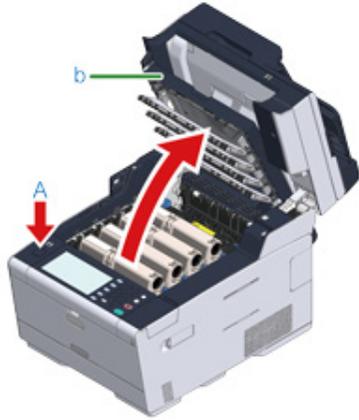


- 2 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を完全に開けます。



3 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開けます。

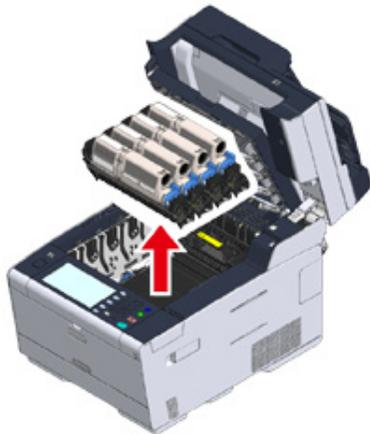
⚠ 注意	やけどのおそれがあります。	⚠
定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行ってください。		



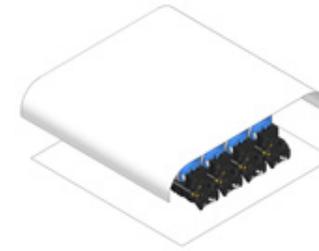
4 イメージドラム4本を取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



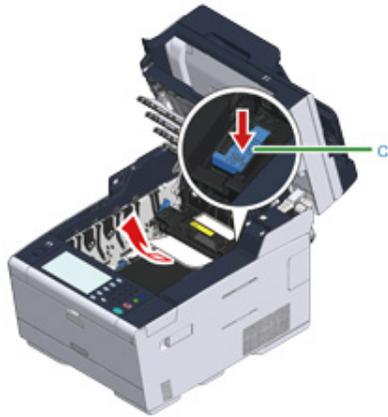
5 取り出したイメージドラムに光が当たらないように紙をかぶせます。



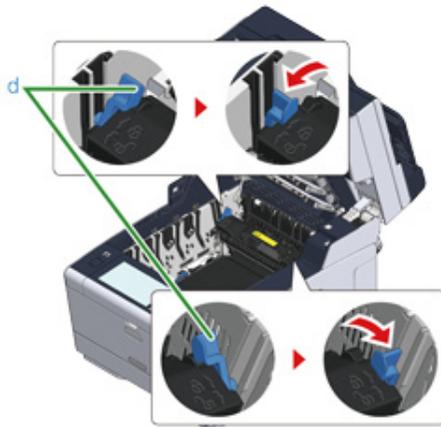
6 つまっている用紙の端を持ってゆっくり引き出します。



- 7 用紙が定着器ユニットにつまっている場合は、定着器ユニットのジャム解除レバー (c) を押しながら、つまった用紙を手前方向へゆっくり引き出します。



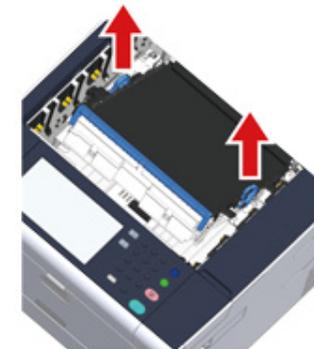
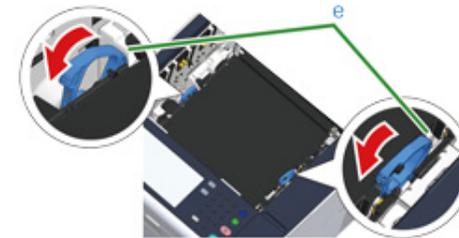
- 8 定着器ユニット左右の定着器固定レバー (d) を手前側に倒します。



- 9 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。



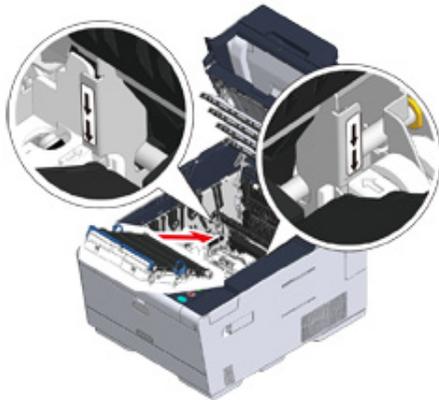
- 10 ベルトユニット左右のロックレバー (e) を手前側に回し、ロックレバーを持ち、ベルトユニットを取り出します。



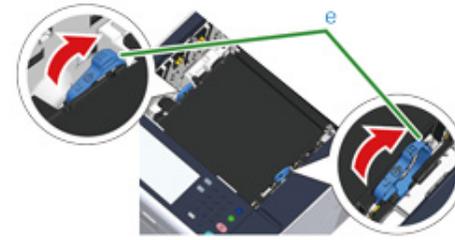
11 つまっている用紙の端を持ってゆっくり引き出します。



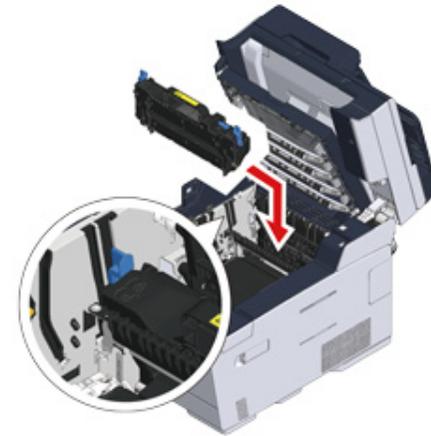
12 ベルトユニットのロックレバーを持ち、本体にセットします。



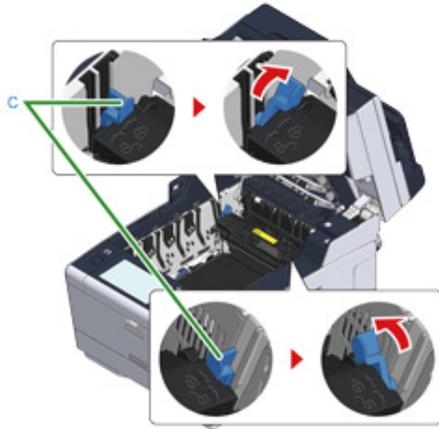
13 ベルトユニット左右のロックレバー（e）を奥側に回します。



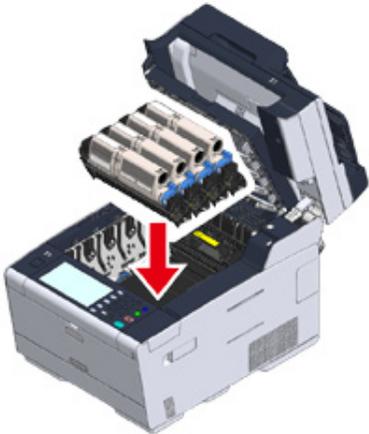
14 定着器ユニットのハンドルを持ち、本体にセットします。



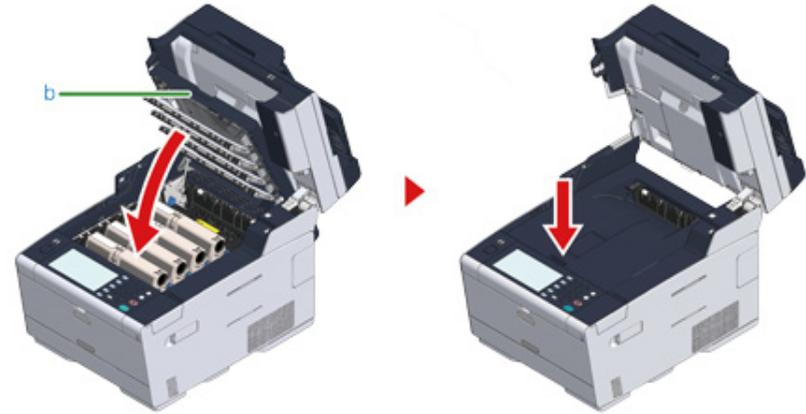
15 定着器ユニット左右の定着器固定レバー（c）を奥側に倒します。



16 イメージドラム4本を本体に戻します。



17 本体排紙トレイ（b）をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



18 取っ手部（B）を持ち、スキャナーユニット（a）を閉じます。



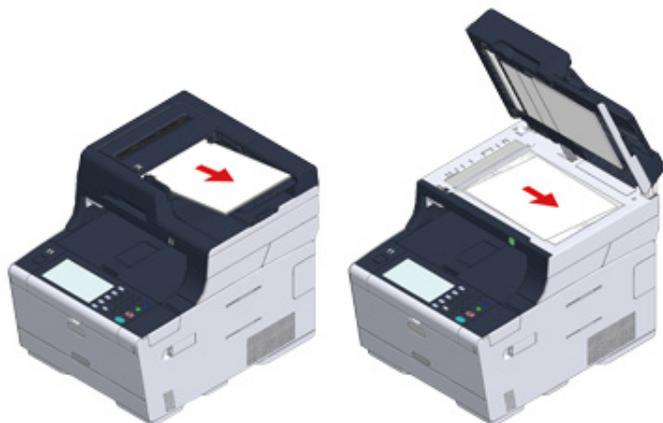
スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



エラーコードが「380」、「381」、「382」、「385」、「389」の場合

- 1 自動原稿送り装置または、原稿ガラスに原稿がセットしてある場合は、一旦取り出します。



- 2 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を完全に開けます。



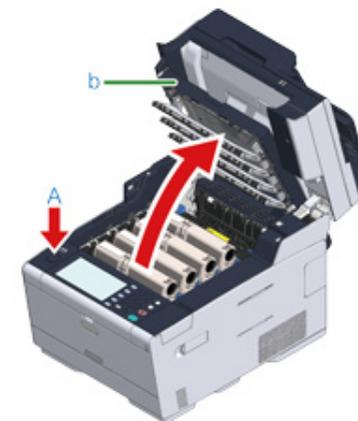
- 3 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開けます。

注意

やけどのおそれがあります。



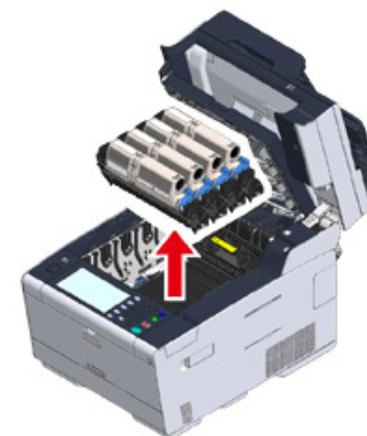
定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行ってください。



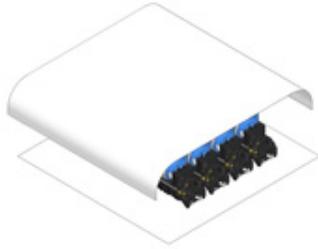
- 4 イメージドラム4本を取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



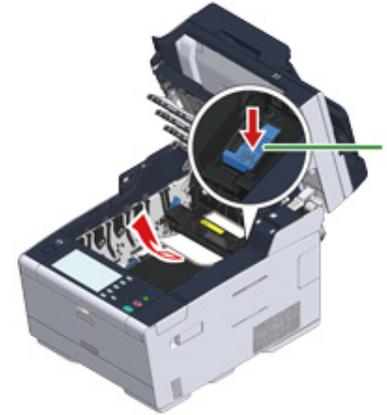
5 取り出したイメージドラムに光が当たらないように紙をかぶせます。



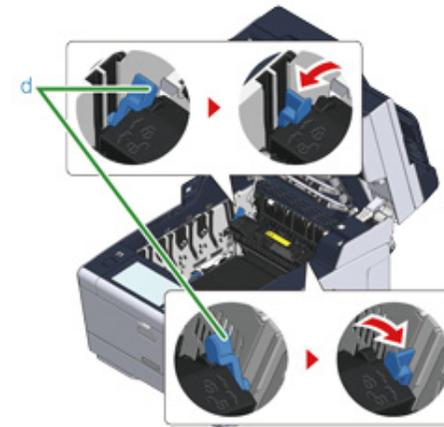
6 つまっている用紙の端を持ってゆっくり引き出します。



7 用紙が定着器ユニットにつまっている場合は、定着器ユニットのジャム解除レバー (c) を押しながら、つまった用紙を手前方向へゆっくり引き出します。



8 定着器ユニット左右の定着器固定レバー (d) を手前側に倒します。



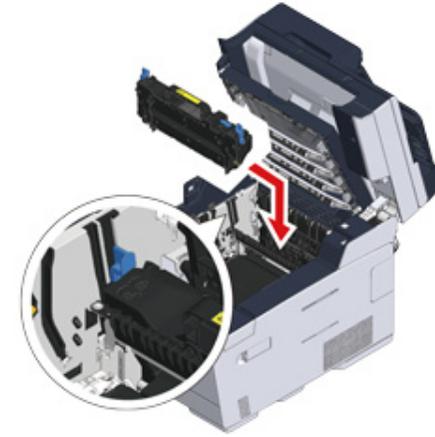
9 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。



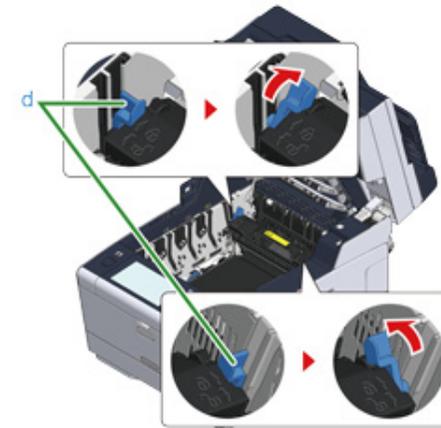
10 プリンター内部に用紙が残っている場合は、用紙の両端を持ち、静かに取り除きます。



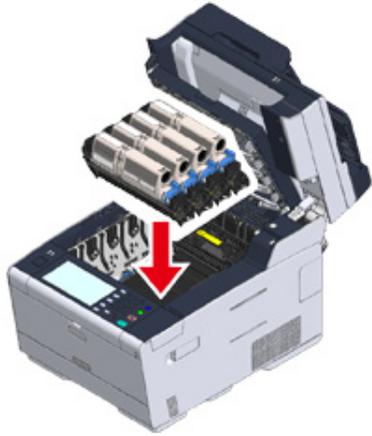
11 定着器ユニットのハンドルを持ち、本体にセットします。



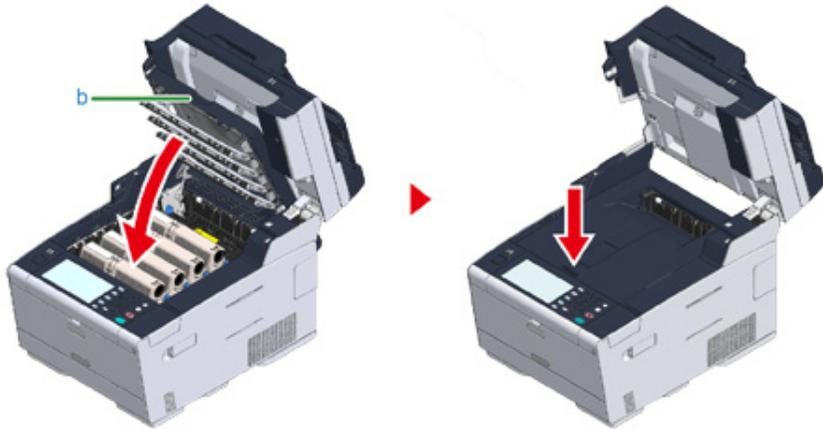
12 定着器ユニット左右の定着器固定レバー（d）を奥側に倒します。



13 イメージドラム4本を本体に戻します。



14 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



15 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を閉じます。



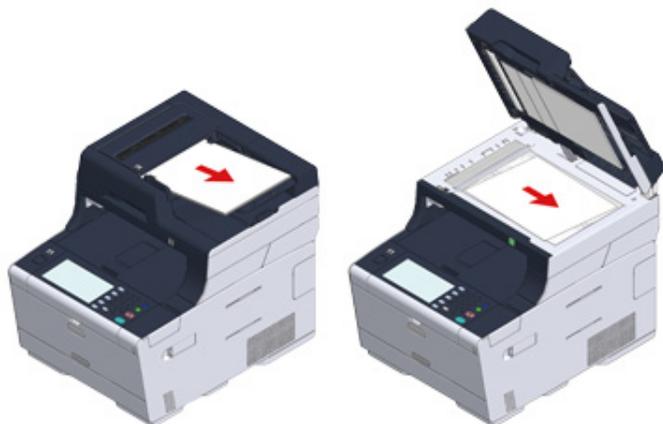
スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



エラーコードが「390」の場合

- 1 自動原稿送り装置または、原稿ガラスに原稿がセットしてある場合は、一旦取り出します。



- 2 MPトレイに用紙がセットしてある場合は、一旦取り出します。



- 3 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を完全に開けます。



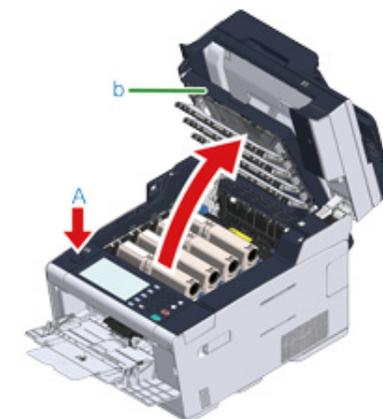
- 4 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開けます。

注意

やけどのおそれがあります。



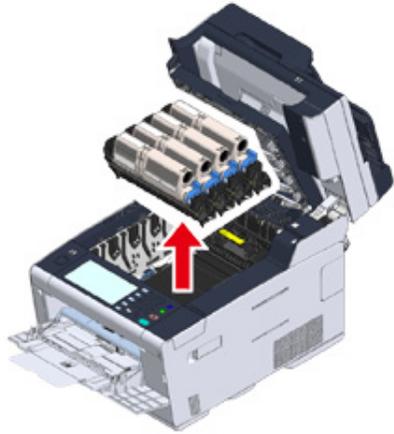
定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行ってください。



- 5 イメージドラム4本を取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



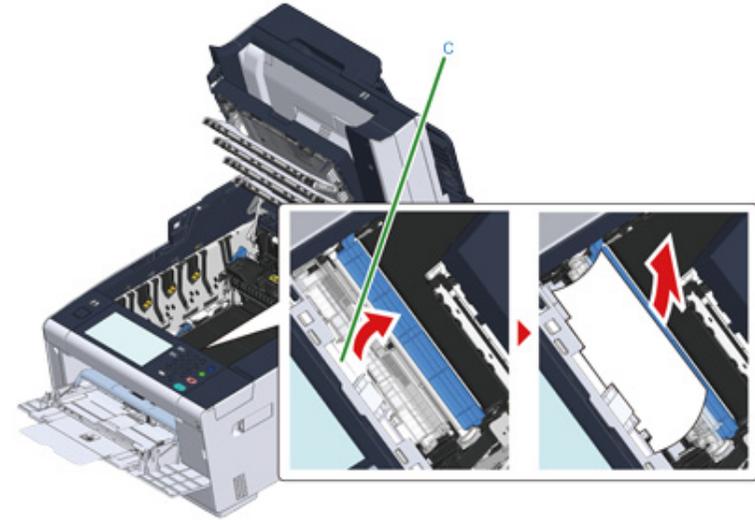
消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



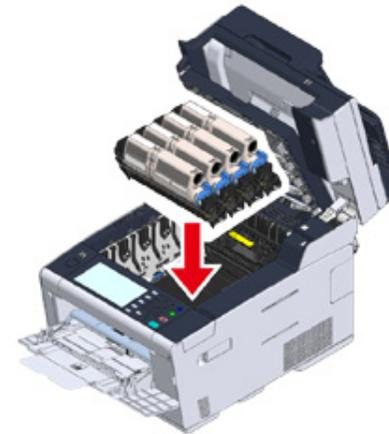
6 取り出したイメージドラムに光が当たらないように紙をかぶせます。



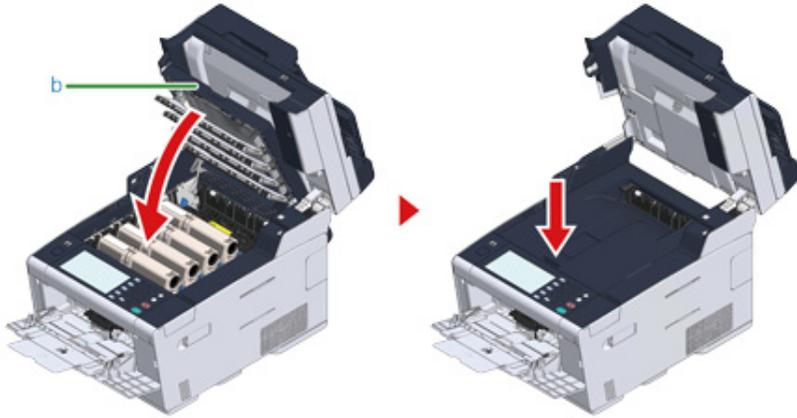
7 プリンター内部の透明カバー（c）を開け、つまっている用紙の先端を持ってゆっくり引き出します。



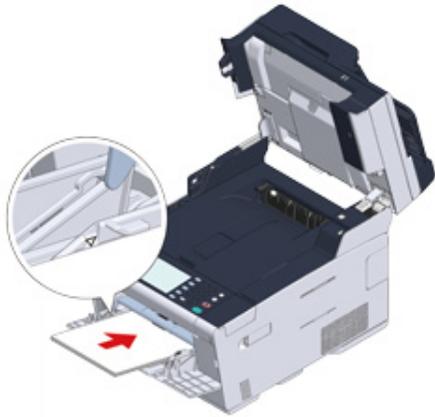
8 イメージドラム4本を本体に戻します。



- 9 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



- 10 MPトレイに用紙をセットする場合は、印刷面を上にしてセットします。

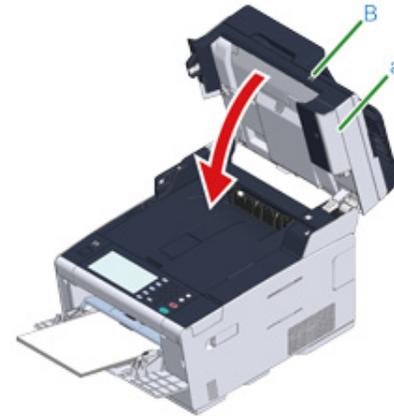


- 11 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



エラーコードが「391」、「392」、「393」の場合

用紙トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。



紙づまりが頻繁に起こる場合は、給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラーを清掃する（トレイ1～3）（活用マニュアル）」をご覧ください。

ここではトレイ1を例にしています。

1 エラー表示しているトレイのカセットを引き出します。



2 つまっている用紙を取り除きます。



つまった用紙がない場合は、用紙カセットの用紙ガイドと用紙ストッパーの位置を確認し、用紙が正しくセットされているか確認してください。

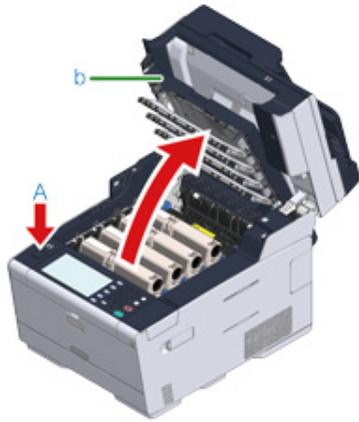
3 カセットを本体に戻します。



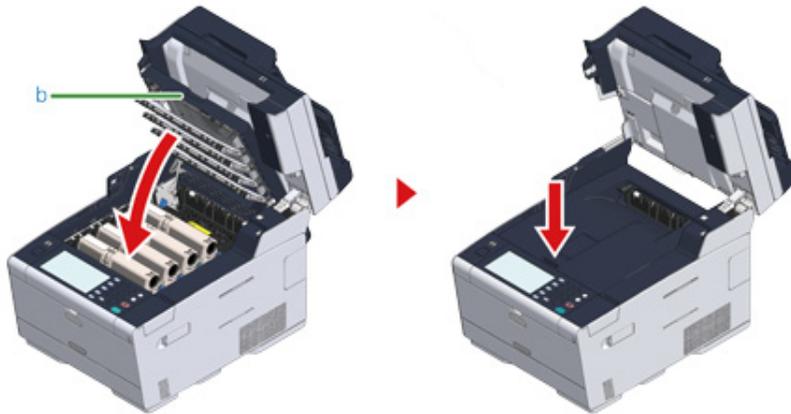
4 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を完全に開けます。



5 ボタン (A) を押して、本体排紙トレイ (b) を完全に開けます。



6 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



7 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (a) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

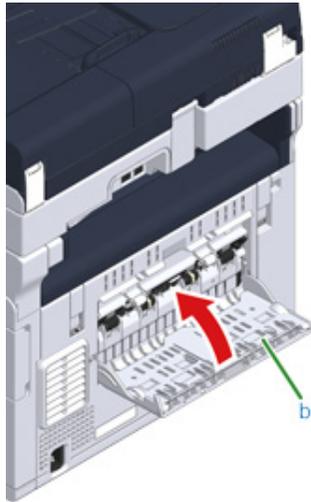
ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



本体排紙トレイを開閉しないと、印刷を再開しません。

エラーコードが「409」の場合

- 1 後方排紙トレイ (b) を閉じます。



- 2 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (c) を完全に開けます。



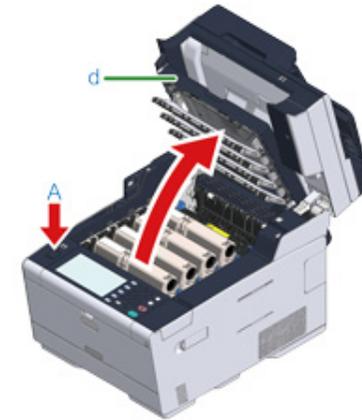
- 3 ボタン (A) を押し、本体排紙トレイ (d) を完全に開けます。

注意

やけどのおそれがあります。



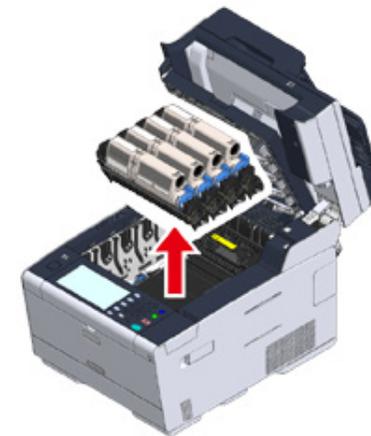
定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行ってください。



- 4 イメージドラム4本を取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



消耗品を取り外すときは、LEDヘッドに当たらないように注意してください。



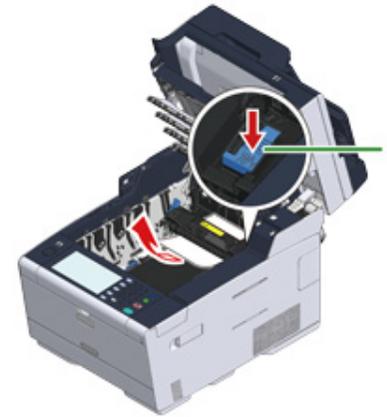
5 取り出したイメージドラムに光が当たらないように紙をかぶせます。



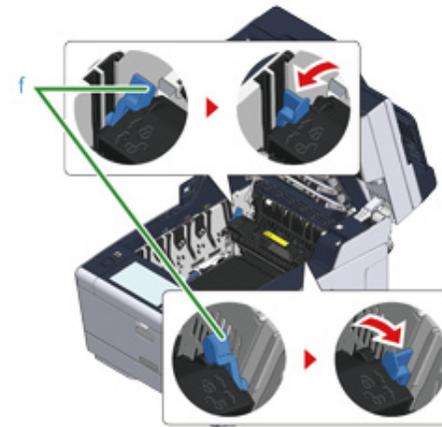
6 つまっている用紙の端を持ってゆっくり引き出します。



7 用紙が定着器ユニットにつまっている場合は、定着器ユニットのジャム解除レバー (e) を押しながら、つまった用紙を手前方向へゆっくり引き出します。



8 定着器ユニット左右の定着器固定レバー (f) を手前側に倒します。



9 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。



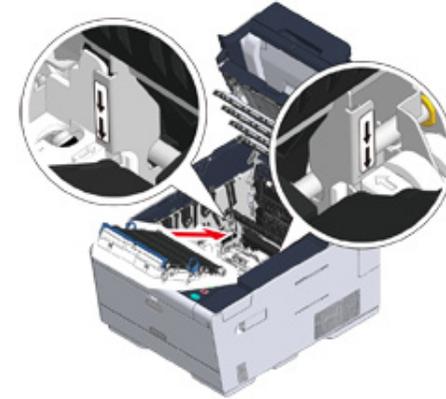
10 ベルトユニット左右のロックレバー（g）を手前側に回し、ロックレバーを持ち、ベルトユニットを取り出します。



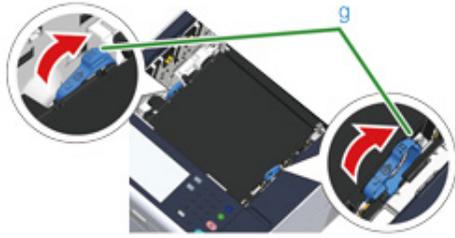
11 つまっている用紙の端を持ってゆっくり引き出します。



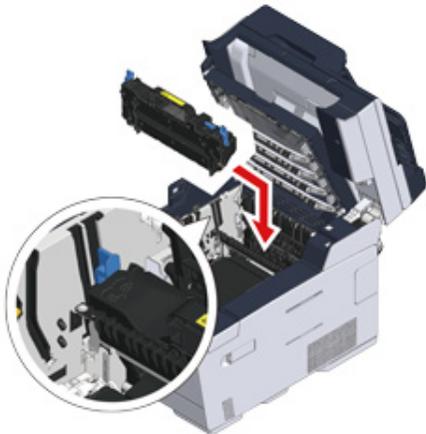
12 ベルトユニットのロックレバーを持ち、本体にセットします。



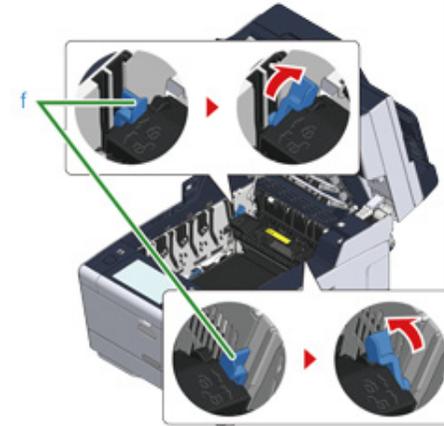
13 ベルトユニット左右のロックレバー（g）を奥側に回します。



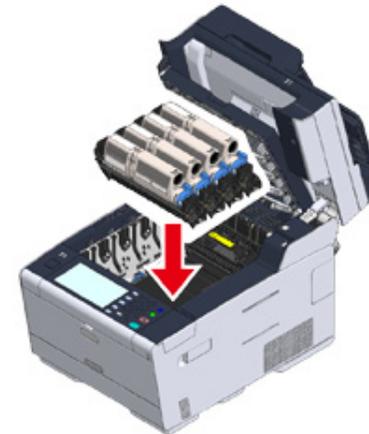
14 定着器ユニットのハンドルを持ち、本体にセットします。



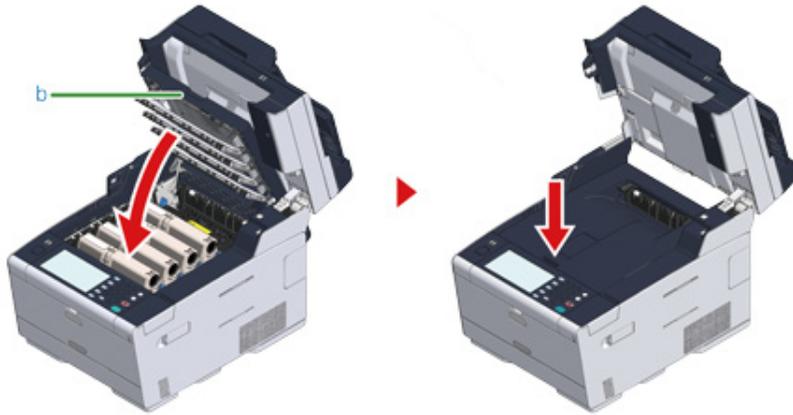
15 定着器ユニット左右の定着器固定レバー（f）を奥側に倒します。



16 イメージドラム4本を本体に戻します。



- 17 本体排紙トレイ (b) をゆっくり閉じ、中央部を押してロックしたことを確認します。



- 18 取っ手部 (B) を持ち、スキャナーユニット (c) を閉じます。



スキャナーユニットを勢いよく閉じないでください。ADF給紙ローラーが降下し、用紙をセットしにくくなる場合があります。

ADF給紙ローラーが降下している場合は、ADFカバーを開閉してください。



原稿が詰まったとき

ここでは、本機に原稿が詰まったときの対処方法について説明します。

- 原稿が見えているとき
- 原稿が見えていないとき

原稿が見えているとき

- 1 自動原稿送り装置カバー (a) を開きます。



- 2 原稿を上方向に引き抜きます。



原稿に付箋やラベルなどが貼られていると、原稿づまりの原因になります。自動原稿送り装置を使用する場合は、原稿から付箋やラベルなどを取り除いてください。付箋やラベルを取り除けない場合は、原稿ガラスのご使用を推奨します。

- 3 自動原稿送り装置カバー (a) を閉じます。

原稿トレイ上の原稿を一旦取り除いてから、自動原稿送り装置カバーを閉じてください。

原稿の破れ、折れ曲がりの原因となります。

原稿が見えていないとき

- 1 自動原稿送り装置カバー (a) を開きます。



- 2 つまっている原稿を取り除きます。つまっている原稿が取り除くことができない場合は、手順4に進みます。



無理に原稿を引き出さないでください。

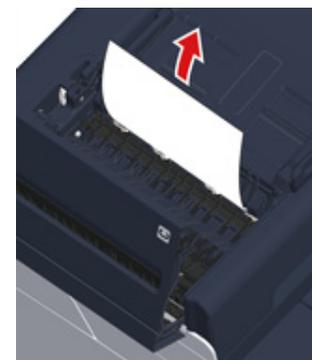


- 3 原稿を取り除くことができたなら、手順8に進みます。

- 4 内側のカバー (b) を開きます。



- 5 つまっている原稿の先端が見える場合は、静かに引き出します。



- 6 原稿トレイ (c) の下につまっている原稿の先端が見える場合は、原稿トレイを持ち上げて、ゆっくりと引いて取り除きます。



7 原稿を取り除くことができれば、内側のカバーを閉じます。



8 自動原稿送り装置カバーをゆっくり閉じます。

原稿トレイ上の原稿を一旦取り除いてから、自動原稿送り装置カバーを閉じてください。

原稿の破れ、折れ曲がりの原因となります。



コピー中にエラーが起きた場合は、コピーはキャンセルされます。

コピーのときのトラブル

ここでは、コピー機能をお使いのときのトラブルについて説明します。



以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターまたは販売店へご連絡ください。

• コピーできない

コピーできない

• 通常のコピーができない

確認項目	対処方法	参照
電源は入っていますか？	電源を入れてください。	電源を入れる
本機が初期化中ではありませんか？	初期化が終わるまでお待ちください。	-
原稿は正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。	原稿をセットする
用紙はありますか？	トレイに用紙を入れてください。 カセットが本機に差し込まれているか確認してください。	用紙をセットする
原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？	適したサイズの用紙をセットしてください。	用紙をセットする
〔給紙トレイ〕が〔自動〕に設定されている場合、用紙トレイが選択可能ですか？	タッチパネルの〔機器設定〕を押して、〔用紙〕 > 〔印刷トレイ指定〕 > 〔コピー〕 > 使用する用紙が入った用紙トレイを選択し、〔オン〕または〔オン(優先)〕を選択してください。	給紙するトレイを指定してコピーする（給紙トレイ）（活用マニュアル）
両面印刷が可能な用紙がセットされていますか？	コピーする用紙のサイズ、用紙の種類、用紙厚の設定によっては両面印刷できません。 両面印刷が可能な用紙をトレイにセットし、用紙サイズ、用紙の種類、用紙厚を正しく設定してください。	用紙をセットする
用紙トレイの用紙の種類は、〔普通紙〕または〔再生紙〕に設定されていますか？	〔給紙トレイ〕を〔自動〕に設定する場合、用紙トレイの用紙の種類を〔普通紙〕または〔再生紙〕に設定してください。	用紙をセットする
用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	用紙がつまったとき
トナーがなくなっていないですか？	新しいトナーカートリッジと交換してください。	トナーカートリッジを交換する
イメージドラムが寿命になっていませんか？	新しいイメージドラムと交換してください。	イメージドラムのみを交換する
定着器ユニットが寿命になっていませんか？	新しい定着器ユニットと交換してください。	定着器ユニットを交換する（活用マニュアル）
ベルトユニットが寿命になっていませんか？	新しいベルトユニットと交換してください。	ベルトユニットを交換する（活用マニュアル）
本機のカバーが開いていませんか？	すべてのカバーを閉じてください。	-
エラーが発生していませんか？	エラーを解除してください。	エラーメッセージ一覧
ほかの動作中ではありませんか？	ほかの動作が終わったら、コピーを開始してください。	-

確認項目	対処方法	参照
パソコン等からの印刷中ではありませんか？	印刷が完了するまでお待ちください。	-
ファクスがリアルタイム送信中ではありませんか？	ファクスの送信が終わるまでお待ちください。	-
継続読み取りモードがオンになっていますか？	操作パネルの表示画面で「読み取り完了」を選択してください。	 複数の原稿を続けて読み取ってコピーする（継続読み取り）（活用マニュアル）
オフラインではありませんか？	操作パネルの  （プリント）を押し、[オンライン]を選択します。	-
コピー機能が使用できますか？	許可されたPINまたはユーザー名とパスワードを入力します。	 アクセス制限を有効にする（活用マニュアル）

● コピー倍率を変えてコピーできない

確認事項	対処方法	参照
「最適なサイズの内紙がありません。トレイの内紙を確認してください」と表示されていますか？	給紙したいトレイを指定してコピーしてください。または倍率を任意倍率で設定してください。	 原稿を拡大／縮小してコピーする（拡大／縮小）（活用マニュアル）
縮小率または拡大率から設定していますか？	指定された用紙サイズのトレイがありません。給紙したいトレイを指定してコピーしてください。または倍率を任意倍率で設定してください。	 原稿を拡大／縮小してコピーする（拡大／縮小）（活用マニュアル）

● ミックスコピーができない

確認項目	対処方法	参照
[ミックス原稿] が [オフ] に設定されていませんか？	[ミックス原稿] を [オン] に設定してください。	 サイズの異なる原稿を続けて読み取ってコピーする（ミックス原稿）（活用マニュアル）
ミックスコピー対象外の原稿サイズではありませんか？	ミックスコピー対象の原稿に変更してください。	 サイズの異なる原稿を続けて読み取ってコピーする（ミックス原稿）（活用マニュアル）
必要なサイズの内紙がセットされていますか？	各用紙トレイに、必要なサイズの内紙をセットしてください。用紙トレイの設定を、タッチパネルの [機器設定] > [用紙] > [印刷トレイ指定] > [コピー] から [オン] または [オン(優先)] に設定してください。	-

● ソートコピーができない

確認項目	対処方法	参照
[ソート] が [オフ] に設定されていませんか？	[ソート] を [オン] に設定してください。	 ページ順に1部ずつ仕分けてコピーする（ソート）（活用マニュアル）
メモリーがいっぱいではありませんか？	原稿の枚数を減らしてください。メモリーの空き容量を確認してください。メモリーから不要なジョブを削除してください。	 メモリ/ハードディスクの空き容量を確認する（活用マニュアル）

プリントのときのトラブル

ここでは、パソコンから印刷しているときのトラブルについて説明します。



- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターまたは販売店へご連絡ください。
- アプリケーションが原因の問題の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

• プリントできない

プリントできない

• Windows / Mac OS X 共通

原因	対処方法	参照
本機がスリープモード、またはデープスリープモードになっています。	操作パネルの (節電) を押して、待機状態に切り替えます。	節電機能の設定
本機の電源が入っていません。	電源を入れてください。	電源を入れる
LANケーブル/USBケーブルが外れています。	ケーブルが本機とパソコンに、正しく接続されているか確認してください。	LANケーブル/USBケーブルを接続する
ケーブルに問題があります。	新しいケーブルと交換してください。	-
本機がオフラインになっています。	操作パネルの (プリント) を押し、[オンライン] を選択します。	-
タッチパネルにエラーメッセージが表示されています。	タッチパネルに表示されるエラーメッセージを確認、またはタッチパネルの [?] を押してください。	エラーメッセージ一覧
インターフェースの設定が無効になっています。	本機の設定と接続環境に矛盾がないかどうか、タッチパネルでお使いのインターフェースの設定を確認してください。	LANケーブル/USBケーブルを接続する
印刷機能に問題があります。	メニューマップが印刷できるか確認してください。	本機の情報を確認する (活用マニュアル)
電源スイッチのLEDランプが約0.3秒周期で高速に点滅しています。 	本機が故障しています。直ちに電源コードを抜き、お客様相談センターまたは販売店へご連絡ください。	-

• Windows の場合

原因	対処方法	参照
本機が通常使うプリンターに設定されていません。	通常使うプリンターに設定します。 [デバイスとプリンター] フォルダで [OKI MC573 *] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] を選択します。 * ドライバーの種類を表します。(例 PCL6/PS/XPS/FAX)	-
プリンタードライバーの出力ポートが間違っています。	LANケーブル/USBケーブルが接続されている出力ポートを選択してください。	-

原因	対処方法	参照
ほかのインターフェースからの印刷を処理しています。	処理が完了するまでお待ちください。	-
タッチパネルに「無効なデータを受信しました」と表示され印刷しません。	タッチパネルの [機器設定] を押し、 [管理者設定] > [プリンター機能] > [印刷メニュー] > [印刷補正] > [タイムアウト印刷] を選択し、設定時間を長くします。工場出荷時の設定は40秒です。	-

スキャンのときのトラブル

ここでは、スキャン機能をお使いのときのトラブルについて説明しています。



以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターまたは販売店へご連絡ください。

- スキャンできない

スキャンできない

確認項目	対処方法	参照
電源が切れていませんか？	本機に電源を入れてください。	電源を入れる
ケーブルが外れていませんか？	ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	LANケーブル/USBケーブルを接続する
ケーブルが破損していませんか？	ケーブルを交換してください。	-
ネットワーク設定が間違っていますか？	ネットワーク設定を正しく行ってください。	LANケーブル/USBケーブルを接続する
エラーが発生していませんか？	表示画面に表示されているメッセージに従って処置してください。 スキャン To パソコンをお使いの場合は、「スキャン To パソコンのトラブル（活用マニュアル）」をご覧ください。	エラーメッセージ一覧 スキャン To パソコンのトラブル（活用マニュアル）

ファクスのときのトラブル

ここでは、ファクス機能をお使いのときのトラブルについて説明します。



以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターまたは販売店へご連絡ください。

- ファクスを送信できない
- ファクスを受信できない

ファクスを送信できない

● 送信できない

確認項目	対処方法	参照
送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作を行ってください。	ファクス番号を入力して送る
相手先の電話番号は正しいですか？	短縮ダイヤルを指定しているときは、正しく登録されているか、リストを印字して確認してください。	ファクス番号を入力して送る 電話帳から指定して送る（活用マニュアル） ワンタッチボタンから指定して送る（活用マニュアル） 送受信履歴から指定して送る（活用マニュアル）
ダイヤル種別は正しく設定されていますか？	お使いの電話回線に合ったダイヤル種別を設定してください。	運用初期設定（活用マニュアル）
ADSL環境に接続しているか、ひかり電話（IP電話）に接続していますか？	タッチパネルの【機器設定】を押して、【管理者設定】>【ファクス機能】>【ファクス基本設定】>【PBXライン】を【オン】にしてください。	管理者設定（活用マニュアル）
相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするように依頼してください。	-
通信管理レポートのエラーコードが【23】になっていますか？	タッチパネルの【機器設定】を押して、【管理者設定】>【運用初期設定】>【ダイヤル種別】をお使いの環境に合わせてください。	装置の情報を確認する（活用マニュアル） 運用初期設定（活用マニュアル）
通信管理レポートのエラーコードが【26】になっていますか？	タッチパネルの【機器設定】を押して、【管理者設定】>【ファクス機能】>【ファクス基本設定】>【PBXライン】の設定を変更してください。	装置の情報を確認する（活用マニュアル） 管理者設定（活用マニュアル）

● 原稿が連続して送信されない

確認項目	対処方法	参照
自動原稿送り装置に原稿を正しくセットしていますか？	原稿の先端をそろえてセットしてください。	原稿をセットする

●ダイヤルしたあと、 (スタート) を押しても、送信できない

確認項目	対処方法	参照
ダイヤル種別は正しく設定されていますか？	お使いの電話回線に合ったダイヤル種別を設定してください。	 運用初期設定 (活用マニュアル)
原稿は正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。	 原稿をセットする
電話番号は間違っていないですか？	正しい電話番号をダイヤルしてください。	-
相手が話中ではありませんか？	相手の通信が終了するまでお待ちください。	-

●手動送信できない

確認項目	対処方法	参照
受話器を置いたあとで  (スタート) を押していませんか？	先に  (スタート) を押してください。	 一度電話してからファクスを送信する (手動送信) (活用マニュアル)

●メモリー送信のとき原稿が読み込まれない

確認項目	対処方法	参照
原稿は正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。	 原稿をセットする
メモリーがいっぱいではありませんか？	送信予約を確認してください。 親展受信原稿を印刷してください。 掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除してください。 強制メモリー受信画を削除してください。	 指定した時刻に送信する (時刻指定) (活用マニュアル)  本機の親展ボックスに受信した文書を印刷する (活用マニュアル)  宛先の掲示板ボックスに保存された文書をファクス受信する (Fポーリング) (活用マニュアル)  強制メモリー受信を設定する (活用マニュアル)

ファクスを受信できない

●受信できない

確認項目	対処方法	参照
正しい受信モードを指定していますか？	受信モードを確認してください。	 受信モードを設定する
用紙はありますか？	用紙を補給してください。	 用紙をセットする
用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	 用紙がつまったとき
電話線ケーブルが本機と電話回線に正しく接続されていますか？	電話線ケーブルを正しく接続してください。	 電話線ケーブルを接続する
メモリーがいっぱいではありませんか？	送信予約を確認してください。 用紙切れや紙づまりなどを確認してください。 親展受信原稿を印刷してください。 掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除してください。 強制メモリー受信画を削除してください。	 ファクス送信を中止する  用紙がつまったとき  本機の親展ボックスに受信した文書を印刷する (活用マニュアル)  強制メモリー受信を設定する (活用マニュアル)
本機に電話をかけると話中になっていませんか？	相手先から話中で送信できないと言われる場合は、ナンバーディスプレイに契約されている電話回線の可能性があります。契約内容が不明の場合は回線事業者にお問い合わせください。 本機をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、本機のTELコネクターへナンバーディスプレイ対応電話機を接続して使用する場合には、本機の [応答待ち時間] の設定を、[10秒]、[15秒]、[20秒] のいずれかにしてください。	 着信から受信開始までの待ち時間を設定する (応答待ち時間)
ナンバーディスプレイ契約された回線で、[応答待ち時間] を短くしていませんか？		

●手動受信できない

確認項目	対処方法	参照
受話器を置いたあとで操作パネルの  (スタート) を押していませんか？	先に  (スタート) を押してください。	 受信モードを設定する
電話機が1回鳴ったときに受話器を取りましたか？	ナンバーディスプレイ対応回線に契約している場合、電話機が1回鳴ったときに受話器を取ると、正常に手動受信できない場合があります。2回以上鳴ってから受話器を取ってください。	-

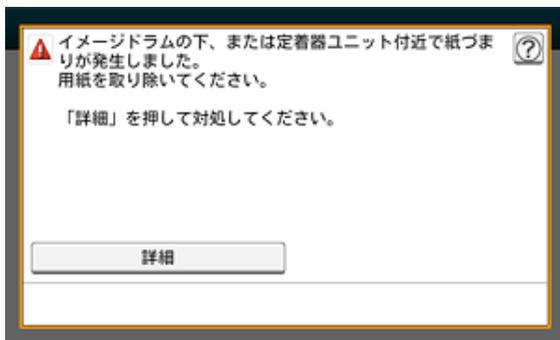
● Fポーリング受信ができない

確認項目	対処方法	参照
相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	-

操作パネルにエラーメッセージが表示されているとき

本機にエラーが発生すると、タッチパネルにエラーメッセージやエラーコード（3桁の数字）を表示し、操作パネルの （ステータス）が点滅または点灯します。

[詳細] を押し、画面に従ってエラーを解除します。



• エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧

しばらくお待ちください。ネットワーク初期化中です。

ネットワークを初期化しています。
オンラインになるまでしばらくお待ちください。

Checking File System

フラッシュメモリーのファイルシステムをチェックしています。しばらくお待ちください。

点検をお受けください。PU フラッシュメモリエラー

装置の電源を切り、再度電源を入れてください。同じエラーが表示された場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

点検をお受けください。PU通信エラー

装置の電源を切り、再度電源を入れてください。同じエラーが表示された場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

オフライン中です。

タッチパネルの [プリント] > [オンライン] を押してください。オンラインになると、操作パネルの （ステータス）が消灯します。

データがあります。

印刷していないデータが残っています。しばらく待ってもメッセージが消えないときは、データを確認してください。

データ削除中です。

ジョブがキャンセルされたか、または印刷を許可されていません。しばらくお待ちください。

温度調整中です。

定着器ユニットの温度を調整しています。しばらくお待ちください。

プリンタ準備中です。

装置が色ずれや濃度の調整をおこなっています。しばらくお待ちください。

しばらくお待ちください。メンテナンス中です。

装置のプログラムをアップデートしています。
アップデートが完了するまで、電源を切らないでください。
アップデートが完了すると、装置は自動的に再起動します。

トナーの交換時期が近づいています。

表示されている色のトナーが少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。

廃棄トナーがいっぱいになりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。

廃棄トナーがいっぱいです。表示している色のトナーカートリッジを新しいものに交換してください。
C：シアン（青色）、M：マゼンタ（赤色）

このプリンターに最適なCトナーカートリッジが装着されていません。

本機に最適なC（シアン、青色）トナーカートリッジが装着されていません。
お使いの装置に合ったトナーカートリッジをご使用ください。

このプリンターに最適なMトナーカートリッジが装着されていません。

本機に最適なM（マゼンタ、赤色）トナーカートリッジが装着されていません。
お使いの装置に合ったトナーカートリッジをご使用ください。

このプリンターに最適なYトナーカートリッジが装着されていません。

本機に最適なY（イエロー）トナーカートリッジが装着されていません。
お使いの装置に合ったトナーカートリッジをご使用ください。

このプリンターに最適なKトナーカートリッジが装着されていません。

本機に最適なK（ブラック）トナーカートリッジが装着されていません。
お使いの装置に合ったトナーカートリッジをご使用ください。

ポストスクリプトエラー

ポストスクリプトエラーが発生しました。データを確認してください。

イメージドラムの交換時期が近づいています。

表示されている色のイメージドラムに寿命が近づいています。新しいイメージドラムを準備してください。
C：シアン（青色）、M：マゼンタ（赤色）、Y：イエロー、K：ブラック

定着器ユニットの交換時期が近づいています。

定着器ユニットの寿命が近づいています。新しい定着器ユニットを準備してください。

ベルトユニットの交換時期が近づいています。

ベルトユニットの寿命が近づいています。新しいベルトユニットを準備してください。

定着器ユニットが寿命です。新しい定着器ユニットに交換してください。

定着器ユニットが寿命になりました。
新しい定着器ユニットに交換してください。

ベルトユニットが寿命です。新しいベルトユニットに交換してください。

ベルトユニットが寿命になりました。
新しいベルトユニットに交換してください。

トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。

表示している色のトナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。
C：シアン（青色）、M：マゼンタ（赤色）、Y：イエロー、K：ブラック

トナーカートリッジが装着されていません。

表示している色のトナーカートリッジが取り付けられていません。
トナーカートリッジを取り付けてください。
C：シアン（青色）、M：マゼンタ（赤色）、Y：イエロー、K：ブラック

イメージドラムが寿命です。新しいイメージドラムに交換してください。

表示している色のイメージドラムが寿命になりました。
新しいイメージドラムに交換してください。
C：シアン（青色）、M：マゼンタ（赤色）、Y：イエロー、K：ブラック

用紙がありません。

表示しているトレイに用紙がありません。用紙をセットしてください。

ファイルシステムがいっぱいです。

ファイルシステムの空き容量がなくなりました。
不要なファイルを削除してください。

ファイルシステムへの書き込みは禁止されています。

書き込みが禁止されているファイルへ書き込もうとしました。
ファイル名を確認してください。

メモリー不足が発生しました。

丁合印刷中にメモリー不足が発生しました。
印刷するデータ量を減らしてください。

メモリー不足が発生しました。 Error:014

パソコンからのPCファクスデータを受信中にメモリー不足になりました。[閉じる] ボタンを押してください。

アクセス制限エラー許可されていないユーザーのデータを削除しました。

印刷許可、またはファクス送信許可のないユーザーが印刷／ファクス送信しようとしたため、データを削除しました。装置を使用するには、管理者へ問い合わせてください。

ファイル消去中です。

保存されていた文書ファイルを消去しています。
しばらくお待ちください。

消去対象ファイルがいっぱいです。

消去待ちのファイルがいっぱいになりました。ファイルを消去してください。

期限切れの保存文書を削除しました。

保存期間がすぎたプライベートジョブ印刷文書ファイルを自動的に消去しました。

ファイルシステムアクセスエラー

ファイルシステムのエラーが発生しました。[閉じる] ボタンを押してください。

フラッシュメモリエラー

装置のファームウェアを書き換え中にエラーが発生しました。
管理者へ連絡してください。

無効なデータを受信しました。

無効な印刷データまたはPCファクス送信用のデータを受信しました。この表示を消すには、[閉じる] ボタンを押してください。
プライベートジョブ印刷をしていた場合は、データが完全ではなかったため、削除されました。再度印刷してください。

印刷形式が制限されているため、受信したデータを破棄しました。

ジョブ制限設定で指定されている印刷形式以外のデータを受信したため、処理を行わずに破棄しました。
プリンタードライバーの [印刷形式] で、装置のジョブ制限設定で指定されている印刷形式を選択して再度印刷してください。

 プリンタードライバーの画面と機能

手差し印刷を行ないます。

手差し印刷を行います。MPトレイに用紙をセットしてください。

**用紙をかえてください。[用紙サイズ]・[用紙種類] をセットしてください。
Error：461, 462, 463, 464**

表示されているトレイの用紙が印刷しようとしている用紙と一致しませんでした。印刷しようとしているアプリケーションの用紙設定とトレイの用紙設定を確認して用紙サイズを合わせてください。

用紙をかえてください。[用紙サイズ]・[用紙種類] をセットしてください。
Error : 460

MPトレイの用紙が印刷しようとしている用紙と一致しませんでした。印刷しようとしているアプリケーションの用紙設定とMPトレイの用紙設定を確認してください。

しばらくお待ちください。ネットワーク設定を保存中です。

装置のネットワーク設定が変更されたため、変更内容を保存しています。しばらくお待ちください。

しばらくお待ちください。ネットワーク初期化中です。

装置のネットワーク設定を初期化しています。しばらくお待ちください。

[トレイ] の用紙がありません。[用紙サイズ] をセットしてください。 Error : 490, 491, 492, 493, 494

表示しているトレイに用紙がありません。表示しているサイズの用紙をセットしてください。

[トレイ] のカセットが入っていません。いったん引き出して、入れ直してください。 Error : 440, 441, 430, 431, 432, 433

表示しているトレイのカセットがありません。カセットを入れてください。カセットが入っている場合は、一度カセットを引き抜いて、入れ直してください。

メモリー不足が発生しました。 Error : 420

印刷データが複雑なため、データ処理中にメモリー不足になりました。印刷データを減らしてください。

廃棄トナーがいっぱいになりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。 Error : 414, 415, 416, 417

表示しているトナーカートリッジの廃棄トナーがいっぱいになりました。本体排紙トレイを開閉するとしばらくは使用できますが、イメージドラムが損傷するおそれがありますので、速やかに新しいトナーカートリッジに交換してください。

C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)

トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。
Error : 410, 411, 412, 413

表示している色のトナーがなくなりました。
本体排紙トレイを開閉するとしばらくは使用できますが、イメージドラムが損傷するおそれがありますので、速やかに新しいトナーカートリッジに交換してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

このプリンターに最適なCトナーカートリッジが装着されていません。 Error : 552, 556, 616, 622

C (シアン、青色) トナーが、この装置に最適なトナーカートリッジではありません。
この装置に最適なトナーカートリッジをご使用になることをお奨めします。

このプリンターに最適なMトナーカートリッジが装着されていません。
Error : 551, 555, 615, 621

M (マゼンタ、赤色) トナーが、この装置に最適なトナーカートリッジではありません。
この装置に最適なトナーカートリッジをご使用になることをお奨めします。

このプリンターに最適なYトナーカートリッジが装着されていません。
Error : 550, 554, 614, 620

Y (イエロー) トナーが、この装置に最適なトナーカートリッジではありません。
この装置に最適なトナーカートリッジをご使用になることをお奨めします。

このプリンターに最適なKトナーカートリッジが装着されていません。
Error : 553, 557, 617, 623

K (ブラック) トナーが、この装置に最適なトナーカートリッジではありません。
この装置に最適なトナーカートリッジをご使用になることをお奨めします。

トナーカートリッジが装着されていません。 Error : 610, 611, 612, 613

表示している色のトナーカートリッジが取り付けられていません。
トナーカートリッジを取り付けてください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

イメージドラムでセンサーエラーが発生しました。イメージドラムをセットし直してください。 Error : 540, 541, 542, 543

表示している色のイメージドラムで、トナーセンサーエラーが発生しました。
イメージドラムを一旦取り出して、セットし直してください。
メッセージが消えない場合は、トナーカートリッジを一旦取り外して、セットし直してください。
トナーカートリッジが取り付けられていない場合は、トナーカートリッジを取り付けてください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

用紙が重なって給紙されました。用紙をセットし直してください。 Error : 401

表示しているトレイから、用紙が一度に複数枚給紙されました。
トレイからカセットを取り出し、用紙をセットし直してください。

用紙サイズエラーが発生しました。用紙をセットし直してください。 Error : 400

表示しているトレイで用紙サイズエラーが発生しました。セットされている用紙のサイズと、操作パネルから設定した [用紙サイズ] が一致しているか、確認してください。用紙のサイズや向きを合わせて、入れ直してください。操作パネルから設定した [用紙サイズ] が間違っていた場合は、印刷をキャンセルしてから、操作パネルから設定した [用紙サイズ] を正しく設定して、もう一度印刷し直してください。
また、一度に複数枚の用紙が給紙されていないかも確認してください。複数枚給紙されている場合は、カセットから用紙を取り出し、セットし直してください。

紙づまりが発生しました。本体排紙トレイを開けて用紙を取り除いてください。 Error : 390

MPトレイからの給紙で紙づまりが発生しました。つまっている用紙を取り除いてください。
用紙の先端が見えないときは、本体排紙トレイを開けて、用紙を取り除いてください。

紙づまりが発生しました。カセットを引き出して用紙を取り除いてください。 Error : 391, 392, 393

表示しているトレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。
カセットを引き抜いて、用紙を取り除いてください。用紙が複数枚給紙されているときは、一旦用紙を取り出し、セットしなおしてください。
用紙ストッパーの位置が用紙に合っているかも確認してください。

イメージドラムの下、または定着器ユニット付近で紙づまりが発生しました。用紙を取り除いてください。 Error : 380, 381, 382, 383, 385, 389

装置内部で紙づまりが発生しました。
本体排紙トレイを開けて、紙を取り除いてください。

ベルトユニットの下、または定着器ユニット付近で紙づまりが発生しました。用紙を取り除いてください。 Error : 370, 371, 372

装置内部で紙づまりが発生しました。
本体排紙トレイを開けて、紙を取り除いてください。

イメージドラムが寿命です。新しいイメージドラムに交換してください。 Error : 350, 351, 352, 353

表示している色のイメージドラムが寿命になりました。
新しいイメージドラムに交換してください。
本体排紙トレイを開閉すると、しばらくは使用できませんが、早めに交換してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

イメージドラムが寿命です。新しいイメージドラムに交換してください。 Error : 560, 561, 562, 563, 564, 565, 566, 567

表示している色のイメージドラムが寿命になりました。
新しいイメージドラムに交換してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

イメージドラムが寿命のため印刷を停止しました。新しいイメージドラムに交換してください。 Error : 680, 681, 682, 683

表示している色のイメージドラムが寿命になったため、印刷を停止しています。印刷するには、新しいイメージドラムに交換してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

定着器ユニットが寿命です。新しい定着器ユニットに交換してください。 Error : 354

定着器ユニットが寿命になりました。
新しい定着器ユニットに交換してください。
本体排紙トレイを開閉すると、しばらくは使用できませんが、印刷品質を保つためには、早めに交換してください。

ベルトユニットが寿命です。新しいベルトユニットに交換してください。
Error : 355

ベルトユニットが寿命になりました。
新しいベルトユニットに交換してください。
本体排紙トレイを開閉すると、しばらくは使用できますが、印刷品質を保つためには、早めに交換してください。

定着器ユニットが正しく装着されていません。定着器ユニットをセットし直してください。 Error : 348

定着器ユニットが正しく取り付けられていません。定着器ユニットを取り付けなおしてください。取り付け直しても同じエラーが発生する場合は、定着器ユニットを交換してください。

廃棄トナーがいっぱいになりました。新しいベルトユニットに交換してください。
Error : 356

ベルトユニットの廃棄トナーがいっぱいになりました。新しいベルトユニットに交換してください。本体排紙トレイを開閉すると、しばらくは使用できますが、印刷品質を保つために、早めに交換してください。

トナーカートリッジが正しく装着されていません。 Error : 544, 545, 546, 547

表示している色のトナーカートリッジが正しく取り付けられていません。
トナーカートリッジのレバーをいっぱいまで回しているか、保護テープをはがし忘れているか、確認してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

イメージドラムが正しく装着されていません。イメージドラムをセットし直してください。 Error : 340, 341, 342, 343

表示している色のイメージドラムが正しく取り付けられていません。
イメージドラムを取り付け直してください。
C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

定着器ユニットが正しく装着されていません。定着器ユニットをセットし直してください。 Error : 320

定着器ユニットが正しく取り付けられていません。定着器ユニットを取り付けなおしてください。

ベルトユニットが正しく装着されていません。ベルトユニットをセットし直してください。 Error : 330

ベルトユニットが正しく取り付けられていません。ベルトユニットを取り付けなおしてください。

[カバー] が開いています。 Error : 310

表示している箇所が開いています。閉じてください。
Error : 310 本体排紙トレイ

装置を再起動してください。

装置の電源を切り、再度電源を入れてください。同じエラーが表示された場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

点検をお受けください。

装置の電源を切り、再度電源を入れてください。
同じエラーが表示された場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

キャンセル中です。

コピー中にキャンセルボタンが押されたため、コピーをキャンセルしています。しばらくお待ちください。

自動原稿送り装置 (ADF) カバーが開いています。

スキャナーの自動原稿送り装置のカバーが開いています。カバーを閉じてください。

原稿づまりが発生しました。スキャナーの自動原稿送り装置 (ADF) カバーを開けて確認してください。

スキャナーの自動原稿送り装置で原稿づまりになりました。
自動原稿送り装置のカバーを開けて、詰まった原稿を取り除いてください。

ランプを確認してください。

スキャナーのランプの光量が低下しています。お客様相談センターに連絡してください。

装置を再起動してください。キャリッジエラー <1>

スキャナーのキャリッジ動作に異常が発生しました。装置の電源を切り、再度電源を入れてください。同じエラーが発生する場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

USBメモリーが一杯のため保存できませんでした。

スキャン To USBメモリーを実行中に、USBメモリーがいっぱいになったため、保存を中断しました。USBメモリーの容量を確認してください。

USBメモリーへの書き込みに失敗しました。

USBメモリーが書き込み禁止になっています。USBメモリーを書き込みできるようにしてください。

USBメモリーが未接続のため保存できませんでした。

スキャン To USBメモリーを実行中にUSBメモリーが抜かれました。USBメモリーを接続し、操作をやり直してください。

PCとの接続に失敗しました。

スキャン To パソコンを実行しようとして、パソコンを検出できませんでした。パソコンの電源が入っているか、書き込み可能になっているか確認してください。

この表示を消すには、[閉じる] ボタンを押してください。

 スキャン To パソコンのトラブル (活用マニュアル)

受信でメモリー不足が発生しました。

ファクスを受信中にメモリー不足になりました。メモリーの空き容量を確認してください。

通信エラー

ファクスを送信中または受信中にエラーが発生しました。

電話

外付け電話を使用しています。使用中の電話が終わってから、装置をご使用ください。

ファイル送信エラー

スキャン To 共有フォルダーを実行中に、サーバーがダウンした、LANケーブルが抜けた、などの障害が発生しました。ネットワークを点検してください。
この表示を消すには [閉じる] ボタンを押してください。

SMTP設定を確認してください。

SMTPサーバーに接続できませんでした。ネットワーク設定を確認してください。

POP3設定を確認してください。

POP3サーバーに接続できませんでした。ネットワーク設定を確認してください。

SMTPサーバーにログインできませんでした。

SMTPサーバーにログインしようとして、認証エラーになりました。
ネットワーク設定を確認してください。

SMTPサーバーが認証に対応していません。

SMTPサーバーが認証に対応していません。
ネットワーク設定を確認してください。

POP3サーバーにログインできませんでした。

POP3サーバーにログインしようとして、認証エラーになりました。
ネットワーク設定を確認してください。

IPアドレスの取得に失敗しました。DHCP設定を確認してください。

DHCPサーバーを検出できませんでした。ネットワークを確認してください。

DNS設定を確認してください。

DNSサーバーに接続できませんでした。ネットワークを確認してください。

サーバー設定を確認してください。

ファイルサーバーに接続できませんでした。ネットワーク設定を確認してください。

ファイルサーバーにログインできませんでした。

ファイルサーバーにログインできませんでした。サーバーの設定を確認してください。

ディレクトリーに入れません。

FTPサーバーのディレクトリーに接続できませんでした。サーバーの設定を確認してください。

転送タイプを変更してください。

FTPサーバーが、本機側が通信で使用しているファイル転送タイプを受け入れなかったため、FTPサーバーにファイルを送信できませんでした。FTPサーバーが「バイナリ」のファイル転送タイプを受け入れるように変更してください。

ファイルを書き込む権限がありません。

スキャン To 共有フォルダーを実行しましたが、ファイルを書き込めませんでした。共有フォルダーのアクセス権限を確認してください。

保存領域が一杯です。

FTPサーバーの空き容量が不足しています。不要なファイルを削除して、空き容量を確保してください。または、ファクスのメモリー容量が不足しているか、強制メモリー受信により、受信したファクスが溜まっています。プレビューで不要な画像を削除し、空き容量を確保してください。

ファイル名を変更してください。

許可されていないファイル名を使用しました。FTPサーバーの設定を確認し、ファイル名を変更してください。

本機で使用する通信プロトコルをサポートしていないサーバーです。

サーバーがCIFSまたはFTPに対応していません。サーバーの設定を確認してください。

共有名を確認してください。

ネットワーク上の共有フォルダー名が正しくありません。フォルダーの名称を確認してください。

USBメモリーをセットしてください。

USBメモリーを接続しないで、スキャン To USBメモリーや、USBメモリーからの印刷を実行しようとした。USBメモリーを差し込んでください。

カセットが入っていません。

表示しているトレイのカセットが抜かれています。カセットを差し込んでください。

アクセス制限エラー カラー印刷制限されているためモノクロ印刷しました。

カラー印刷を許可されていないユーザーがカラー印刷したため、モノクロで印刷されました。カラー印刷する場合は、装置の管理者へ連絡してください。

アクセス制限エラー カラー印刷制限されているためデータを削除しました。

カラー印刷を許可されていないユーザーがカラー印刷したため、印刷をしないで、データが削除されました。カラー印刷する場合は、装置の管理者へ連絡してください。

アクセス制限エラー 印刷制限されているためデータを削除しました。

印刷を許可されていないユーザーが印刷したため、印刷をしないで、データが削除されました。印刷する場合は、装置の管理者へ連絡してください。

対応していないUSB機器が接続されました。接続したUSB機器をはずしてください。

この装置が対応していないUSB機器が接続されました。USB機器を抜いてください。

接続したUSB機器をはずしてください。USB機器が正しく認識できませんでした。

USB機器が接続されましたが、正しく認識できませんでした。USB機器を抜いてください。

USB Hubをはずしてください。USB Hubが接続されています。

装置にUSBハブが接続されました。USBハブを抜いてください。本装置はUSBハブに対応していません。

点検をお受けください。SIPエラー

装置の電源を切り、再度電源を入れてください。同じエラーが表示された場合は、お客様相談センターへ連絡してください。

ジョブログデータベースエラー

ジョブのログを書き込み中、または読み出し中にデータベースアクセスエラーが発生しました。装置の電源を切り、再度電源を入れることで解決される可能性があります。この表示を消すには、[閉じる] ボタンを押してください。

ジョブログバッファフル(古いログを削除)

ジョブログのバッファがいっぱいになったため、古いログを削除しました。

デコードエラーが発生しました。入力した画像データを確認ください。

装置に送信された画像データでエラーが発生しました。画像データを確認してください。

デバイスの空き容量がなくなったため、処理をキャンセルしました。デバイスの使用量を減らし、十分な空き容量を確保してから再度実行してください。

デバイスの空き容量がなくなったため、処理をキャンセルしました。デバイスの使用量を減らし、十分な空き容量を確保してから再度実行してください。

デバイスに異常が発生したため、処理をキャンセルしました。デバイスを修理、または交換後、再度実行してください。

デバイスに異常が発生したため、処理をキャンセルしました。デバイスを修理、または交換後、再度実行してください。

PCとの接続が拒否されました。PCの状態を確認してください。

スキャン To パソコンを実行しようとして、パソコンに接続できませんでした。パソコンの設定を確認してください。

 [スキャン To パソコンのトラブル \(活用マニュアル\)](#)

データ削除中です。

カラートナーが無くなっているため、カラー印刷ジョブのデータを削除しています。しばらくお待ちください。

PDFエラー

PDFファイルにエラーがありました。ファイルを確認してください。

このPDFファイルは、パスワードによって保護されています。

PDFに暗号化パスワードが設定されています。印刷するには、正しいパスワードを入力してください。

このPDFファイルは、オーナーパスワードによって印刷が制限されています。

印刷制限されたPDFを印刷しようとした。印刷するには、正しいパスワードを入力してください。

SNTPサーバーと通信できませんでした。

SNTPサーバーから時刻を取得できませんでした。SNTPサーバーの設定を確認してください。

USBメモリーが未接続のため読み取りできませんでした。

USBメモリーから印刷しているときに、USBメモリーが引き抜かれました。印刷中は、USBメモリーを引き抜かないでください。

ファイルが開けませんでした。

指定したファイルを開けませんでした。ファイルを確認してください。

ファイル読み取りエラー

ファイルの読み込みができませんでした。ファイルを格納しているデバイスを確認してください。

イメージドラムでセンサーに異常が発生しています。

表示している色のイメージドラムで、センサーエラーが発生しました。イメージドラムを一旦取り出して、セットし直してください。メッセージが消えない場合は、トナーカートリッジを一旦取り外して、セットし直してください。

後方排紙トレイが開いているため、両面印刷ができません。Error : 581

両面印刷しようとしたが、後方排紙トレイが開いていて印刷できません。後方排紙トレイを閉めて、やり直してください。

印刷中に後方排紙トレイが操作されたため、印刷を停止しました。 Error : 409

両面印刷中に、後方排紙トレイを動かしてしまいました。
後方排紙トレイを閉じて、装置内部に残っている用紙を取り除いてください。

トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。

表示している色のトナーがなくなりました。
新しいトナーカートリッジに交換してください。

タイムアウト印刷が無効です。USB接続でご使用の場合、本設定に変更するとUSBポート以外から印刷できなくなる場合があります。

タイムアウト印刷が無効に設定されています。タッチパネルの【機器設定】を押して、【管理者設定】>【プリンター機能】>【印刷メニュー】>【印刷補正】>【タイムアウト印刷】を選択し、タイムアウト印刷時間を設定してください。

ファクス送信予約中にメモリー不足が発生しました。

ファクス原稿の読み取り中にメモリー不足が発生しました。
以下の対処方法を行い、メモリー不足を解消してください。

- 送信予約を確認してください。
- 親展受信原稿を印刷してください。
- 掲示板ボックスに蓄積された原稿や強制メモリー受信画を削除してください。

メモリー不足が発生しました。

ファクス受信中にメモリー不足が発生しました。
以下の対処方法を行い、メモリー不足を解消してください。

- 送信予約を確認してください。
- 用紙切れや紙づまりがないかなどを確認してください。
- 親展受信原稿を印刷してください。
- 掲示板ボックスに蓄積された原稿や強制メモリー受信画を削除してください。

Eメールの受信がキャンセルされました。

Eメールのフォーマットが未サポートの場合や添付ファイルが大きい場合、Eメールの受信がキャンセルされました。
メールのフォーマットや添付ファイルの大きさを確認してください。

無線の設定が不十分です。

無線LANの設定値に誤りや不足があります。無線設定を再確認してください。

無線アクセスポイントに接続していません。

無線LANアクセスポイントを検出できませんでした。
アクセスポイントの電源が入っているか、確認してください。
無線LANの接続をやり直してください。

無線の起動に失敗しました。

装置の電源をOFFし、無線LANモジュールが正しく装着されていることを確認してから、装置を再起動してください。それでも改善しない場合は、お客様相談センターまたは販売店に連絡してください。

ファームウェアアップデートエラー 再度ファームウェアアップデートを実行してください。ネットワーク接続できない場合、USB接続でファームウェアアップデートを実行してください。

ファームウェアのアップデートに失敗しました。もう一度アップデートしてください。

Googleクラウドプリント登録中です。登録完了まで電源を切らないでください。

Googleクラウドプリントサービスへのプリンターの登録処理中です。しばらくお待ちください。

Googleクラウドプリント削除中です。

Googleクラウドプリントサービスからプリンターを削除しています。しばらくお待ちください。

当社指定外の消耗品が実装されています。 Error : 709

当社指定外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能が発揮できない場合があります。また当社指定外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であって有償となるか、または保守契約の対象外となります。
以上の点をご理解のうえ当社指定外の消耗品をご使用される場合は、次の操作を行ってください。

- (1) 本機の電源を切る
- (2) 操作パネルの **C**(クリア) を押したまま電源を入れる
- (3) ホーム画面になったら **C**(クリア) を離す

上記の操作履歴は装置内部に記録されます。
ご不明な点は当社お客様相談センターへ連絡してください。

イメージドラムを交換してください。残り [枚数] ページで印刷を停止します。

表示している色のイメージドラムが寿命になっています。

新しいイメージドラムに交換してください。

C : シアン (青色)、M : マゼンタ (赤色)、Y : イエロー、K : ブラック

データ受信タイムアウトエラー

データが適正な時間内に受信できませんでした。

タッチパネルの [機器設定] を押し、[管理者設定] > [プリンター機能] > [印刷メニュー] > [印刷補正] > [タイムアウト印刷] を選択し、タイムアウト印刷時間を長めに設定してください。

IPv4アドレスが重複しています。別のIPv4アドレスを設定してください。

本装置に設定されたIPアドレスが他の装置と重複しています。

IPアドレスを確認し、別のIPアドレスを設定してください。

全ページ白紙が検出されました。セットした原稿をご確認ください。

スキャナーで読み込んだ原稿が全て白色でした。原稿を裏返してセットしてください。

両面印刷できない用紙設定のため、片面印刷しました。この表示を消すには「閉じる」ボタンを押してください。

両面印刷できない用紙に両面印刷しようとしてしました。

用紙の種類や厚さを確認してください。

[閉じる] ボタンを押してください。

言語切り替え中です。パネルの操作はできません。暫くお待ち下さい。

タッチパネルに表示する言語を切り替えています。

しばらくお待ちください。

Language Change Failed. Error num:%CODE%

LCDパネルの表示言語の切り替えに失敗しました。 (電源) を押し、電源を切り、再度電源を入れてください。

内部データベースの異常を検出しました。データをクリアします。[Format] ボタンを押すと、データをクリアし、再起動します。

データベースが復旧不可能な状態になっています。

データベースを削除するには、[Format] ボタンを押してください。

アカウントの残高が0のため、印刷できません。印刷するユーザー名：[ユーザー名] 残高不足のアカウント名：[アカウント名] 印刷を再開する場合は、残高を追加して [印刷再開] を選択してください。残高の追加は装置管理者に依頼してください。印刷を中止する場合は、[印刷中止] を選択してください。

印刷制限枚数を超えたため、印刷できません。装置の管理者に連絡してください。

10

本機¹の管理／仕様一覧

管理者パスワードの変更

節電機能の設定

仕様

消耗品・メンテナンス品・オプション・用紙一覧

ここでは、本機の管理に関することや仕様について説明します。

管理者パスワードの変更

お客様のセキュリティを守るために、管理者パスワードを変更することをおすすめします。管理者パスワードは6～12桁の英数字で設定します。変更したパスワードは、忘れないよう、注意してください。パスワード初期化は、保守員による有償作業となる場合があります。

- 1 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、[管理者設定] を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 ▲または▼を数回押し、[機器管理] を押します。
- 5 ▲または▼を数回押し、[管理者パスワード] を押します。
- 6 新しいパスワードを入力して、[OK] を押します。
- 7 パスワードを再入力します。
- 8 [OK] を押します。

節電機能の設定

本機は、パワーセーブモード、スリープモード、ディープスリープモードの3つの節電モードを備えています。

節電モードに入ると、画面が消灯し、節電ランプが点灯または点滅します。

節電モードに入るには、 (節電) を押します。

また、一定時間（工場出荷時の設定では1分）使用しないと、パワーセーブモードに移行します。

パワーセーブモードからさらに一定時間（工場出荷時の設定では15分）使用しないと、スリープモード、ディープスリープモードに移行します。



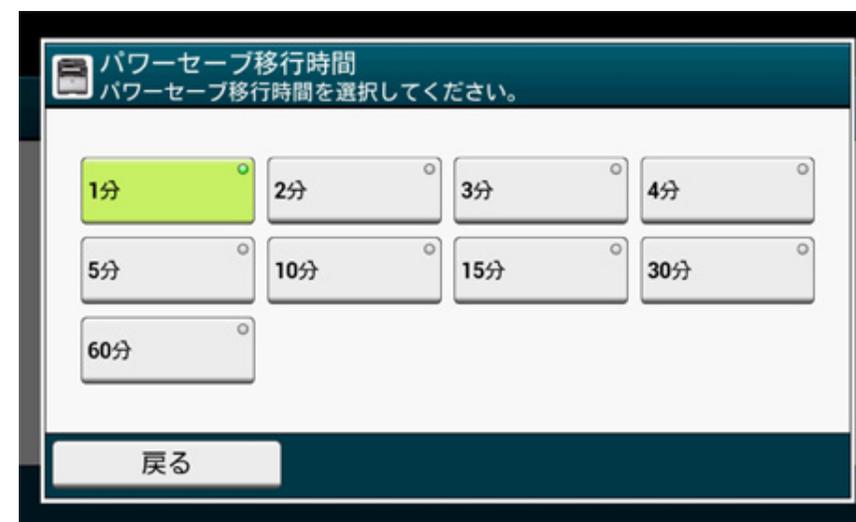
- パワーセーブモードに入るまでの時間を変更するには、「パワーセーブモードに移行する時間を設定する」をご覧ください。
- スリープモードに入るまでの時間を変更するには、「スリープモードに移行する時間を設定する」をご覧ください。

節電モードから復旧するには、 (節電) を押します。また、コンピューターや他の機器からデータを受信したり、原稿をセットしても、節電モードから復旧します。

- パワーセーブモードに移行する時間を設定する
- スリープモードに移行する時間を設定する
- 節電機能の制限事項
- 自動的に電源を切る（オートパワーオフ）
- オートパワーオフまでの時間を設定する

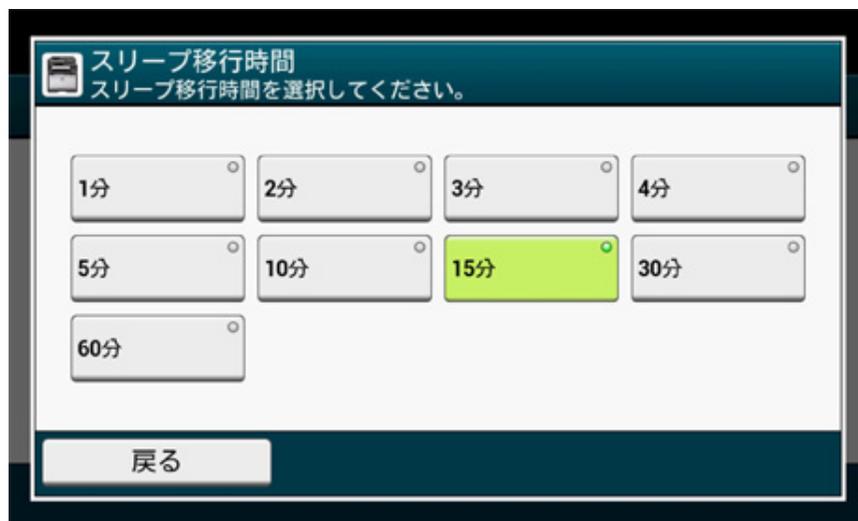
パワーセーブモードに移行する時間を設定する

- 1 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、[管理者設定] を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 ▲または▼を数回押し、[機器管理] を押します。
- 5 [節電モード] を押します。
- 6 [パワーセーブ移行時間] を押します。
- 7 移行時間を選択します。



スリープモードに移行する時間を設定する

- 1 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、[管理者設定] を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 ▲または▼を数回押し、[機器管理] を押します。
- 5 [節電モード] を押します。
- 6 [スリープ移行時間] を押します。
- 7 移行時間を選択します。



節電機能の制限事項

次の場合には、スリープモードに移行しません。

- 本機にエラーが発生している場合
- ファクスの時刻指定送信を設定している場合
- ファクス送信のリダイヤル待ちの場合など
- アクセス制御設定のうち、アクセス制限が有効であり、なおかつ認証方式のうちローカルICカード認証、またはLDAP ICカード認証が有効になっている

次の場合には、本機はディープスリープモードに移行しません。

- IPsecが有効になっている
- TCPのコネクションが確立している
例：TELNET、FTPでコネクションを確立している場合など。
パワーセーブ状態でスリープモードまたはディープスリープモード移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。
- Eメール受信が有効になっている
- 無線LANが有効になっている
- Googleクラウドプリントが有効になっている
- LLTDが有効になっている
- IPv6 Global Addressが割り当てられているとき

ディープスリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

- NBT

ディープスリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索や設定はできません。

- NBT

ディープスリープモード中は、クライアント機能を持つ以下のプロトコルが動作しません。

- Eメールアラート*2
- SNMP Trap
- WINS*1
- SNTP*2

- *1 ディープスリープモード中の経過時間は、WINSの更新時間の間隔には含まれません。ディープスリープモード中はWINSの定期更新を行わないため、WINSサーバーに登録された名前が削除されることがあります。
- *2 ディープスリープモード中の経過時間は、Eメールアラートの定期的な通知時間の間隔、NTPサーバーに対する更新時間の間隔に含まれません。

大量のパケットが流れているネットワーク環境では、ディープスリープモードからスリープモードに自動的に移行して応答することがあります。

また、MacやiPhoneなど、Bonjour検索をする端末が同じネットワークに接続されている場合、ディープスリープモードからスリープモードに自動的に移行して応答します。

一定時間経過すると、ディープスリープモードへ移行します。

自動的に電源を切る（オートパワーオフ）

本機は、一定時間使用しないと自動的に電源を切る機能（オートパワーオフ）を搭載しています。

オートパワーオフの設定は3種類あり、工場出荷時は「自動設定」に設定されています。

- [自動設定]：一定時間本機を使用しないと自動的に電源が切れますが、以下の状態では、自動的に電源が切れません。
 - LANケーブルをネットワークインターフェースコネクタに接続している
 - 電話線ケーブルを回線コネクタに接続している
 - 無線LANが有効になっている
- [有効]：一定時間本機を使用しないと、自動的に電源が切れます。
- [無効]：オートパワーオフ機能を無効にします。自動的に電源は切れません。



以下の場合、オートパワーオフしません。

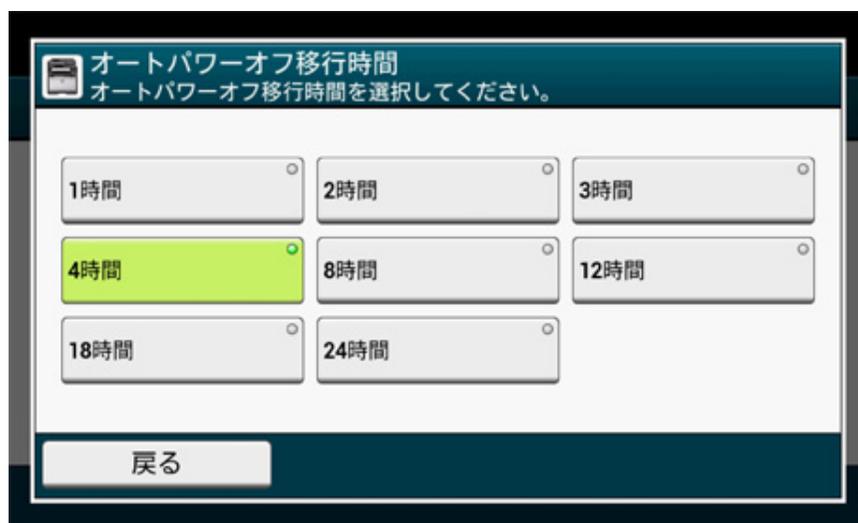
- エラーが発生している場合
- 時刻指定送信が予約されている場合
- ファクス送信がリダイヤル待ちとなっている場合

オートパワーオフの設定の変更は、以下の手順で行います。

- 1 タッチパネルの「機器設定」を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、「管理者設定」を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、「OK」を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 ▲または▼を数回押し、「運用初期設定」を押します。
- 5 「電力設定」を押します。
- 6 「オートパワーオフ」を押します。
- 7 設定したい値を選択します。

オートパワーオフまでの時間を設定する

- 1 タッチパネルの [機器設定] を押します。
- 2 ▲または▼を数回押し、[管理者設定] を押します。
- 3 管理者名と管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
工場出荷時は、管理者名「admin」、管理者パスワード「999999」が登録されています。
- 4 ▲または▼を数回押し、[機器管理] を押します。
- 5 [節電モード] を押します。
- 6 [オートパワーオフ移行時間] を押します。
- 7 移行時間を選択します。



仕様

ここでは、本機の仕様について説明します。

- 一般仕様
- コピー部仕様
- ファクス部仕様
- スキャナー部仕様
- 印刷部仕様
- ネットワーク仕様
- 無線LAN仕様

一般仕様

項目		MC573dnw
CPU		ARM Processor (667MHz)
メモリー	内蔵	DDR3 32bit 1GB
ROM		3GB
重量 (消耗品を含む)		約 31 kg
外形寸法 (W×D×H)		427 x 576 x 472 mm
電源		90 - 110 VAC 50/60 Hz ± 2Hz
消費電力 (本体のみ)	動作時	650 W
	待機時	100 W
	ピーク時	1250 W
	パワーセーブモード時	20 W未満
	スリープモード時	7.8 W未満
	ディープスリープモード時	1.5 W未満
	オートパワーオフ時	0.5 W未満
エネルギー消費効率		105kWh時毎年 (区分名: 複合機a)
使用環境条件	動作時	温度: 10℃~32℃、湿度: 20%~80% RH
	停止時	温度: 0℃~43℃、湿度: 10%~90% RH
インターフェース		USB 2.0、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T、Host USBx2 IEEE802.11 b/g/n/a Wireless LAN
表示画面		カラータッチパネル7インチ、WVGA (800 x 480)
対応OS		Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 R2/Windows 8/Windows Server 2012/ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 Mac OS X 10.8.5 ~ 10.11

コピー部仕様

項目		MC573dnw
原稿サイズ	自動原稿送り装置	A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5インチSQ、フォリオ
	原稿ガラス	A4、A5、A6、B5、B6、B6ハーフ、レター、エグゼクティブ、ステートメント、8.5インチSQ、封筒、郵便ハガキ、往復ハガキ、16K、インデックス
ファーストコピータイム	カラー	12秒
	モノクロ	12秒
部数		最大999部
印刷速度	カラー	26ページ/分
	モノクロ	30ページ/分

ファクス部仕様

項目		MC573dnw
互換性		ITU-T G3/Super G3
圧縮方式		MH、MR、MMR、JBIG
通信速度		最大33.6 Kbps
適用回線		PSTN、PBX 回線
回線接続方式		RJ11 x 2 (Line/TEL)
伝送時間		2秒台/ページ (ITU-T no.1、JBIG、標準)
蓄積原稿メモリーサイズ		256 MB
蓄積原稿		最大8192枚 (ITU-T no.1、MMR、標準)
解像度	標準	8 dots x 3.85 line/mm
	高画質	8 dots x 7.7 line/mm
	写真	8 dots x 7.7 line/mm
	超高画質	8 dots x 15.4 line/mm

スキャナー部仕様

項目		MC573dnw
形式		自動原稿送り装置付き原稿ガラス
画像センサー		カラー CIS
光源		LED
読み取り解像度		600×600 dpi、300×600 dpi
原稿厚さ	自動原稿送り装置	60 ~ 105 g/m ²
	原稿ガラス	20 mm
自動原稿送り装置原稿容量		50枚 (80 g/m ²) 総枚数5 mm以下
読み取り領域	自動原稿送り装置	片面読み取り時：最大：216×356mm 両面読み取り時：最大：216×356mm
	原稿ガラス	216 x 297 mm以下
原稿読み取り速度	カラー	約30 ページ/分 (A4、300x600 dpi、自動原稿送り装置片面印刷)
	モノクロ	約30 ページ/分 (A4、600 x 600 dpi、自動原稿送り装置片面印刷)

印刷部仕様

項目		MC573dnw
印刷方式		LED (発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式
ページ記述言語		PostScript 3、PCL5c、PCL6 (XL)、IBM5577、XPS、PDF (v1.7まで)
内蔵フォント		PCL：欧文91書体、日本語4書体 PS：欧文80書体、日本語2書体
解像度		1200 x 1200 dpi、600×600 dpi
印刷色		イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック
印刷速度		A4 片面印刷：モノクロ30 ppm / カラー 26 ppm 両面印刷：モノクロ16 ppm/ カラー 14 ppm
ファースト印刷時間	カラー	約7.5秒 (A4)
	モノクロ	約7.5秒 (A4)
用紙サイズ	トレイ1	A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 インチ SQ、フォリオ、16K (197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm)、郵便はがき、カスタムサイズ
	増設トレイユニット (オプション)	A4、A5、B5、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、8.5 インチ SQ、フォリオ、16K (197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm)、カスタムサイズ
	MPトレイ	A4、A5、A6、B5、B6、B6ハーフ、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 インチ SQ、フォリオ、インデックスカード (3 x 5 インチ)、4 x 6 インチ、5 x 7 インチ、長尺 最大1321 mm、16K (197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm)、C5、DL、Com-9、Com-10、Monarch、封筒 (長形3号、長形4号、洋形4号)、郵便はがき、往復はがき、カスタムサイズ
	両面印刷	A4、A5、B5、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、8.5 インチ SQ、フォリオ、16K (197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm)、カスタムサイズ
	カスタムサイズ	<ul style="list-style-type: none"> ●トレイ1 100 ~ 216 mm (W)、148 ~ 356 mm (L) ●増設トレイユニット 148 ~ 216 mm (W)、210 ~ 356 mm (L) ●MPトレイ 64 ~ 216 mm (W)、90 ~ 1321 mm (L) ●両面 148 ~ 216 mm (W)、210 ~ 356 mm (L)
紙質	普通紙 (64 g/m ² ~ 220 g/m ²)、郵便はがき、封筒、ラベル紙	
給紙方式	トレイ1、MPトレイ、増設トレイユニット (オプション) による自動給紙 MPトレイによる手差し給紙	

項目	MC573dnw
給紙容量	<ul style="list-style-type: none"> •トレイ1 280枚 (64 g/m²以下) 総厚25 mm以下 •MPトレイ 110枚 (64 g/m²以下) 総厚10 mm以下、郵便はがき40枚、封筒10枚 (坪量85 g/m²) •増設トレイユニット 普通紙580枚、64 g/m² 総厚53 mm以下
排紙方法	本体排紙トレイ、後方排紙トレイ
排紙容量	<ul style="list-style-type: none"> •本体排紙トレイ 普通紙150枚 (64g/m²) •後方排紙トレイ 普通紙110枚 (64g/m²)
印刷保証範囲	用紙の端から6.35 mm以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度: ± 2 mm、用紙の斜行: ± 1 mm/100 mm 画像伸縮: ± 1 mm/100 mm (80 g/m ²)
ウォームアップ時間	<ul style="list-style-type: none"> •電源投入後 35秒以内 (室温25℃、定格電圧) •スリープモード終了後 38秒以内 (室温25℃、定格電圧)
使用環境条件	<ul style="list-style-type: none"> •動作時 10 ~ 32℃ / 20 ~ 80% RH (最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃) •停止時 0 ~ 43℃ / 10 ~ 90% RH (最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃)
印刷品質保証条件	<ul style="list-style-type: none"> •動作範囲 温度10℃時、湿度20 ~ 80% RH 温度32℃時、湿度20 ~ 60% RH 湿度30% RH時、温度10 ~ 32℃ 湿度80% RH時、温度10 ~ 27℃ •フルカラー印刷品質保証範囲 温度17 ~ 27℃時、湿度50 ~ 70% RH
消耗品、メンテナンス品	トナーカートリッジ、イメージドラム、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラーセット

増設トレイユニット仕様

項目	増設トレイユニット (1段トレイ)
重量	約 6 kg
寸法	427 (W) × 525 (D) × 139 (H) mm
使用環境条件	<ul style="list-style-type: none"> •動作時 温度: 10 ~ 32℃、湿度: 20 ~ 80% RH •停止時 温度: 0 ~ 43℃、湿度: 10 ~ 90% RH

ネットワーク仕様

項目	MC573dnw
インターフェース	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、IEEE802.11 a/b/g/n 無線LAN
プロトコル	TCP/IPv4、TCP/IPv6、NetBIOS over TCP、LPR、Port9100、IPP、FTP、HTTP、TELNET、SMTP、POP3、SNMPv1/v3、DHCP、DHCPv6、DNS、DDNS、UPnP、WINS、Bonjour、SNTP、LLTD、Web Services Discovery (WSD)、SSL/TLS、IPSec、CIFS、SMB (Version 1.0)、LDAPv3、Kerberos、IEEE802.1X、AirPrint、Google Cloud Print

無線LAN仕様

項目	MC573dnw
無線LAN規格	IEEE802.11a/b/g/n 準拠 (2.4 GHz / 5 GHz)
セキュリティー	無効、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-EAP、WPA2-EAP

消耗品・メンテナンス品・オプション・用紙一覧

これらの消耗品・オプション・用紙は本機をお買い上げいただいた販売店でお求めください。

● 消耗品

品名	型名	説明
トナーカートリッジ ブラック (大)	TC-C4BK2	約7,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ イエロー (大)	TC-C4BY2	約6,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ マゼンタ (大)	TC-C4BM2	約6,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ シアン (大)	TC-C4BC2	約6,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ ブラック	TC-C4BK1	約3,500枚印刷可能です。
トナーカートリッジ イエロー	TC-C4BY1	約3,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ マゼンタ	TC-C4BM1	約3,000枚印刷可能です。
トナーカートリッジ シアン	TC-C4BC1	約3,000枚印刷可能です。
イメージドラム ブラック	DR-C4BK	約30,000枚印刷可能です。
イメージドラム イエロー	DR-C4BY	約30,000枚印刷可能です。
イメージドラム マゼンタ	DR-C4BM	約30,000枚印刷可能です。
イメージドラム シアン	DR-C4BC	約30,000枚印刷可能です。

● メンテナンス品



● メンテナンス品の無償提供について

ご購入日から起算して5年以内にメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラーセット）が規定の交換寿命を迎えた場合、交換品を無償で提供します。

メンテナンス品の無償提供の利用方法については、別冊の「COREFIDO 3ガイド」またはOKIデータホームページ（<http://www.oki.com/jp/printing/>）を参照してください。

品名	型名	説明
定着器ユニット	FUS-C4M	約60,000枚印刷可能です。
ベルトユニット	BLT-C4M	約60,000枚印刷可能です。
給紙ローラーセット (トレイ1用)	RS-C4D	約120,000枚印刷可能です。
給紙ローラーセット (トレイ2/3用)	RS-C4B	約120,000枚印刷可能です。

品名	型名	説明
給紙ローラーセット (MPトレイ用)	RS-C4E	約120,000枚印刷可能です。

● オプション

品名	型名	説明
増設トレイユニット	TRY-C4J1	580枚<坪量64g/m ² (連量55kg)>

● 用紙

品名	型名	説明
エクセレントホワイト A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンター推奨用紙
エクセレントホワイト A4 (厚口)	PPR-CA4DA	
エクセレントホワイト A4長尺	PPR-CT4DA	
エクセレントホワイト A4	PPR-DA4TDB	



- 消耗品、メンテナンス品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、OKI データ純正品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- トナーカートリッジ、イメージドラムは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光を避け、温度：0～35℃、湿度：20～85% RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

株式会社 **沖データ**

お客様相談センター

 **0120-012-160**

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
(ただし 祝日、年末年始等を除く)